

**マイスター・ハイスクール事業、マイスター・ハイスクール普及促進事業  
事業実施校における産学連携に関する実態調査、  
及び成果検証** (マイスター事業アンケート調査 (1. 単純集計))

---

株式会社内田洋行 教育総合研究所

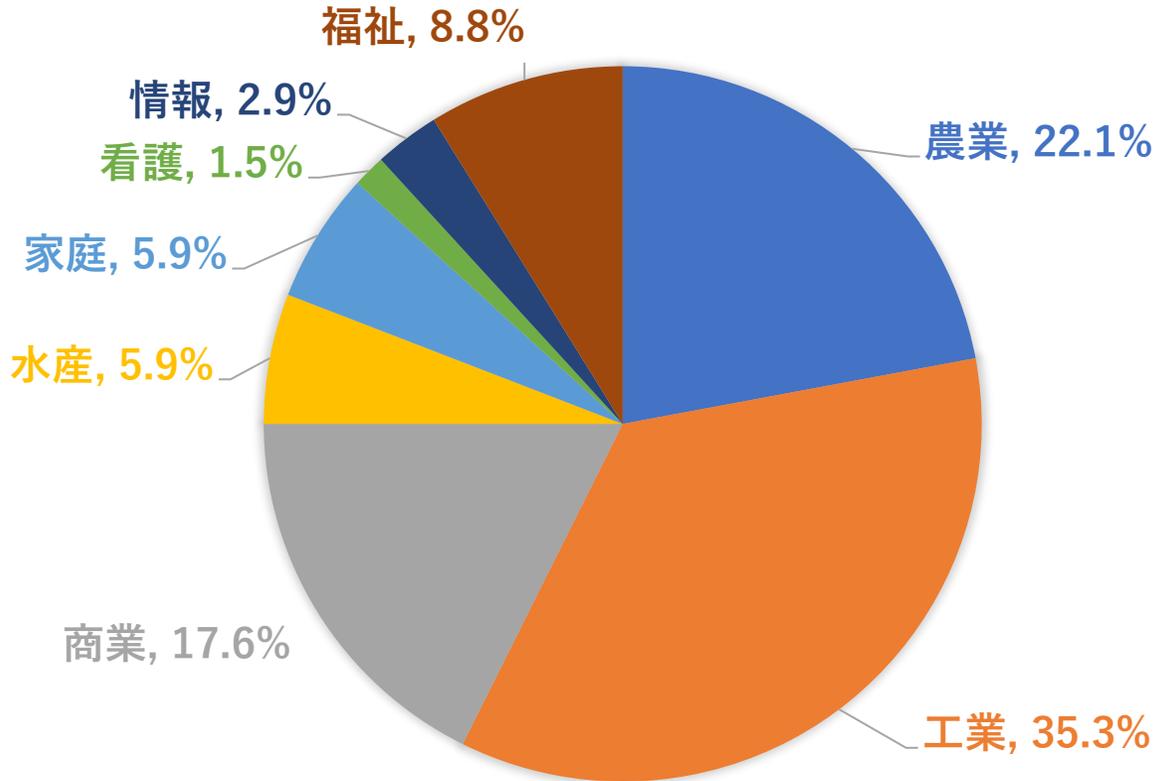
- 調査概要
- 結果(単純集計)
  - 学校用アンケート
  - 生徒用アンケート
  - 教員用アンケート
  - 自治体用アンケート
  - 産業界用アンケート

# 調査概要

項目	内容
目的	当事業における専門高校と産業界等の連携について、取組内容や体制等の実態を把握するとともに、産学連携および事業の成果を把握する。
対象	マイスター・ハイスクール事業、マイスター・ハイスクール普及促進事業の事業実施校(学校・生徒・教員)、産業界、自治体 ※自治体には管理機関と基礎自治体を含む
方法	Webアンケート調査
期間	2024/12/10～2025/02/05
回答データ数	学校 52校(1校1人) 生徒 7586人(1年生 2434人、2年生 2839人、3年生 2313人) 教員 553人 産業界 57人 自治体 26人(管理機関 15人、管理機関以外 11人)

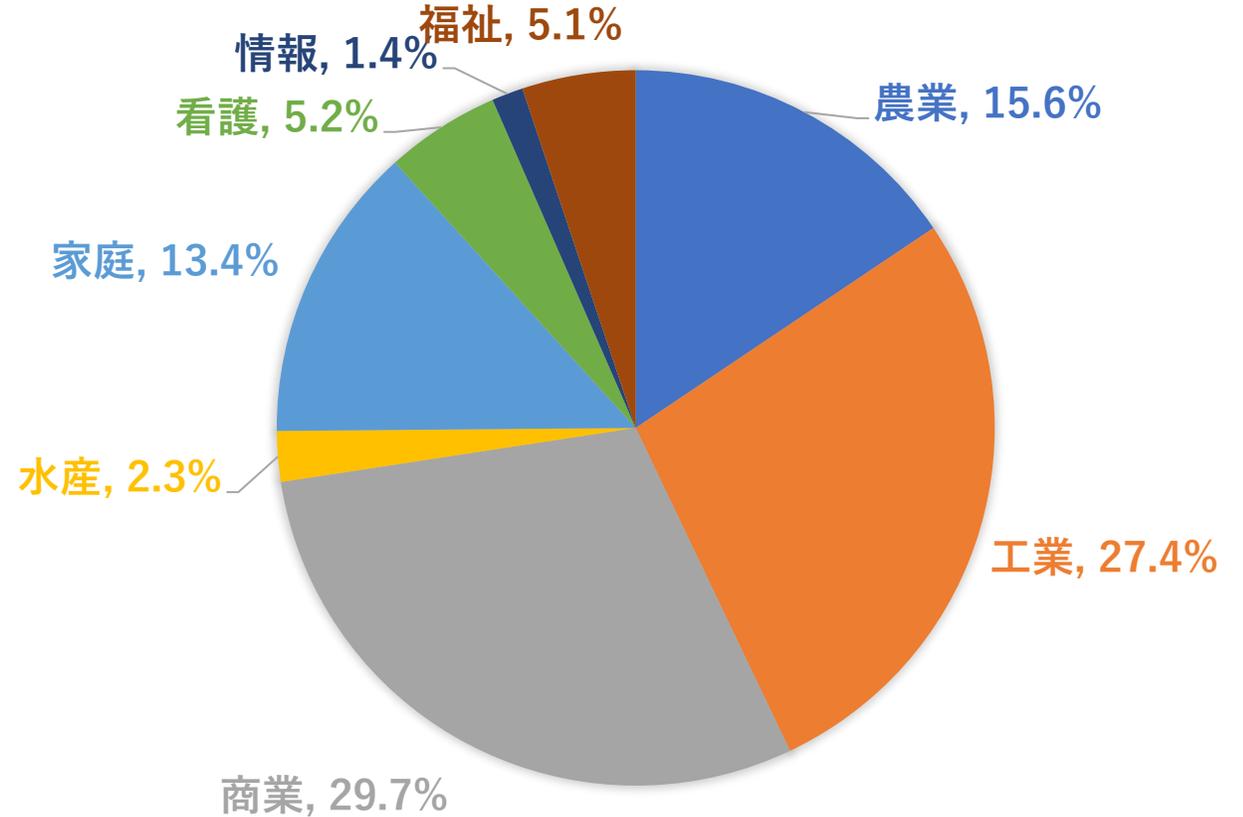
# アンケート回答校(計52校・計68大学科) 大学科内訳

マイスター・ハイスクール事業参画校(計68大学科)



※これに加え、総合学科1学科、普通科2学科が参画。

参考:全国(計1838大学科)



※参考文献:学校基本調査(令和6年度)

(うち、高等学校学科数(全日制(または全定併設)専門高校数)の情報)  
[学校基本調査 令和6年度 初等中等教育機関・専修学校・各種学校 学校調査・学校通信教育調査\(高等学校\) 学校調査票\(高等学校 全日制・定時制\) | ファイル | 統計データを探そう | 政府統計の総合窓口](#)

# 質問項目一覧(学校用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

UCHIDA

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1		学校名	貴校の学校名を教えてください。
q2	フェイスシート	担当者の属性	貴校で産学連携の取組の計画に関わっている方について、当てはまるものをすべて選択してください。
q3		産学連携歴	貴校では、教育課程の一環として産学連携を継続的に組み込んだ教育活動は、いつから実施していますか？
q4	産学連携を行う目的	産学連携の目的	貴校が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。
q5	具体的な取組	産学連携の取組種別	今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。 ※これから実施予定のものも含めてお答えください。
q6	協働体制	産学連携に関わる企業・団体数	今年度実施した産学連携に関わっている企業や団体等の数を教えてください。 ※これから実施予定のものも含めてお答えください。
q7		産学連携に関わる団体種別	今年度の産学連携に関わった企業や団体等の種類を全て選択してください。
q8		産学連携に関わる団体の属性	連携している企業・団体等について、当てはまるものを全て選択して下さい。
q9		産業界との連携パターン	企業や団体等とどのような形で連携していますか？あてはまるものを全て選択してください。
q10	産学連携の成果	産学連携の学校目標・ビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴校の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？
q11		産学連携の効果	産学連携の取組を通じて、貴校として実感しているメリットを教えてください。
q12	協働体制	取組の検討主体	産学連携の取組は、主にどの組織が中心となって検討を進めていますか。
q13	全般	産学連携に関する課題	産学連携において、貴学科が抱えている課題があれば教えてください。
q14	自治体の支援体制	基礎自治体との連携の深さ	学校の所在する基礎自治体と連携した取組を実施していますか。
q15	産学連携の予算とその獲得	基礎自治体からの資源提供	学校の所在する基礎自治体から、資金や人材の提供(寮の整備など場所の提供も含む)等を受けていますか。
q16	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先の理解1	連携している企業等の産学連携の目的を十分に理解している
q17		連携先の理解2	企業等と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている
q18		連携先からの理解	貴校の産学連携の目的は、連携先の企業等に十分伝わっている。
q19		課題感の反映	現在の取組は、学校と企業との課題を踏まえた内容になっている。
q20		共通ビジョンの検討	学校と企業の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。
q21		企業の貢献度	産学連携と一緒に取り組んでいる企業は、活動において企業としての役割を十分に果たしていると感じますか
q22		継続性(学校側)	貴校の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q23		継続性(連携先側)	産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q24	取組の実施プロセス	産業界との連携の必要性検討	学校の中で、産業界との連携の必要性を検討する機会
q25		課題の産業界への共有	学校が抱える課題を産業界に伝える機会
q26		産業界の目的や必要性の理解	産業界側の産学連携の目的や連携の必要性について知る機会
q27		学校と産業界の議論の場1	学校と産業界が対等な立場で議論する機会
q28		学校と産業界の議論の場2	学校と産業界が協力して、学校のカリキュラムを検討・改善する機会

# 質問項目一覧(生徒用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	学校名	学校名を教えてください。
q2		学科	学科を選んでください。
q3		学年	学年を選んでください。
q4	具体的な取組	産学連携の取組頻度(授業・実習)	今年度、学校での授業や実習の中で、企業や地域の人が講義をしたり、手伝ったりしたことは、どれぐらいありましたか。
q5		産学連携の取組頻度(学校行事・イベント)	今年度、学校行事やイベント(授業や実習以外)で、企業や地域の人が話をしたり一緒に活動したりしたことは、どれぐらいありましたか。
q6		産学連携の経験(課題研究やグループワーク)	今年度、企業や地域の人に関わっている課題研究やグループワークに参加した経験はありますか。
q7		産学連携の経験(企業見学・インターンシップ等)	今年度、企業や地域の施設を訪問する活動(見学やインターンシップなど)に参加した経験はありますか。
q8	産学連携の成果	知識・技術を学ぶ意欲	授業で学んでいる知識や技術について、もっと知りたいと思う。
q9		知識・技術の理解	仕事や社会の中で使われている知識や技術について、理解していると思う。
q10		知識・技術の活用意欲	仕事や社会で使われている知識や技術を、普段の生活の中で役立てたいと思う。
q11		知識・技術と実社会の関連付け	仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業がなぜ大切か分かった。
q12		知識・技術とキャリアの関連付け	企業や地域の人から学ぶことは、将来の進路を考えるのに役立つと思う。
q13		地元企業の理解	地域の企業や産業について、進路を考えるための情報を十分に知ることができた。
q14		地元就職への意欲	地元の企業に就職したいと思う(進学する場合は卒業後に)。
q15		地元貢献への意欲	地元の発展に貢献したいと思う。
q16		将来の目標	将来の目標を考え、それを実現するために努力している。
q17		将来の展望	将来に対して希望を持っている。
q18		主体性	やるべきことに対して、積極的に取り組むことができる。
q19		働きかけ力	目標を達成するために、周りの人の力を借りながら取り組むことができる。
q20		実行力	失敗を恐れず、行動に移すことができる。
q21		課題発見力	目標を達成するために、解決すべき問題を見つけることができる。
q22	計画力	何かの課題に取り組むとき、必要な手順について優先順位を決められる。	
q23	創造力	何かの課題に取り組むとき、解決策の選択肢をいくつか挙げて検討することができる。	
q24	発信力	話し相手に対して、自分の意見を分かりやすく伝えることができる。	
q25	傾聴力	話し相手の意見や主張を正確に聞き取ることができる。	
q26	柔軟性	相手の立場や意見を尊重することができる。	
q27	状況把握力	グループで活動するとき、何をすればよいか、自分の役割を理解できる。	
q28	規律性	集団や社会生活の規則やルールを守ることができる。	
q29	ストレスコントロール力	困難な問題に直面しても、諦めずに前向きに取り組もうとすることができる。	
q30		授業や実習等において感じたこと	企業や地域社会の方から学ぶ授業や実習等について、どのように感じていますか。(印象に残ったこと、その時に感じたことなどを書いてください)

# 質問項目一覧(教員用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

UCHIDA

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	学校名	学校名を教えてください
q2		職務	あなたの職名を教えてください。
q3		担当学科	あなたが授業を担当している学科(大学科)を教えてください。
q4	年間を通した取組プロセス	産学連携の必要性の理解	学校が産学連携に取り組む必要性を、あなたは十分に理解していると思いますか。
q5		学校目標との整合性	産学連携の取組が、学校の目標に合っていると思いますか。
q6	産学連携の成果	(生徒評価)思考力・判断力・表現力1	生徒は、課題に対して粘り強く考えることができる。
q7		(生徒評価)思考力・判断力・表現力2	生徒は、課題に対して他者と協力することができる。
q8		(生徒評価)思考力・判断力・表現力3	生徒は、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができる。
q9		(生徒評価)知識・技術を学ぶ意欲	生徒は、授業で学んでいる知識や技術に興味を持っている。
q10		(生徒評価)知識・技術の理解	生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解している。
q11		(生徒評価)知識・技術の活用意欲	生徒は、普段の生活の中で、仕事や社会で使われている知識や技術を役立てたいと思っている。
q12		(生徒評価)知識・技術と実社会の関連付け	生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業の大切さを理解している。
q13		(生徒評価)知識・技術とキャリアの関連付け	生徒は、企業や地域の人から学ぶことが、将来の進路を考えるのに役立つと思っている。
q14		(生徒評価)地元企業の理解	生徒は、地域の企業や産業について、進路を考えるための十分な情報を得ている。
q15		(生徒評価)地元就職への意欲1	生徒は、地元の企業への就職(進学する場合は卒業後に)について前向きに考えている。
q16	(生徒評価)地元貢献への意欲2	生徒は、地元への貢献意識が高い傾向にある。	
q17	産学連携の成果	学習機会の提供	生徒には、地域の課題に直接触れる機会がある。
q18		地域産業・企業への理解	地域の産業や企業について理解している。
q19		関心に合った学習機会の提供	生徒の関心に合った学習の機会を提供できている。
q20	フェイスシート	産学連携への関与状況	今年度、マイスター・ハイスクール事業にどのように関わっていますか？ あなたの関わり方について教えてください。
q21	産学連携の成果	目指す生徒像の再考	産業界や地域社会との連携が、学校として目指す生徒像を再考するきっかけになった。
q22		専門性の向上	産業界や地域社会との連携により、自身の専門性や指導力が高まった。
q23		地元産業の理解	産業界や地域社会との連携により、地域を支える産業や職業について、進路指導を行うに十分な理解が深まった。
q24		指導方法・カリキュラム改善	産業界や地域社会との連携により、授業の指導方法やカリキュラムを改善する必要性を感じた。
q25		生徒に必要な資質能力の検討	生徒に必要な資質や能力について、産業界や地域社会と対話しながら決定するようになった。
q26		授業・単元計画の検討	産業界や地域社会と連携して、授業や単元の計画を検討するようになった。
q27		学びの評価に基づく改善	産業界や地域社会と協働して取り組んだ学びの評価を共有し、それを基に改善に取り組んだ。
q28		創造的で効率的な教育活動の実施	産業界や地域社会との連携により、創造的で効率的な教育活動が展開された。
q29		学校の魅力化・教育活動の活性化	産業界や地域社会との連携が、学校の魅力向上や教育活動の活性化につながった。
q30		校内体制における成果	校内の組織化
q31	学校外の相談先の存在		相談できる学校外の関係機関やコーディネーターがいることで、産業界や地域社会と連携しやすくなった。
q32	教員の心理的安全性の確保		管理職として、産学連携において、担当者が産業界に自由に意見を述べたり、活動したりできる環境を整えることを心がけた。
q33	校内体制	教員の心理的安全性の状況	事業担当者として、産学連携において、産業界側の担当者に対して自由に意見を述べたり、活動したりできた。

# 質問項目一覧(産業界用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	団体名	貴団体名を教えてください。
q2		担当者の属性	このアンケートに回答している方の職務を教えてください。当てはまるものを選択してください。
q3		対象高校名	貴団体が連携している高等学校の名称を教えてください。
q4		産学連携歴	貴団体では、いつから産学連携の取組を実施していますか？
q5	産学連携を行う目的	産学連携の目的	貴団体が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。
q6		産学連携目的の重要性	前の質問で選んだ目的について、どのくらい重要だと考えていますか。
q7	産学連携の成果	産学連携による企業・団体目標やビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴団体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか。
q8		産学連携の効果	産学連携の取組を通じて、貴団体として実感しているメリットを全て選択してください。
q9		採用活動のしやすさ	学校が産学連携に取り組むようになったことで、学校に対する採用活動がやりやすくなったと思いますか。
q10		産学連携の継続意欲	今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。
q11		産学連携意義・必要性の認識	あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。
q12		担当者の意識や行動の変化	学校教育に関わったことによって、担当者の意識や行動になにか変化はありましたか。当てはまる項目を全て選択してください。
q13	学校と産業界の関係構築プロセス	互恵関係の成立	貴団体は、連携している学校と、互いに利益を得られる関係(互恵関係)にあると思いますか？最も当てはまるものを選択してください。
q14		連携意義・必要性の認識	連携している学校の産学連携の目的を十分に理解している
q15		連携先への理解	学校と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている
q16		連携先からの理解	貴団体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている
q17		良好な関係性	産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。
q18		課題感の反映	現在の取組は、学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた内容になっている。
q19		双方の課題を踏まえたビジョン協議	学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。
q20		適切な役割分担	産学連携の取組を進める中で、貴団体が担う役割は適切だと思う。
q21		継続性(企業・団体側)	貴団体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q22		継続性(学校側)	学校側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。

# 質問項目一覧(自治体用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	自治体名	貴自治体名を教えてください。
q2		部署名	貴自治体において、学校の産学連携を主に担当している部署名を教えてください。
q3		対象高校名	貴自治体が連携している高等学校の名称を教えてください。
q4		産学連携歴	貴自治体は、対象の学校と企業などが連携して行う教育活動(産学連携)に、いつから関わっていますか。
q5	産学連携を行う目的	産学連携の目的	貴自治体が産学連携に取り組む最も大きな理由を1つ選択してください。
q6		産学連携目的の重要性	前の質問で挙げた目的について、どのくらい重要だと考えていますか。
q7	産学連携の成果	産学連携の自治体目標・ビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴自治体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？
q8		産学連携の効果	産学連携の取組を通じて、貴自治体として実感しているメリットを教えてください。
q9		産学連携の継続意欲	今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。
q10		産学連携意義・必要性の認識	あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。
q11		議会等からの理解	学校の産学連携を支援した結果、貴自治体の首長や議会等において、産学連携への理解は高まりましたか。
q12	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先(学校)からの理解	貴自治体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている
q13		連携先(学校)への理解	学校としての産学連携の目的を十分に理解している
q14		連携先(産業界)への理解	産業界としての産学連携の目的を十分に理解している
q15		連携先(産学)への理解	学校と産業界が連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている
q16		学校への積極提案	産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。
q17		課題感の反映	現在の取組は、学校・産業界・自治体、それぞれの課題を踏まえた内容になっている。
q18		共通ビジョンの検討	学校と産業界、自治体の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。
q19		適切な役割分担	産学連携の取組を進める中で、貴自治体が担う役割は適切だと思う。
q20		継続性(自治体側)	貴自治体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q21		継続性(連携先側)	学校や産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。

# 参考:質問項目一覧(全国アンケート)

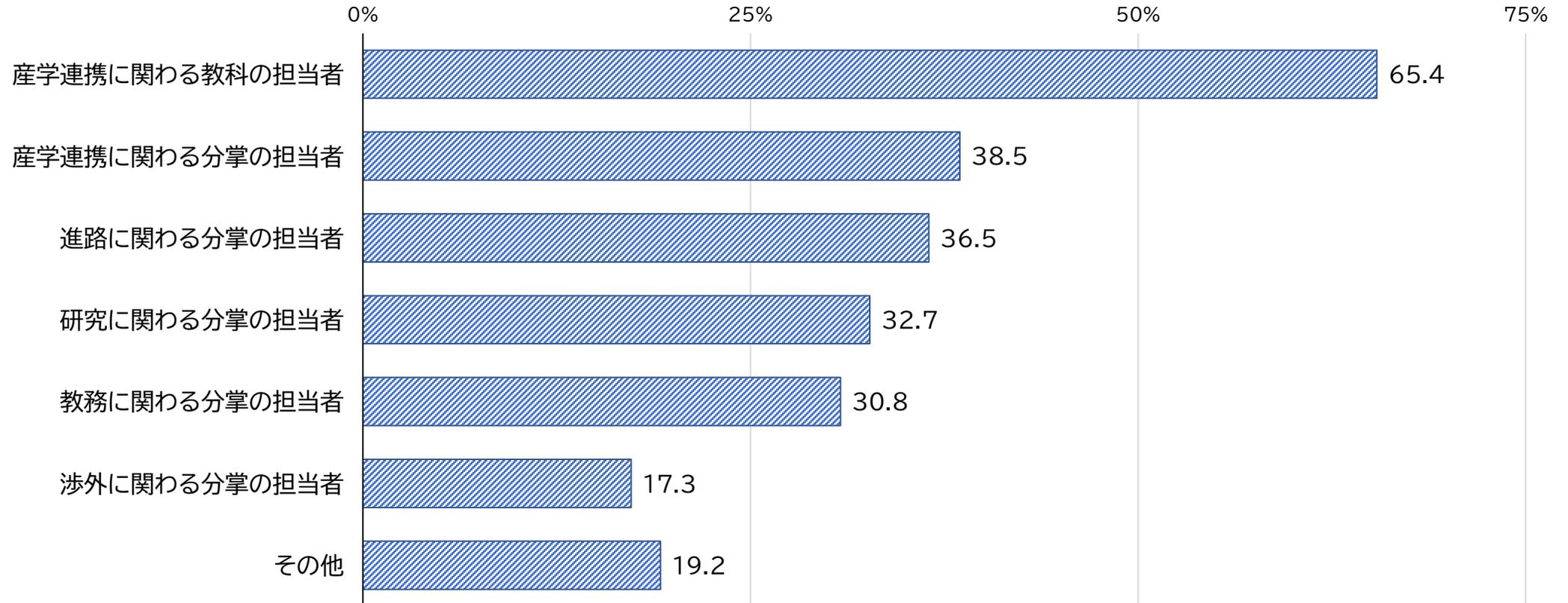
ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	全般	産学連携の深さ	貴学科では今年度、産学連携の取組を実施していますか。
q2		産学連携の深さ 補足	貴学科が、産学連携を実施していない理由を教えてください。
q3		産学連携の深さ 補足	貴学科で、産学連携を教育課程の一環として組み込んでいない理由を教えてください。
q4		産学連携歴	貴学科では、教育課程の一環として産学連携を継続的に組み込んだ教育活動は、いつから実施していますか？
q5		きっかけ	産学連携に取り組んだきっかけを教えてください
q6	産学連携の取組	目的	貴学科が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。
q7		取組内容	今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。当てはまるものを全て選択してください。 ※これから実施予定のものも含めてお答えください。
q8	産学連携を持続的に推進するための体制の在り方	産学連携に関わる企業・団体数	今年度実施した産学連携に関わっている企業や団体等の数を教えてください。※これから実施予定のものも含めてお答えください。
q9		連携先企業・団体	今年度の産学連携に関わった企業や団体等の種類を全て選択してください。
q10		連携先企業・団体	連携している企業・団体等について、当てはまるものを全て選択して下さい。
q11		連携先企業・団体	企業や団体等とどのような形で連携していますか？あてはまるものを全て選択してください。
q12	産学連携の取組	産学連携の学科目標・ビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴学科の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？
q13		連携の効果	産学連携の取組を通じて、貴学科として実感しているメリットを教えてください。
q14	取組の実施プロセス	取組の検討主体	産学連携の取組は、主にどの組織が中心となって検討を進めていますか。
q15	取組や体制の在り方に大きく影響を与える要素	産学関係の深まり	貴学科が連携している企業や団体等との関係について、最も適切なものを選択してください。 ※複数の組織と連携している場合は、最も多く該当する関係をお答えください。 ①一方のニーズに応えている関係 主に、学校や企業・団体等のどちらか一方のニーズに基づいて活動が行われている段階。 企業等側の課題やニーズを十分に理解できていない。 ②協力しあっている関係 学校と企業・団体等が互いに理解を深めながら、協力して活動している段階。 協力できる分野や活動についてある程度の共通認識があるが、活動内容はどちらか一方のニーズが優先されやすい。 ③共通のビジョンに基づいて協働している関係 学校と企業・団体等がそれぞれの課題や目指す方向を共有し、共通の目的やビジョンを持って活動を行っている。 学校と企業等との関係は互恵的で、双方が取組から恩恵を受けている。 ④安定して取組を継続していける関係 学校と企業・団体等の中で、長期的で安定した協働関係が確立されている。 共通の目的やビジョンが明確に共有され、計画から実施、評価まで一貫したプロセスに基づいて行われている。 担当者が変わっても、信頼関係や取組が維持できる体制が整っている。
q16	全般	課題	産学連携において、貴学科が抱えている課題があれば教えてください。
q17	産学連携を持続的に推進するための体制の在り方	調整業務	貴学科では、企業や団体等との調整業務を誰が担っていますか。当てはまるものをすべて選択してください。
q18		調整業務	調整業務を担う専門人材(コーディネーター等)の配置にかかる費用は、どの組織が負担していますか。 当てはまるものを全て選択してください。
q19		基礎自治体との連携の深さ	学校の所在する基礎自治体と連携した取組を実施していますか。
q20		基礎自治体からの資源提供	学校の所在する基礎自治体から、資金や人材の提供(寮の整備など場所の提供も含む)等を受けていますか。

# 1.学校用アンケート

---

## Q2.産学連携の計画に関わっている人

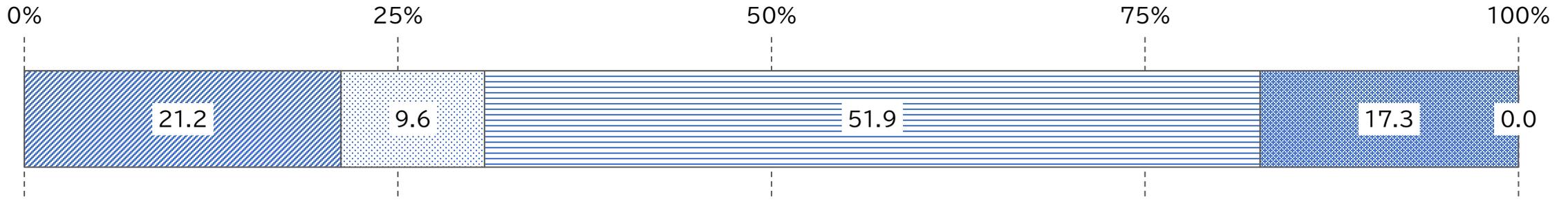
Q2.貴校で産学連携の取組の計画に関わっている方について、当てはまるものをすべて選択してください。(n=52)(複数選択式)



「その他」の例: 教頭等の管理職、学科長・学科主任 等

# Q3. 産学連携を教育課程の一環として継続的に組み込み始めた時期

Q3.貴校では、教育課程の一環として産学連携を継続的に組み込んだ教育活動は、いつから実施していますか？(n=52)(単一選択式)



2022年度以降に実施(現在の学習指導要領のもとで開始、1~2年前から)

2018年度~2021年度に実施(現行指導要領施行前に開始、3~5年前から)

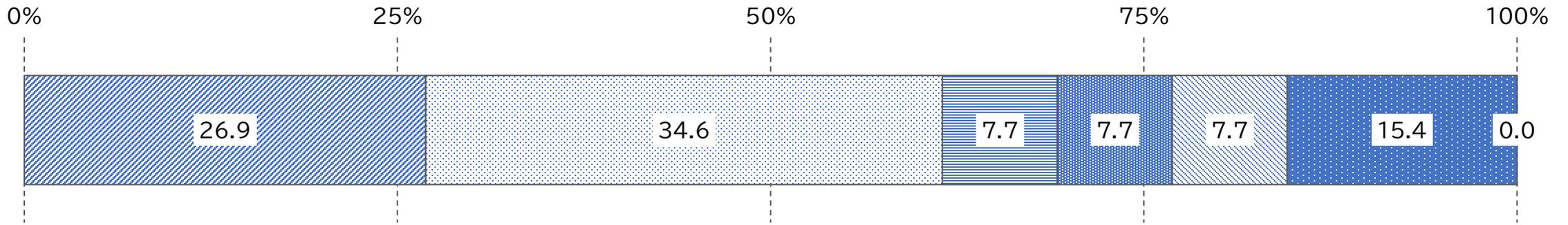
2017年度以前に実施(6年以上前から継続して実施)

いつからか不明

その他

# Q4.産学連携に取り組む最も大きな理由

Q4.貴校が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。(n=52)(単一選択式)



□ キャリア教育を充実させるため

□ 実践的な知識や技能を習得する学習を充実させるため

□ 課題解決力を育む学習を充実させるため

■ 協働的な学びを充実させるため

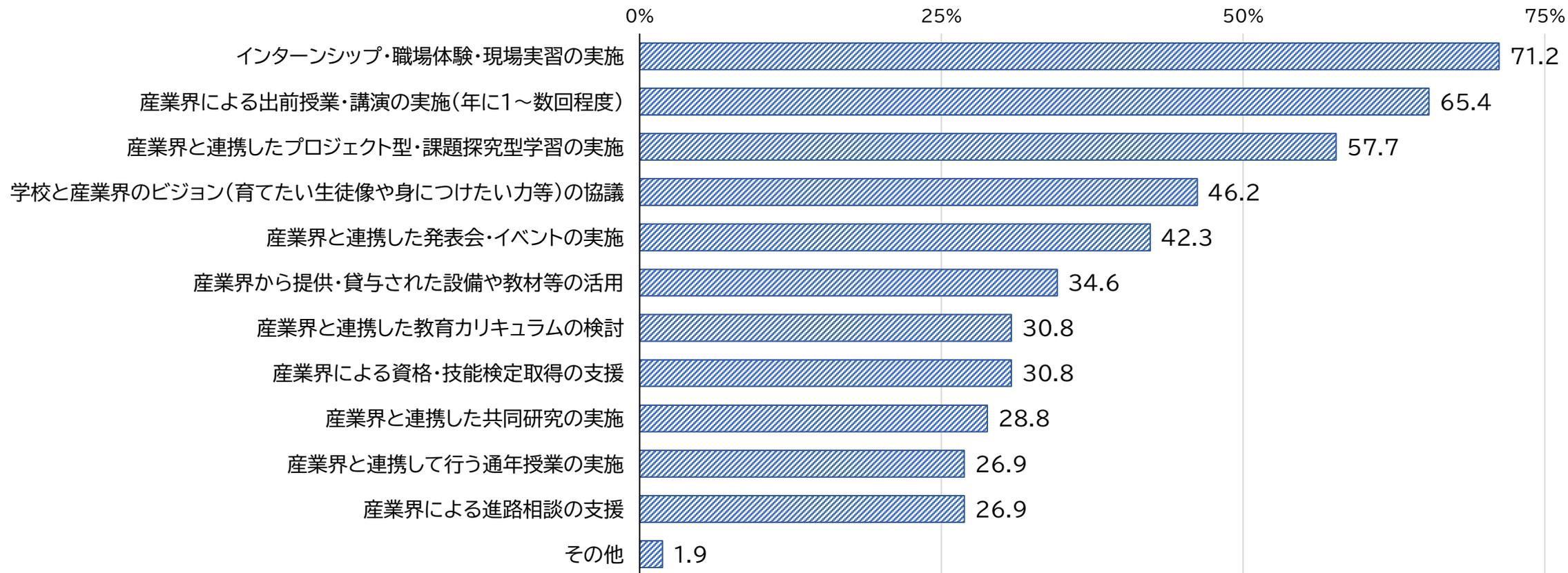
□ 入学希望者が増えるよう、学校の魅力を高めるため

■ 地域社会が求める人材を育成するため

□ その他

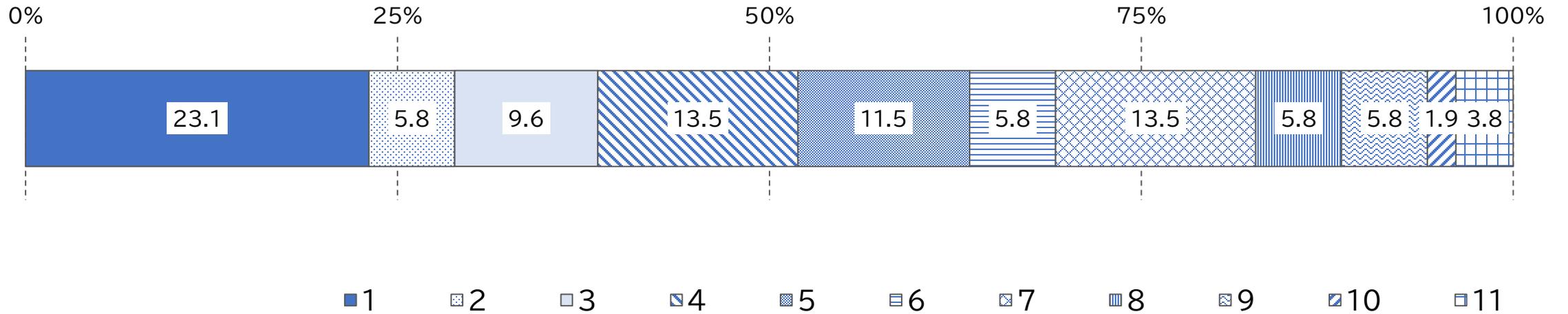
## Q5.産学連携の取組内容

Q5.今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。(n=52)(複数選択式)



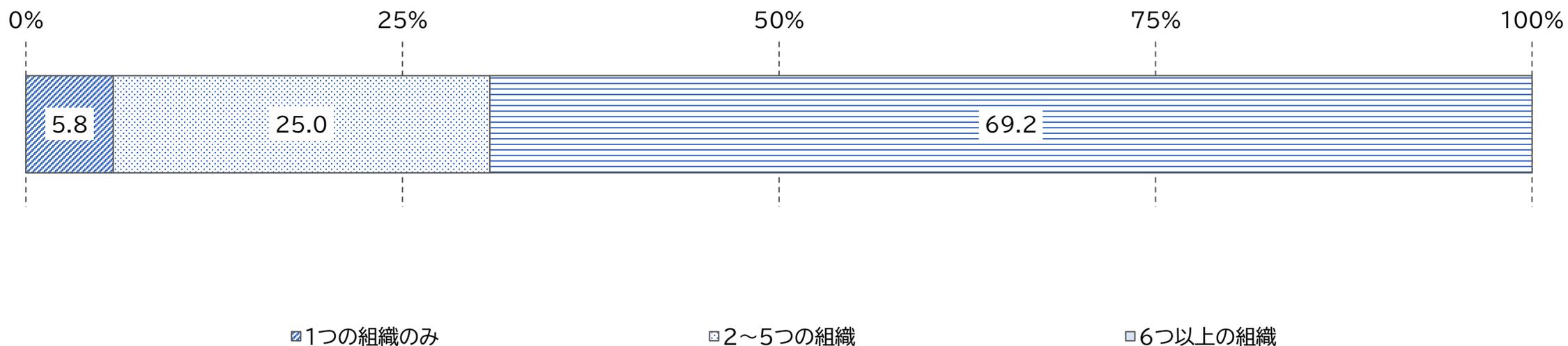
# Q5.産学連携の取組内容(取組数をカウント(最小1、最大11))

Q5.今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。(n=52)(複数選択式)



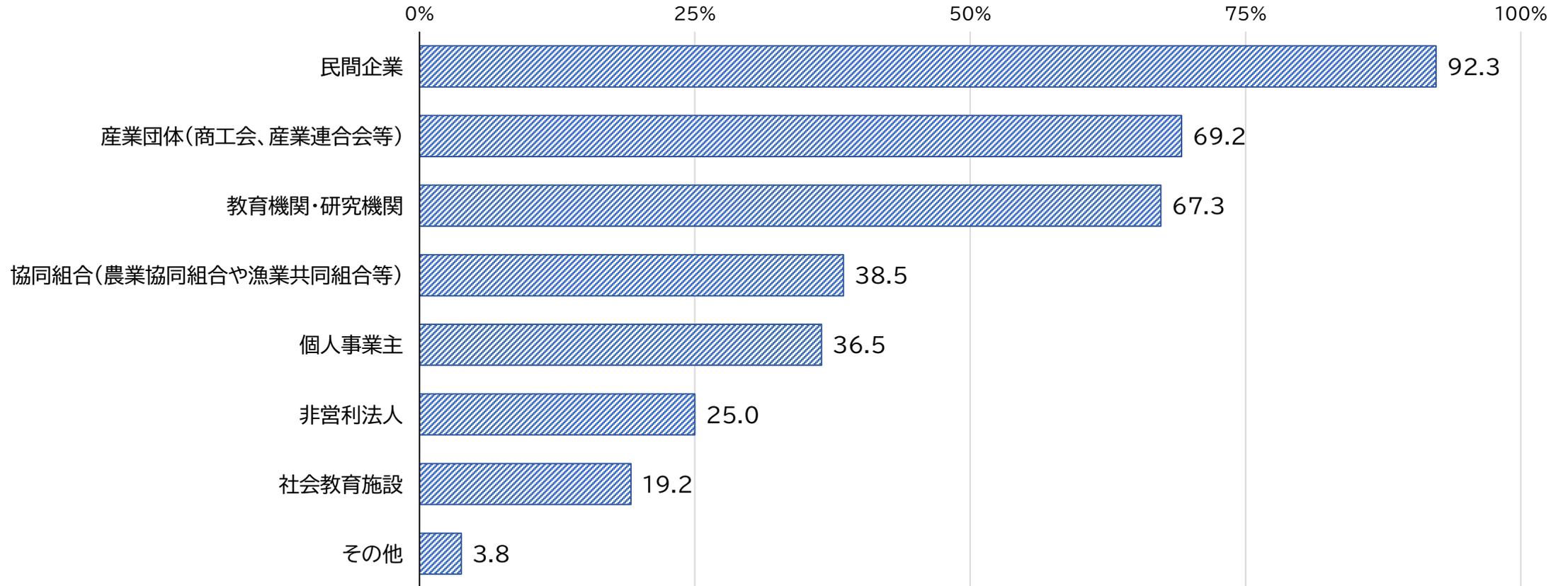
## Q6.産学連携に関わっている企業や団体等の数

Q6.今年度実施した産学連携に関わっている企業や団体等の数を教えてください。(n=52)(単一選択式)



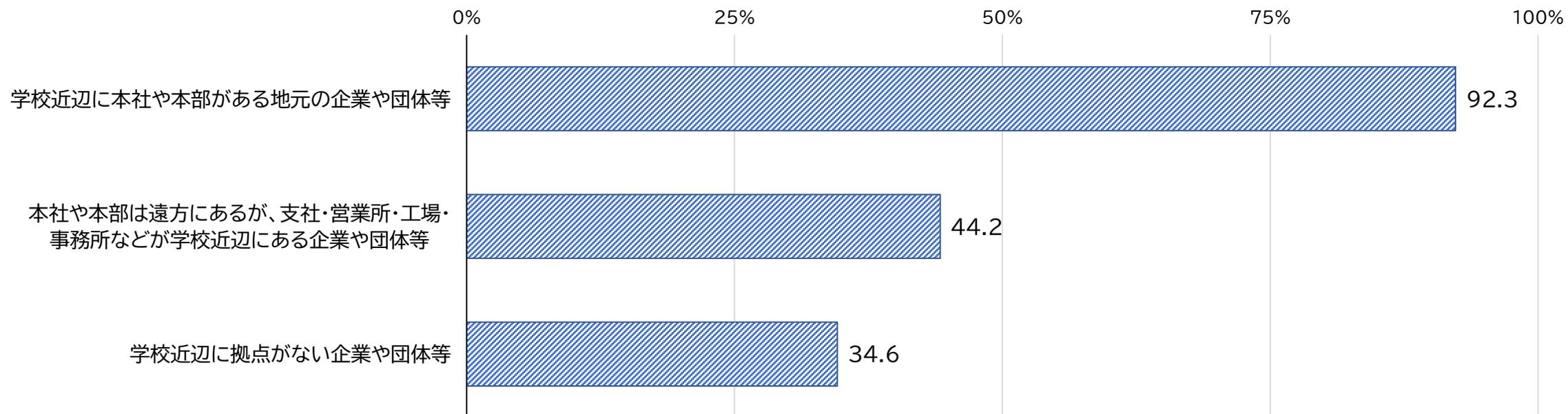
# Q7. 産学連携に関わった企業や団体等の種類

Q7.今年度の産学連携に関わった企業や団体等の種類を全て選択してください。(n=52)(複数選択式)



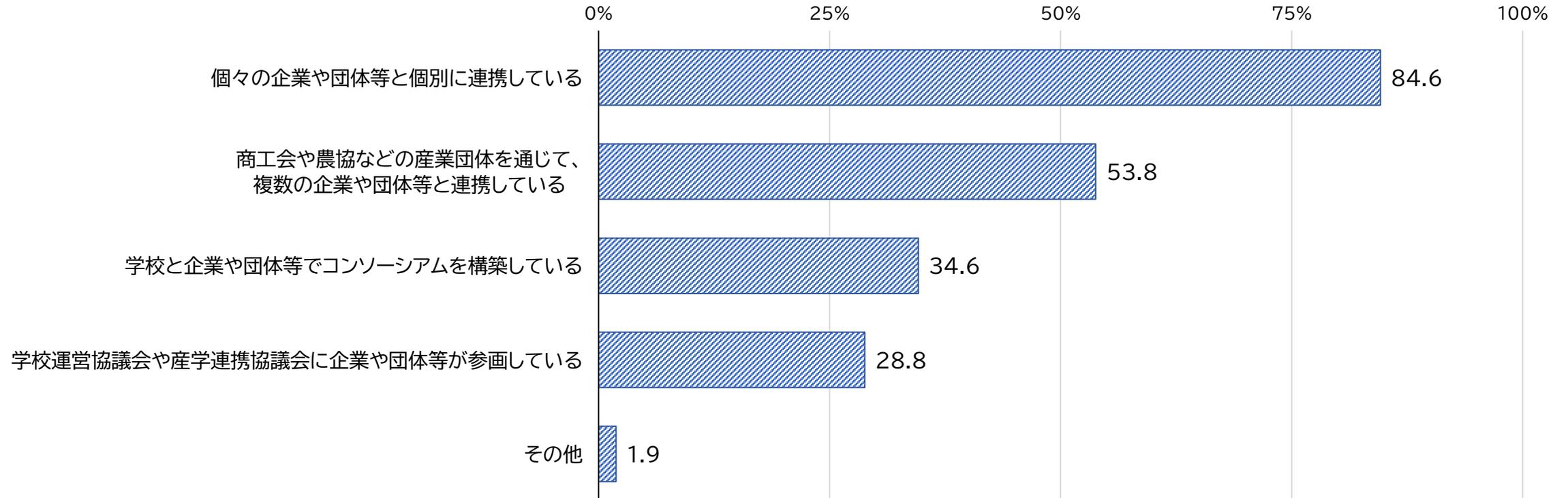
## Q8.連携している企業・団体等

Q8.連携している企業・団体等について、当てはまるものを全て選択して下さい。(n=52)(複数選択式)



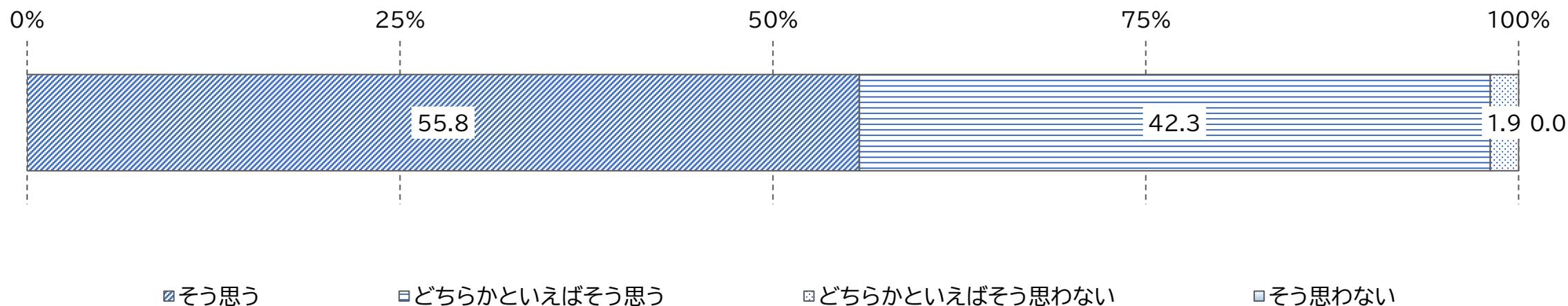
# Q9. 企業や団体等との連携形態

Q9.企業や団体等とどのような形で連携していますか？あてはまるものを全て選択してください。(n=52)(複数選択式)



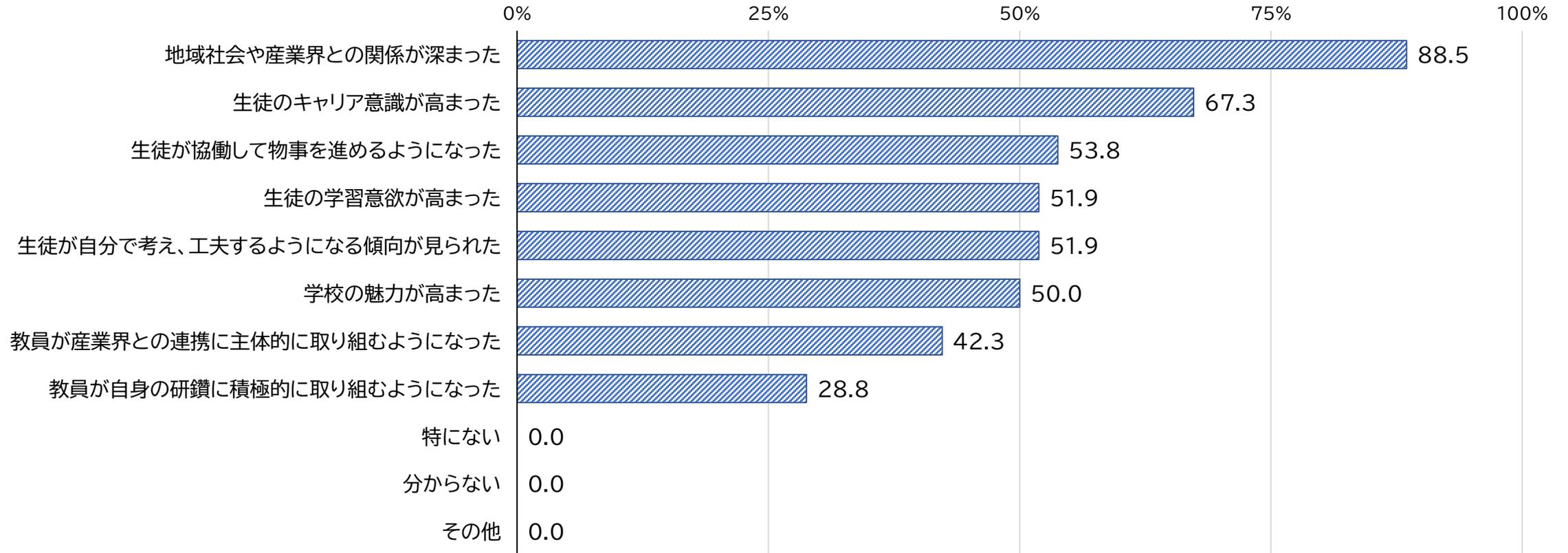
# Q10.産学連携の目標やビジョンに対する貢献度

Q10.産学連携の活動が、貴校の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？(n=52)(単一選択式)



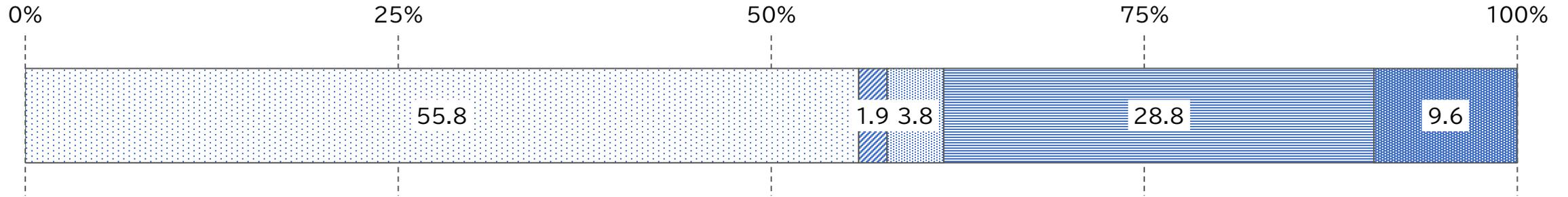
# Q11.産学連携を通じて実感しているメリット

Q11.産学連携の取組を通じて、貴校として実感しているメリットを教えてください。(n=52)(複数選択式)



# Q12.産学連携の中心的組織

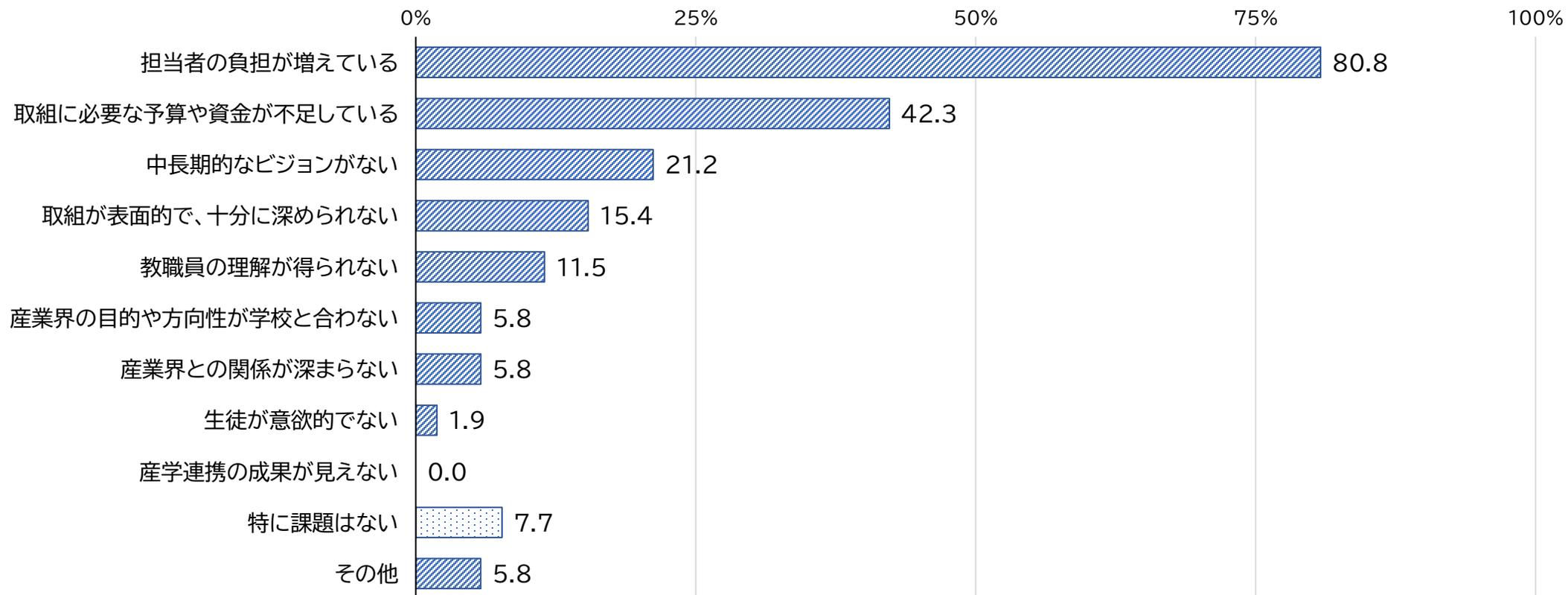
Q12.産学連携の取組は、主にどの組織が中心となって検討を進めていますか。(n=52)(単一選択式)



- 学校が主体となって検討している
- ▣ 企業や団体等が主体となって検討している
- ▤ 自治体が主体となって検討している
- ▥ 学校と企業・団体等が対等な立場で検討している
- ▧ 学校や企業・団体等、自治体等が参加する組織(コンソーシアム、協議会、委員会等)で検討している

# Q13.産学連携における課題

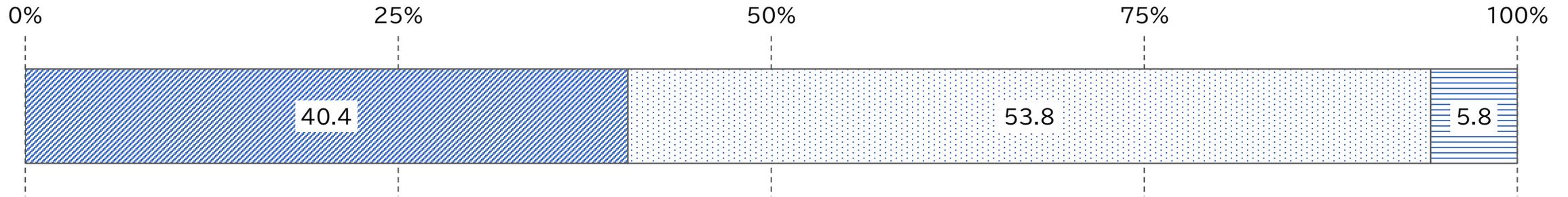
Q13.産学連携において、貴学科が抱えている課題があれば教えてください。(n=52)(複数選択式)



「その他」の例: 当事業終了後の自走化、学校・学年行事との兼ね合い 等

# Q14. 基礎自治体と連携した取組

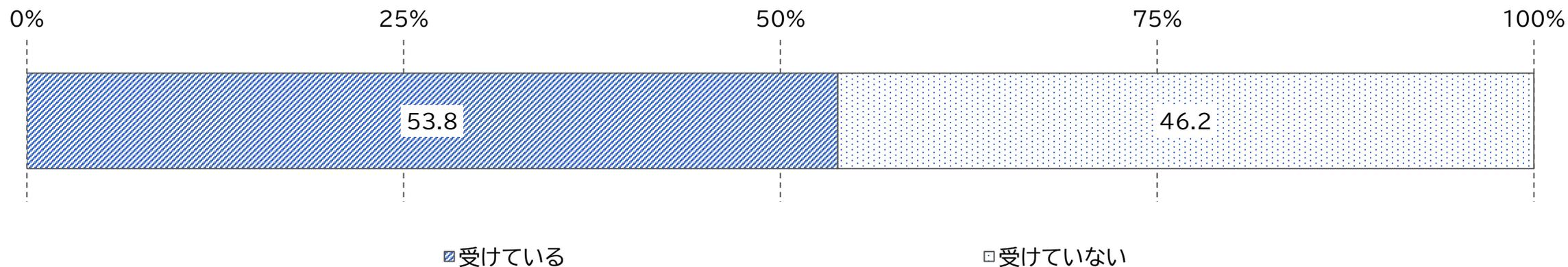
Q14. 学校の所在する基礎自治体と連携した取組を実施していますか。(n=52)(単一選択式)



- 教育課程の一環として基礎自治体との連携を組み込むなど、継続的に実施している
- 年に数回の出前授業やイベント等、単発的な取組を実施している
- 実施していない

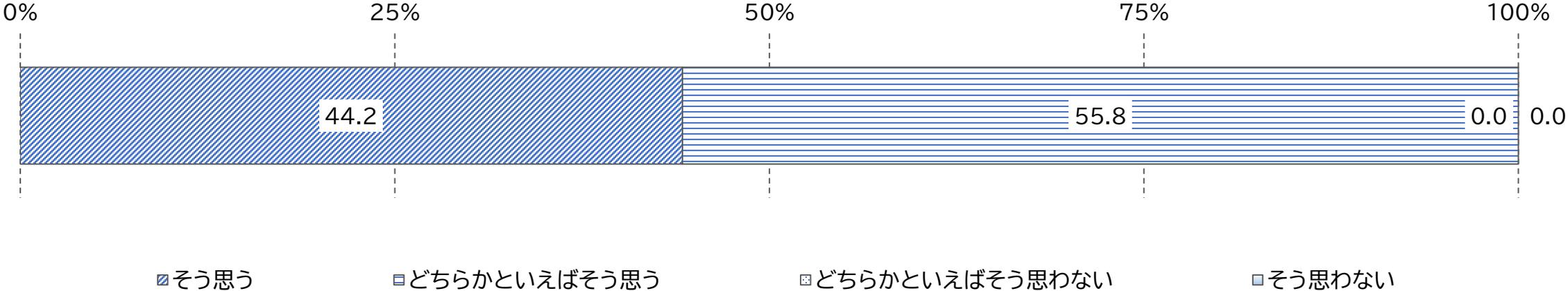
# Q15. 基礎自治体からの資金や人材の提供

Q15.学校の所在する基礎自治体から、資金や人材の提供(寮の整備など場所の提供も含む)等を受けていますか。(n=52)(単一選択式)



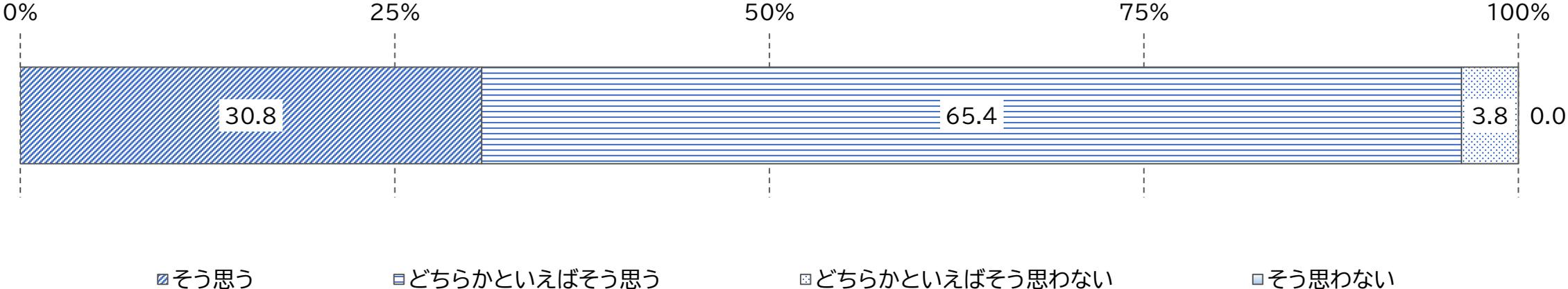
# Q16.連携先企業等の産学連携の目的を十分に理解している

Q16.連携している企業等の産学連携の目的を十分に理解している(n=52)(単一選択式)



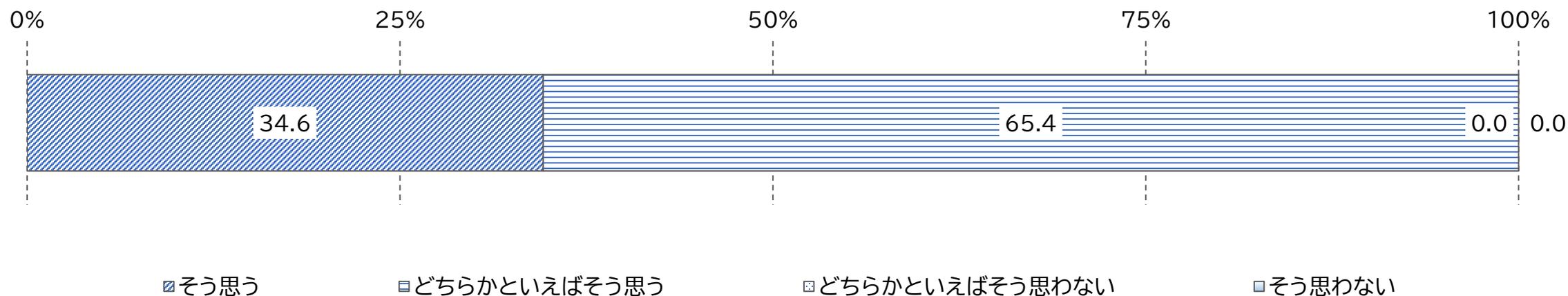
# Q17.企業等とどのような取組ができるか把握できている

Q17.企業等と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている(n=52)(単一選択式)



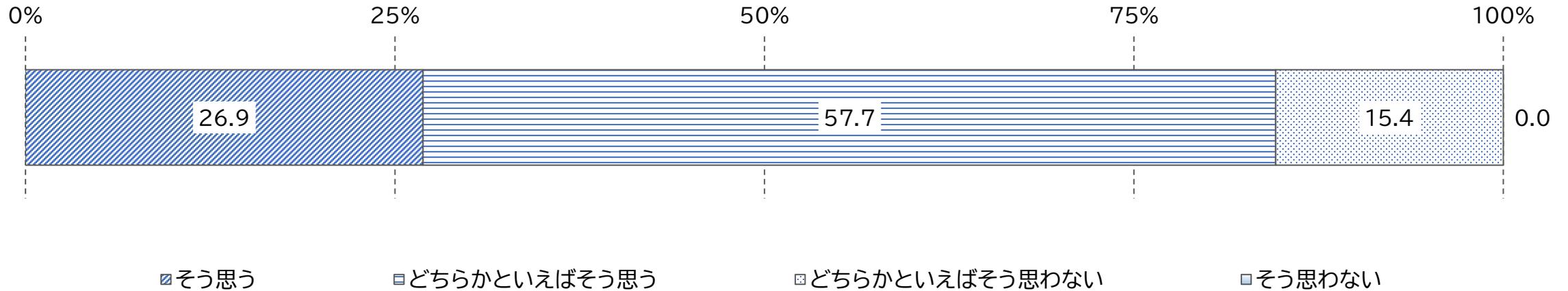
# Q18.産学連携の目的は、連携先企業等に伝わっている

Q18.貴校の産学連携の目的は、連携先の企業等に十分伝わっている。(n=52)(単一選択式)



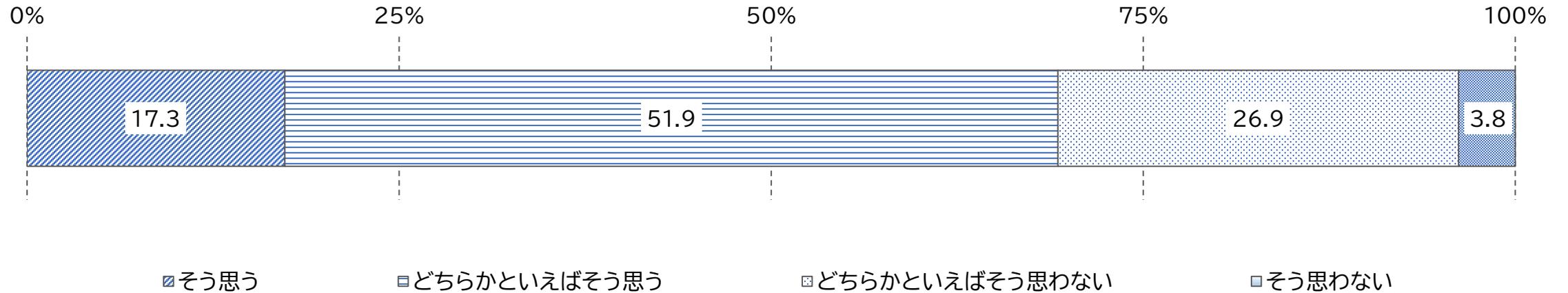
# Q19.取組は学校と企業の双方の課題を踏まえた内容になっている

Q19.現在の取組は、学校と企業の双方の課題を踏まえた内容になっている。(n=52)(単一選択式)



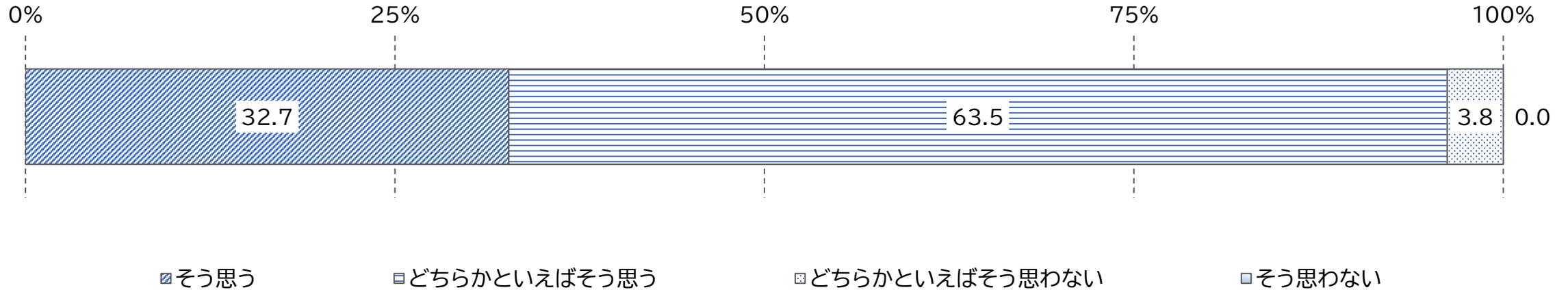
# Q20.学校と企業の共通のビジョンを協議する場があった

Q20.学校と企業の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。(n=52)(単一選択式)



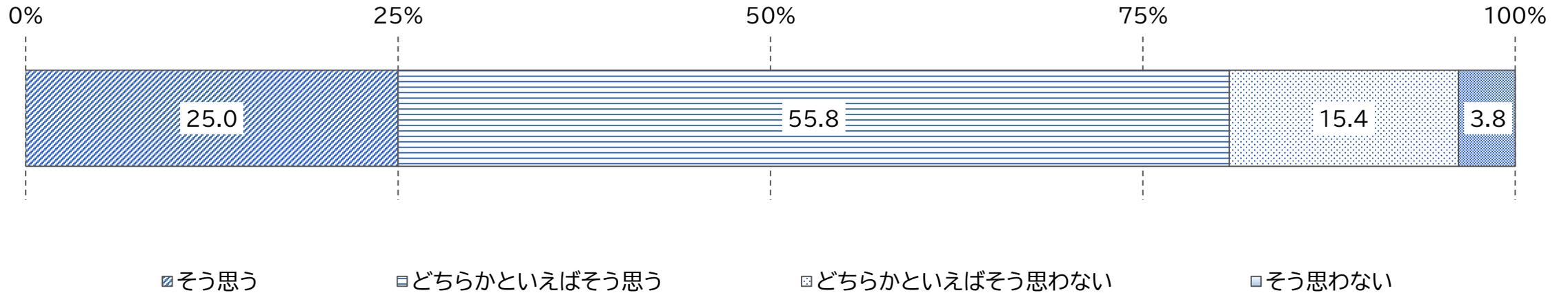
# Q21.産学連携の連携先企業は役割を十分に果たしている

Q21.産学連携と一緒に取り組んでいる企業は、活動において企業としての役割を十分に果たしていると感じますか (n=52)(単一選択式)



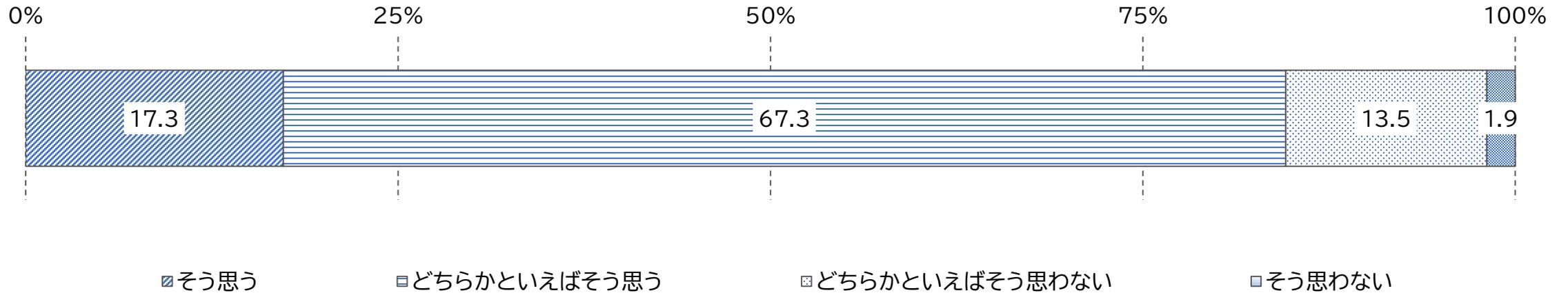
## Q22. 学校側担当者が変更になっても産学連携を継続できる

Q22. 貴校の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(n=52)(単一選択式)



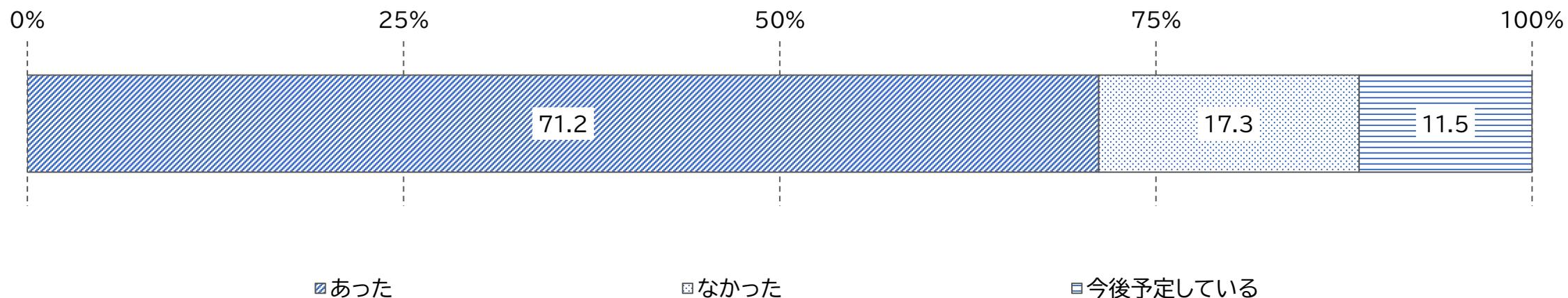
# Q23.産業界側担当者の変更があっても産学連携を継続できる

Q23.産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(n=52)(単一選択式)



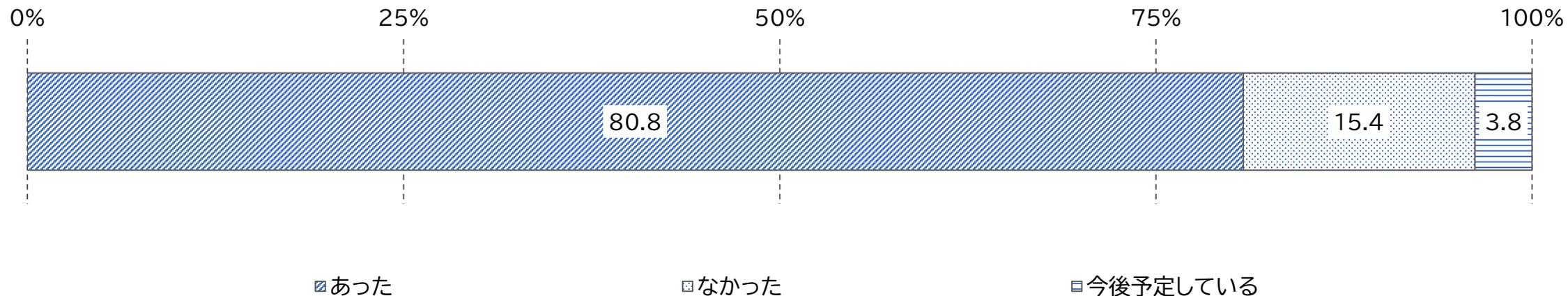
# Q24.学校で産業界との連携の必要性を検討する機会

Q24.学校の中で、産業界との連携の必要性を検討する機会(n=52)(単一選択式)



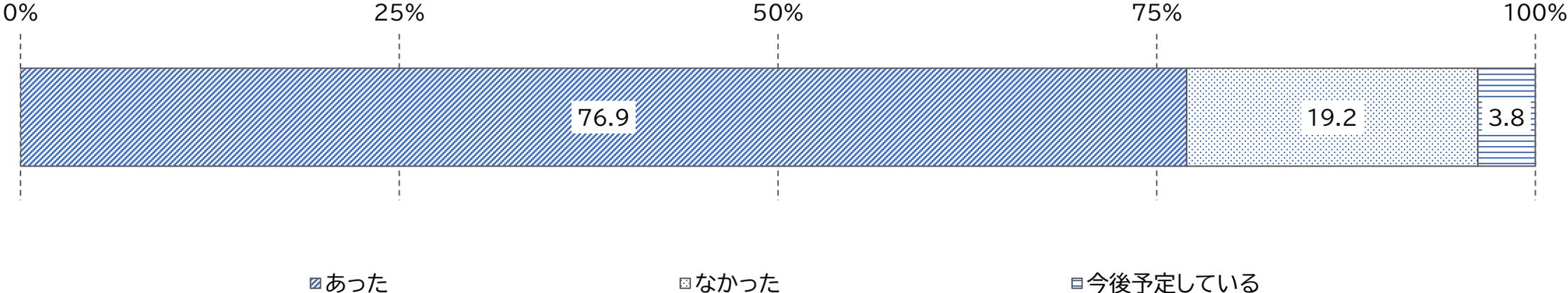
# Q25.学校が抱える課題を産業界に伝える機会

Q25.学校が抱える課題を産業界に伝える機会(n=52)(単一選択式)



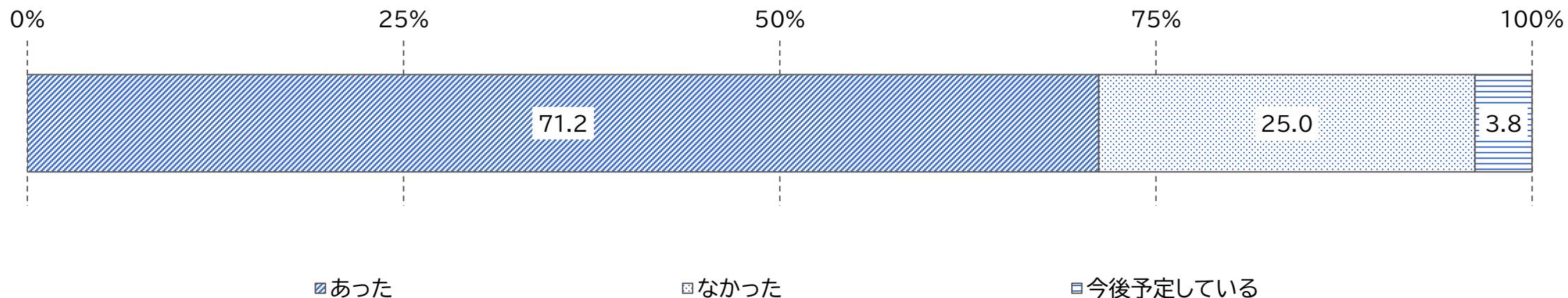
# Q26.産業界側の産学連携の目的や連携の必要性について知る機会

Q26.産業界側の産学連携の目的や連携の必要性について知る機会(n=52)(単一選択式)



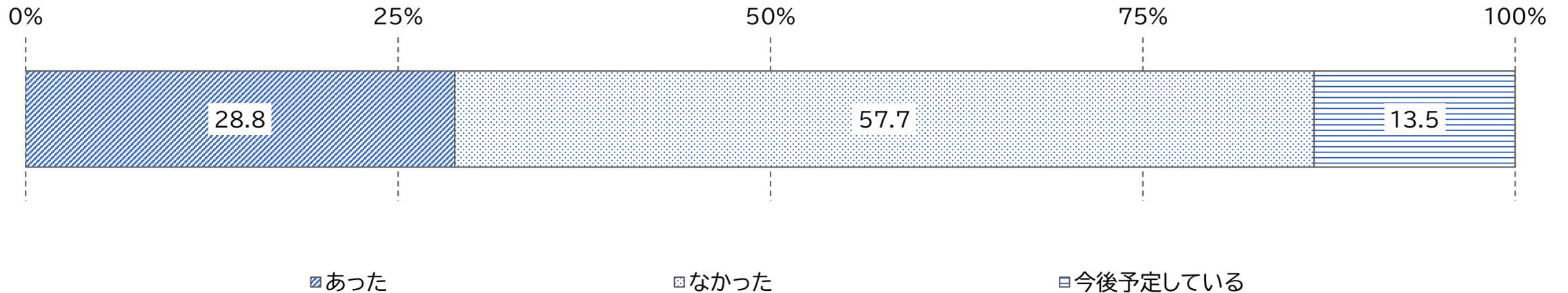
# Q27.学校と産業界が対等な立場で議論する機会

Q27.学校と産業界が対等な立場で議論する機会(n=52)(単一選択式)



# Q28.学校と産業界が協力してカリキュラムを検討・改善する機会

Q28.学校と産業界が協力して、学校のカリキュラムを検討・改善する機会(n=52)(単一選択式)



# 相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		学校用アンケート																		
		q3	q6	q10	q14	q15	q16	q17	q18	q19	q20	q21	q22	q23	q24	q25	q26	q27	q28	
学校用アンケート	産学連携歴	q3	1.00	0.33	-0.05	0.23	-0.26	-0.11	-0.23	-0.02	-0.06	0.17	0.21	0.39	0.02	-0.11	0.15	0.06	0.13	-0.19
	産学連携に関与する企業・団体数	q6	0.33	1.00	0.22	0.29	0.13	-0.07	0.10	0.09	0.09	0.19	0.18	0.09	0.03	-0.06	0.19	0.39	0.26	-0.06
	産学連携の学校目標・ビジョンへの貢献度	q10	-0.05	0.22	1.00	0.06	0.13	0.54	0.55	0.49	0.60	0.24	0.48	0.19	0.10	0.20	0.57	0.38	0.30	0.49
	基礎自治体との連携の深さ	q14	0.23	0.29	0.06	1.00	0.20	-0.09	-0.02	-0.22	-0.14	-0.03	0.10	0.02	-0.02	0.17	-0.13	-0.13	0.14	0.09
	基礎自治体からの資源提供	q15	-0.26	0.13	0.13	0.20	1.00	-0.16	0.21	-0.20	-0.09	0.09	-0.08	-0.33	-0.29	0.15	0.07	0.46	0.14	0.00
	学校による、連携先側の産学連携目的の理解	q16	-0.11	-0.07	0.54	-0.09	-0.16	1.00	0.76	0.77	0.69	0.54	0.59	0.33	0.39	0.37	0.26	0.35	0.36	0.46
	連携で実現する取組の把握	q17	-0.23	0.10	0.55	-0.02	0.21	0.76	1.00	0.62	0.44	0.34	0.52	0.22	0.24	0.39	0.26	0.34	0.26	0.56
	連携先による、学校側の産学連携目的の理解	q18	-0.02	0.09	0.49	-0.22	-0.20	0.77	0.62	1.00	0.75	0.52	0.61	0.33	0.39	0.47	0.29	0.55	0.05	0.40
	双方の課題を踏まえた取組の実現	q19	-0.06	0.09	0.60	-0.14	-0.09	0.69	0.44	0.75	1.00	0.38	0.47	0.18	0.25	0.36	0.46	0.54	0.44	0.47
	双方の課題を踏まえたビジョン協議	q20	0.17	0.19	0.24	-0.03	0.09	0.54	0.34	0.52	0.38	1.00	0.34	0.25	0.27	0.52	0.45	0.72	0.49	0.15
	企業の貢献度	q21	0.21	0.18	0.48	0.10	-0.08	0.59	0.52	0.61	0.47	0.34	1.00	0.54	0.28	0.29	0.06	0.39	0.16	0.46
	継続性(学校側)	q22	0.39	0.09	0.19	0.02	-0.33	0.33	0.22	0.33	0.18	0.25	0.54	1.00	0.57	0.07	-0.01	0.11	0.02	0.15
	継続性(連携先側)	q23	0.02	0.03	0.10	-0.02	-0.29	0.39	0.24	0.39	0.25	0.27	0.28	0.57	1.00	0.15	-0.03	0.16	0.07	0.04
	校内での産業連携の必要性検討機会	q24	-0.11	-0.06	0.20	0.17	0.15	0.37	0.39	0.47	0.36	0.52	0.29	0.07	0.15	1.00	0.53	0.53	0.40	0.71
	学校の課題を企業に伝える機会	q25	0.15	0.19	0.57	-0.13	0.07	0.26	0.26	0.29	0.46	0.45	0.06	-0.01	-0.03	0.53	1.00	0.50	0.67	0.44
	産業界側の産学連携目的・必要性を知る機会	q26	0.06	0.39	0.38	-0.13	0.46	0.35	0.34	0.55	0.54	0.72	0.39	0.11	0.16	0.53	0.50	1.00	0.42	0.26
	学校と産業界が対等な立場で議論する機会	q27	0.13	0.26	0.30	0.14	0.14	0.36	0.26	0.05	0.44	0.49	0.16	0.02	0.07	0.40	0.67	0.42	1.00	0.40
	産学連携によるカリキュラム検討・改善機会	q28	-0.19	-0.06	0.49	0.09	0.00	0.46	0.56	0.40	0.47	0.15	0.46	0.15	0.04	0.71	0.44	0.26	0.40	1.00

※いずれもポリコリック相関係数として算出。

※黄色:成果に相当する項目

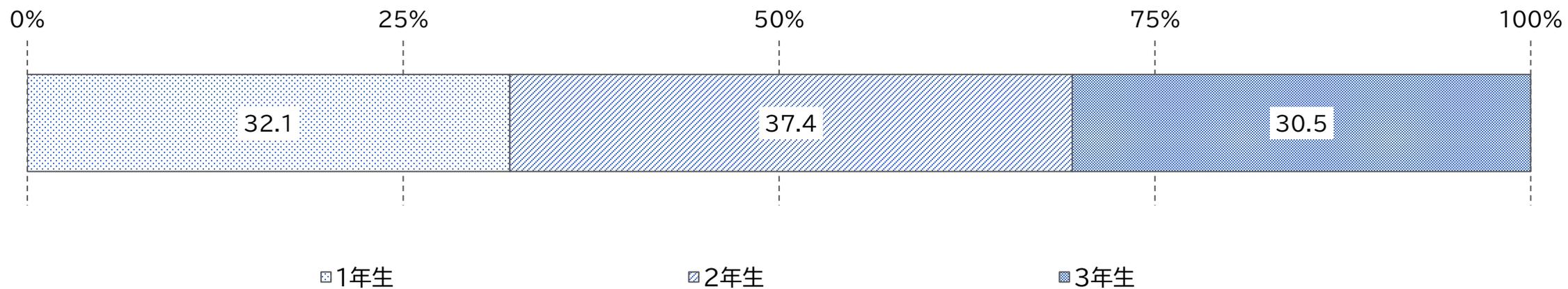
## 2.生徒用アンケート

---

# Q3.回答者の学年

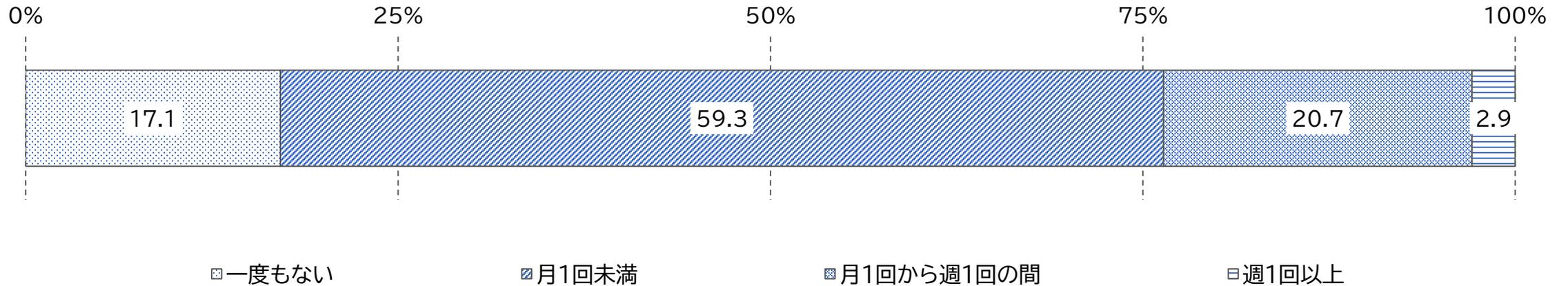
---

Q2.学年を選んでください。(n=7,586)(単一選択式)



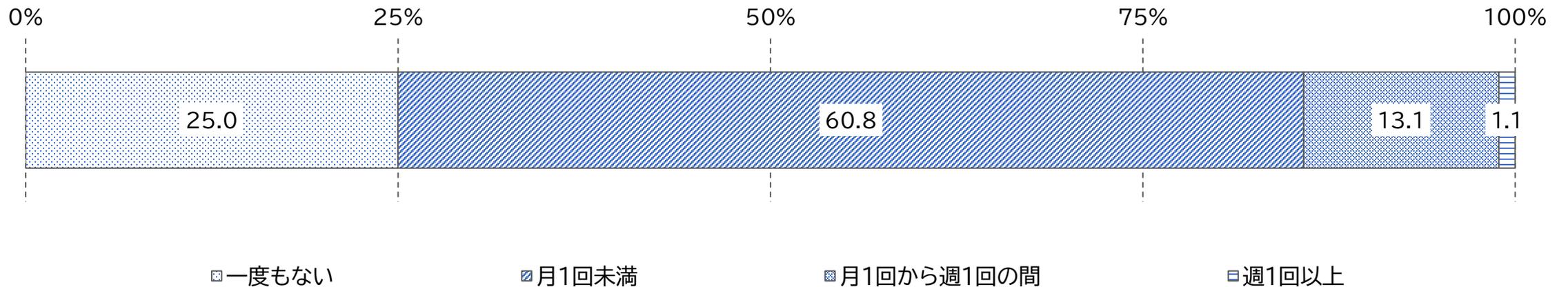
# Q4.授業・実習で企業や地域の人による講義等の頻度

Q4.今年度、学校での授業や実習の中で、企業や地域の人が講義をしたり、手伝ったりしたことは、どれぐらいありましたか。(n=7,586)(単一選択式)



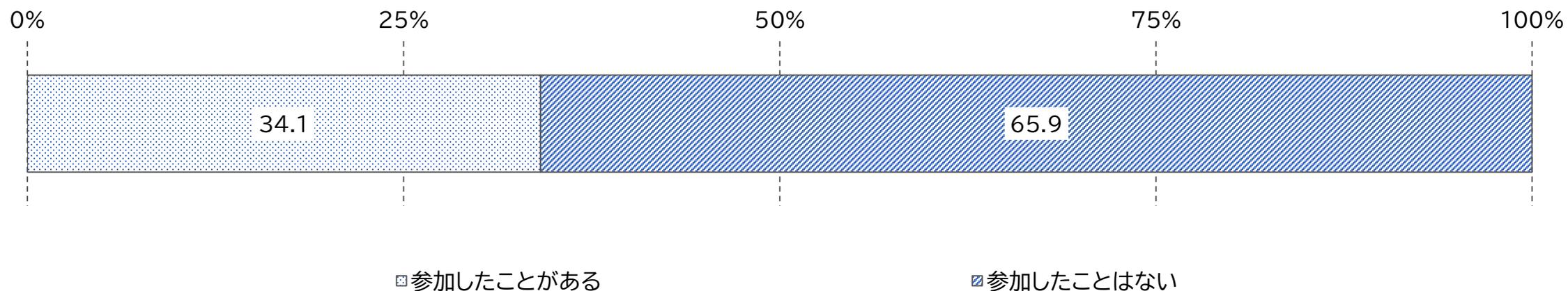
# Q5.授業・実習以外で企業や地域の人による講義等の頻度

Q5.今年度、学校行事やイベント(授業や実習以外)で、企業や地域の人が話をしたり一緒に活動したりしたことは、どれぐらいありましたか。(n=7,586)(単一選択式)



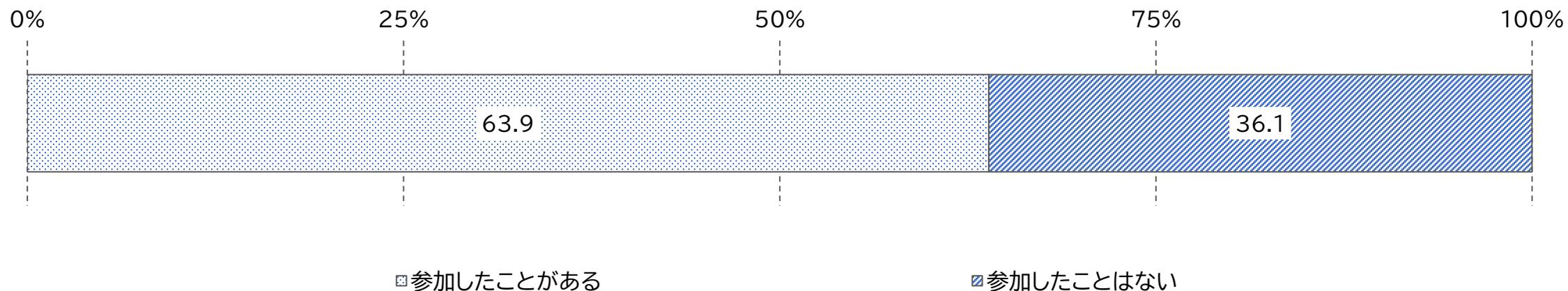
## Q6. 企業や地域の人に関わっている課題研究やグループワークの経験

Q6. 今年度、企業や地域の人に関わっている課題研究やグループワークに参加した経験はありますか。(n=7,586)(単一選択式)



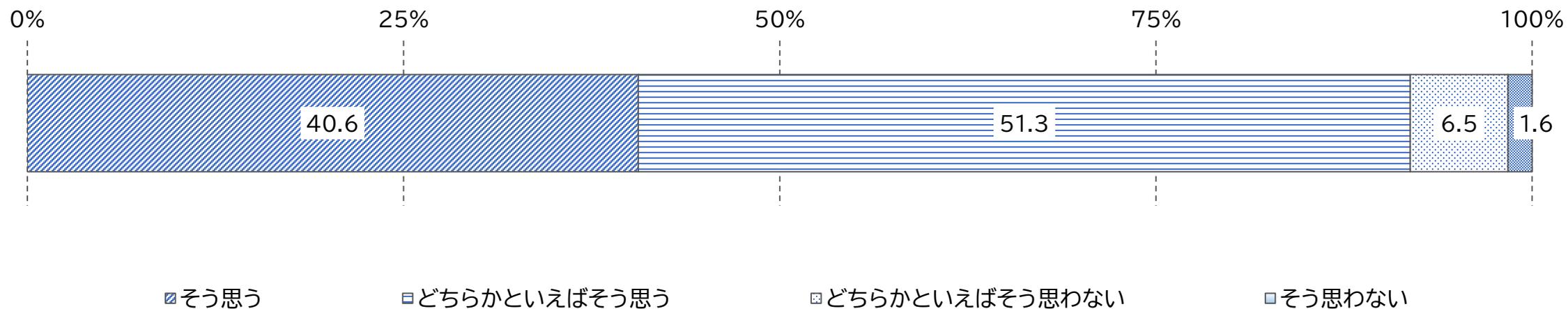
# Q7.企業や地域の施設を訪問する活動の参加経験

Q7.今年度、企業や地域の施設を訪問する活動(見学やインターンシップなど)に参加した経験はありますか。(n=7,586)(単一選択式)



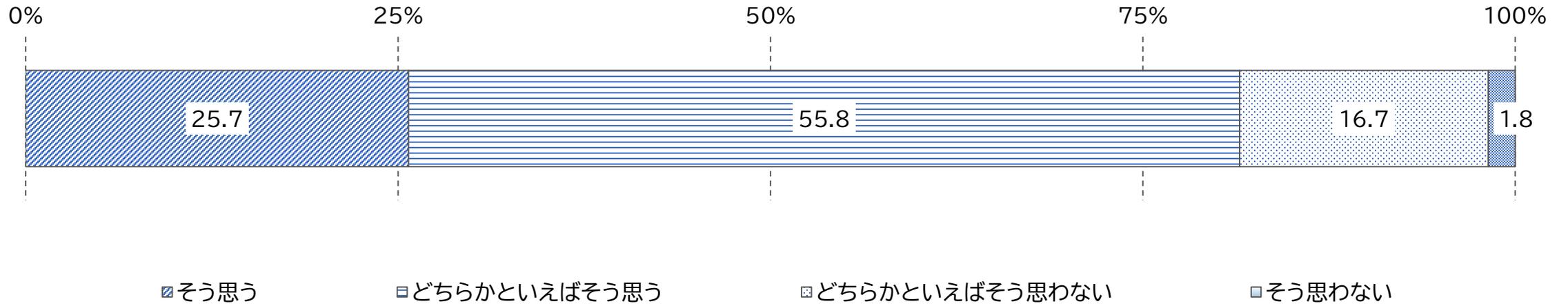
# Q8.授業で学んでいる知識や技術について、もっと知りたい

Q8.授業で学んでいる知識や技術について、もっと知りたいと思う。(n=7,586)(単一選択式)



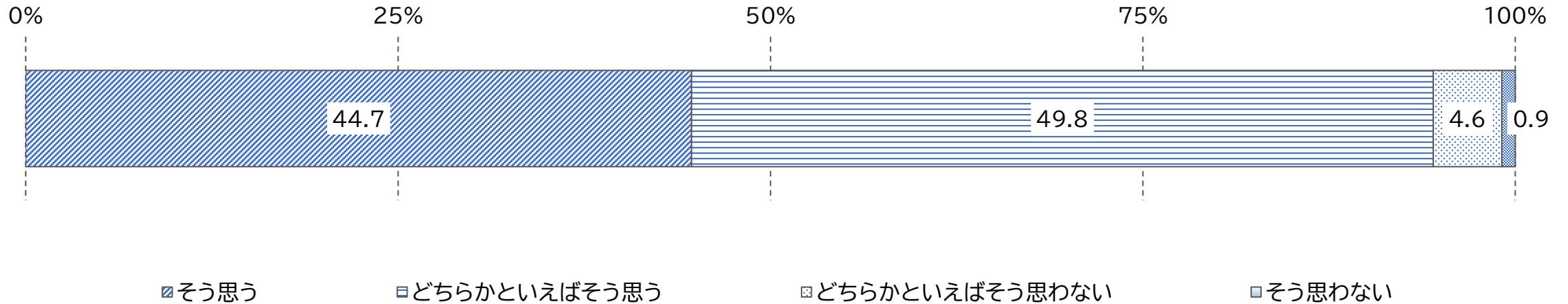
# Q9.仕事や社会で使われている知識や技術について理解している

Q9.仕事や社会の中で使われている知識や技術について、理解していると思う。(n=7,586)(単一選択式)



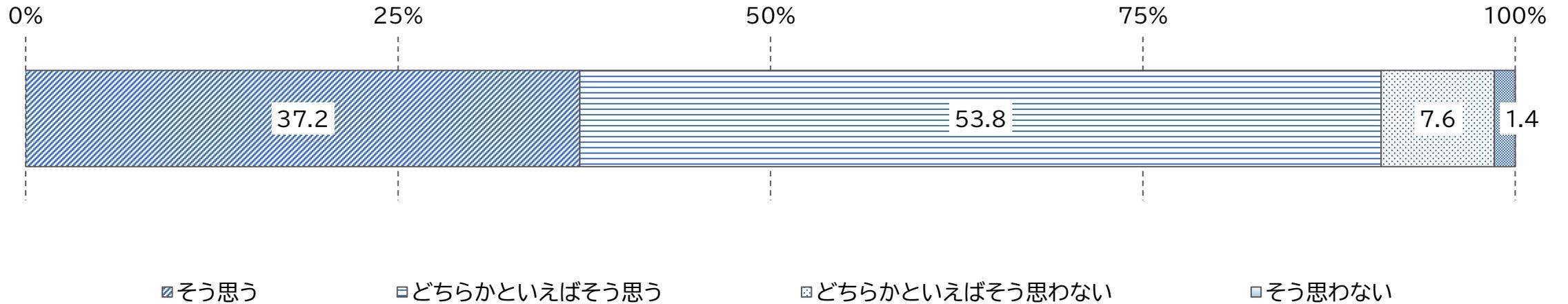
# Q10.仕事や社会で使われている知識や技術を生活の中で役立てたい

Q10.仕事や社会で使われている知識や技術を、普段の生活の中で役立てたいと思う。(n=7,586)(単一選択式)



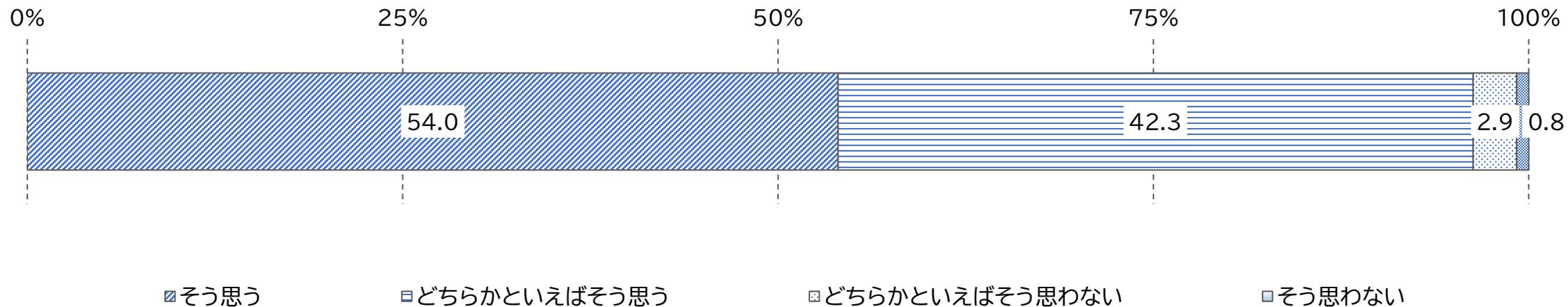
# Q11.仕事や社会で使われる知識や技術を学び、授業の大切さが分かる

Q11.仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業がなぜ大切か分かった。(n=7,586)(単一選択式)



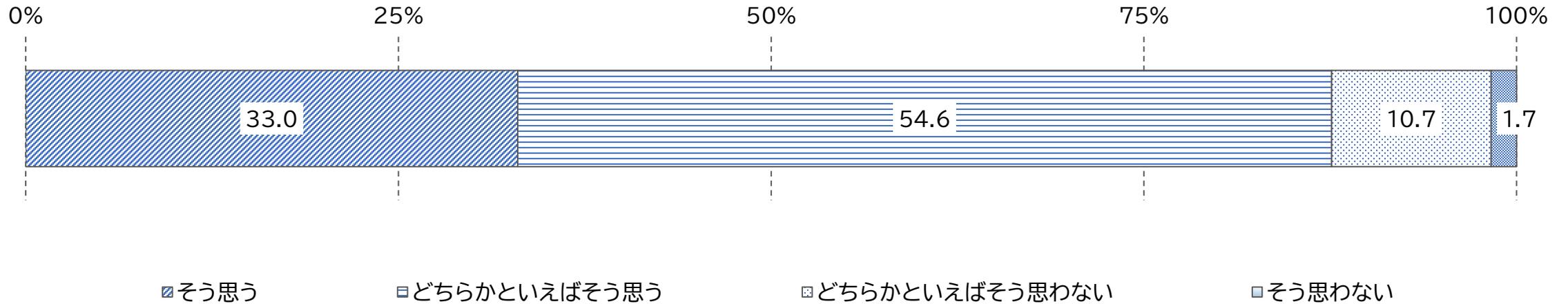
# Q12.企業や地域の人から学ぶことは、将来の進路を考えるのに役立つ

Q12.企業や地域の人から学ぶことは、将来の進路を考えるのに役立つと思う。(n=7,586)(単一選択式)



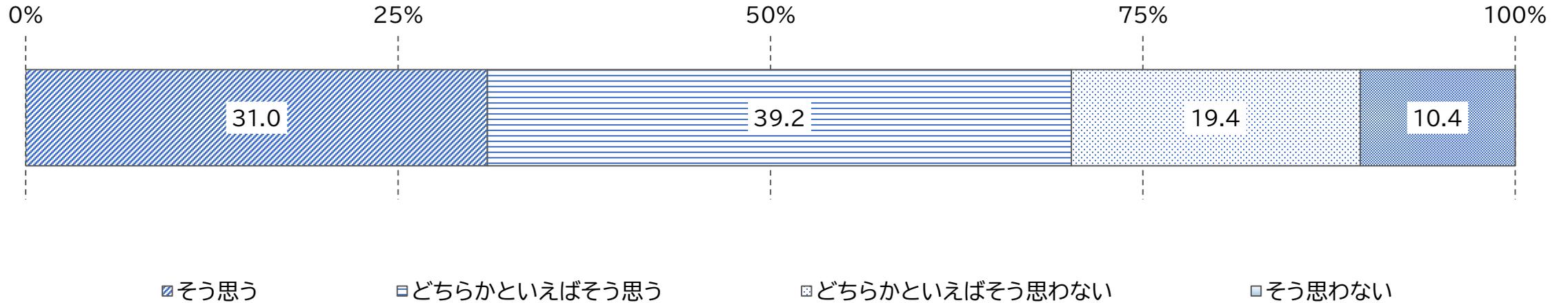
# Q13.地域企業や産業について、進路のための情報を知ることができた

Q13.地域の企業や産業について、進路を考えるための情報を十分に知ることができた。(n=7,586)(単一選択式)



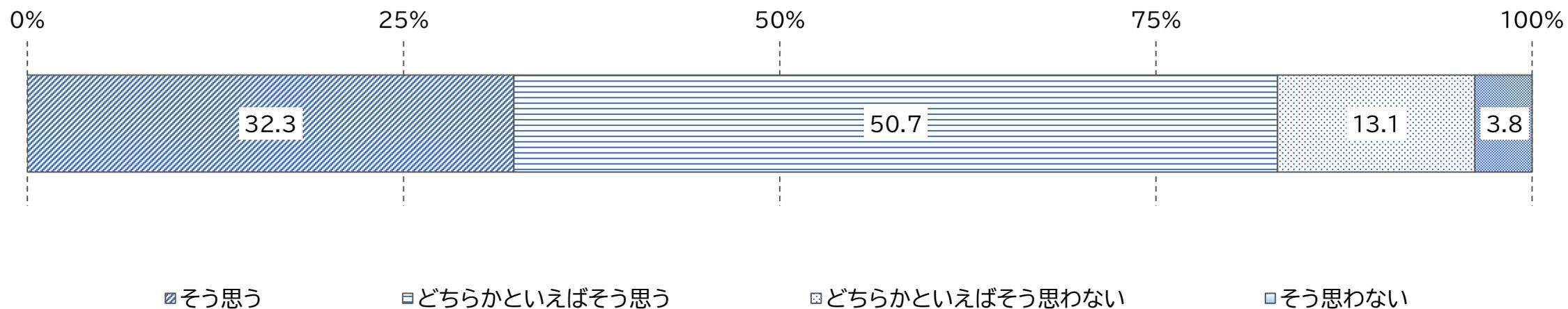
# Q14.地元の企業に就職したいと思う

Q14.地元の企業に就職したいと思う(進学する場合は卒業後に)。(n=7,586)(単一選択式)



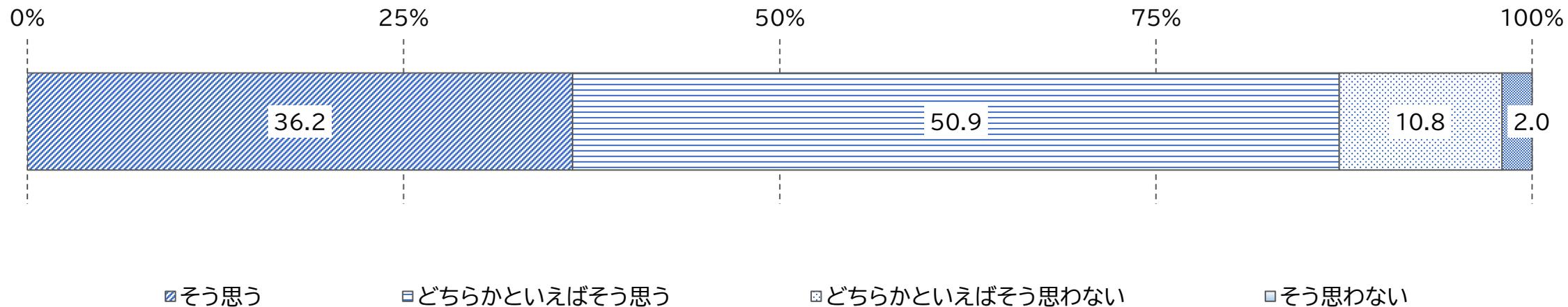
# Q15.地元の発展に貢献したいと思う

Q15.地元の発展に貢献したいと思う。(n=7,586)(単一選択式)



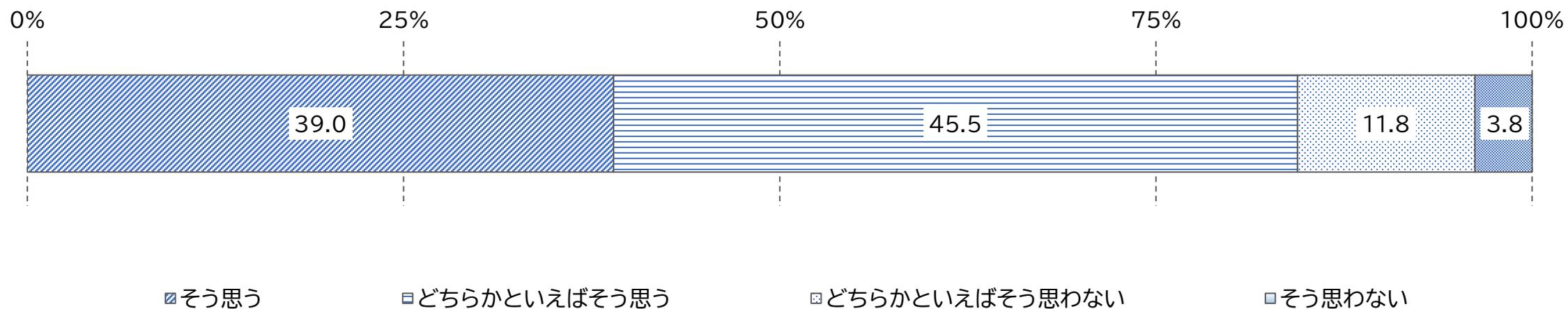
# Q16. 将来の目標を考え、それを実現するために努力している

Q16. 将来の目標を考え、それを実現するために努力している。(n=7,586)(単一選択式)



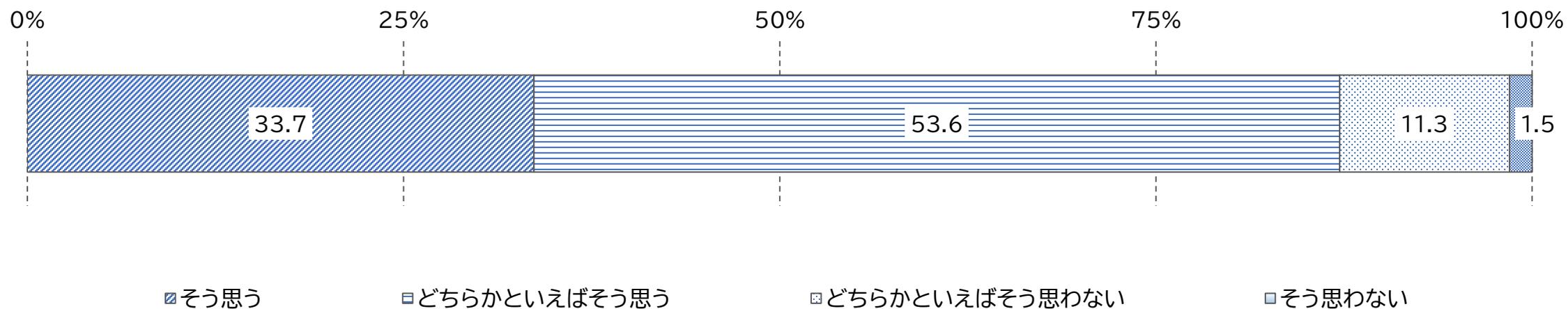
# Q17.将来に対して希望を持っている

Q17.将来に対して希望を持っている。(n=7,586)(単一選択式)



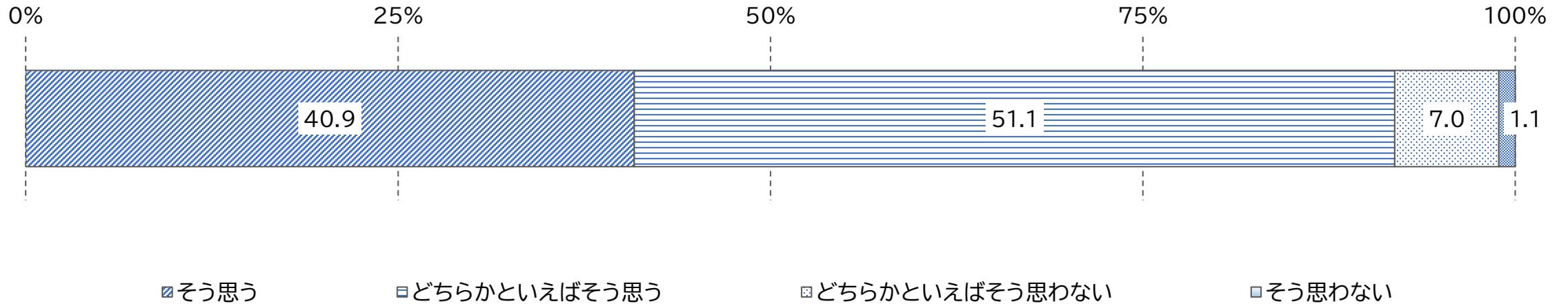
# Q18.やるべきことに対して、積極的に取り組むことができる

Q18.やるべきことに対して、積極的に取り組むことができる。(n=7,586)(単一選択式)



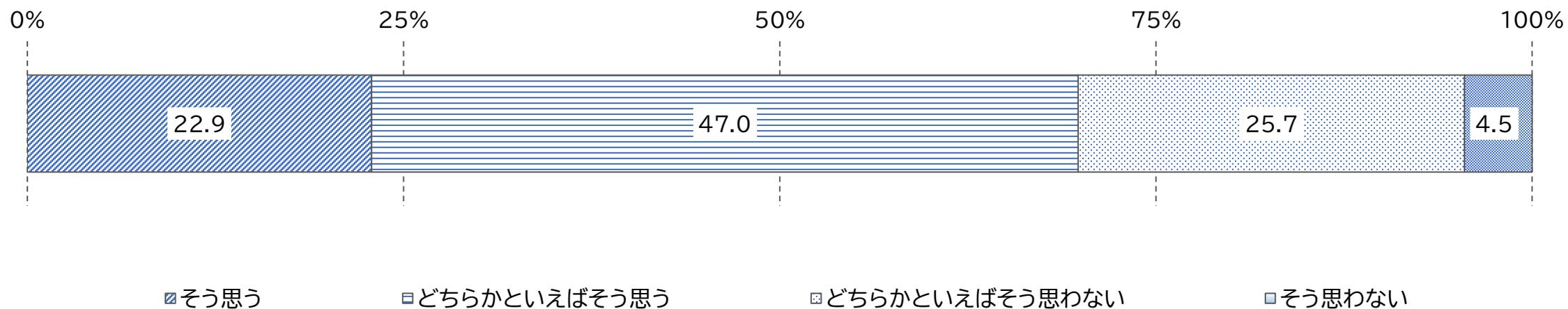
# Q19.目標を達成するため人の力を借りながら取り組むことができる

Q19.目標を達成するために、周りの人の力を借りながら取り組むことができる。(n=7,586)(単一選択式)



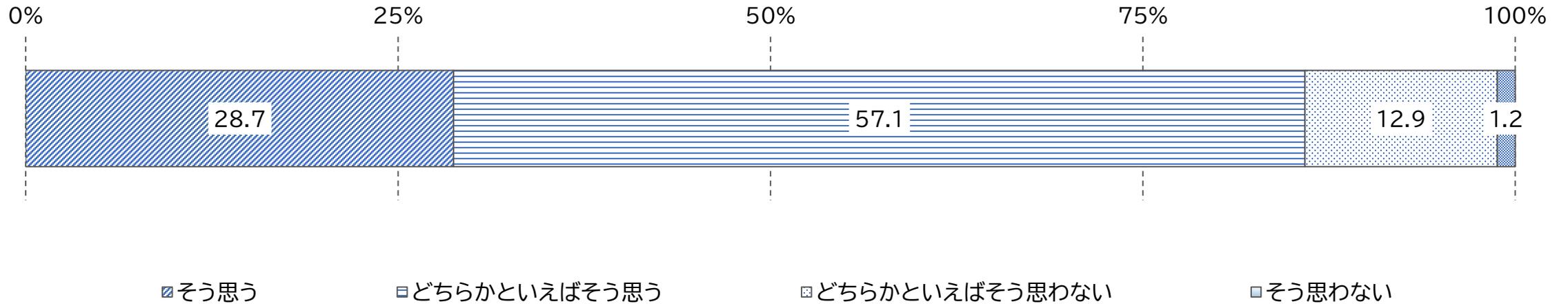
# Q20.失敗を恐れず行動に移すことができる

Q20.失敗を恐れず、行動に移すことができる。(n=7,586)(単一選択式)



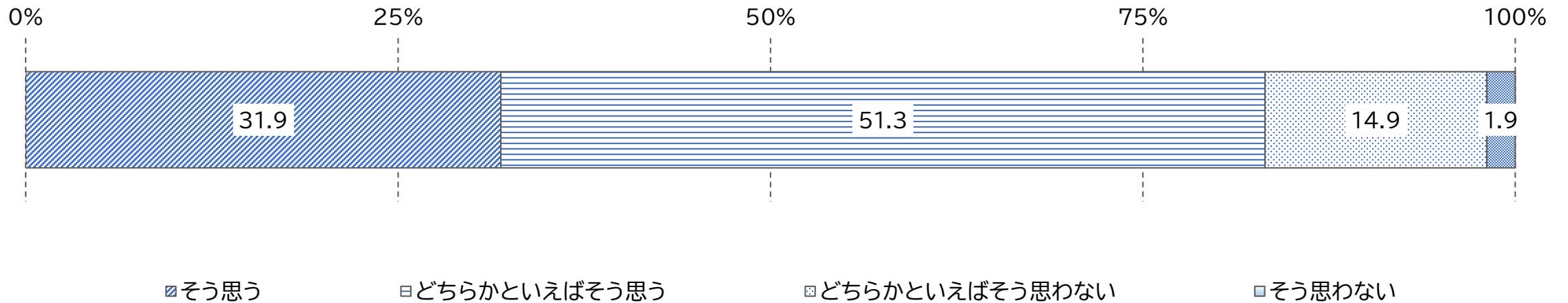
# Q21.目標達成のために解決すべき問題を見つけることができる

Q21.目標を達成するために、解決すべき問題を見つけることができる。(n=7,586)(単一選択式)



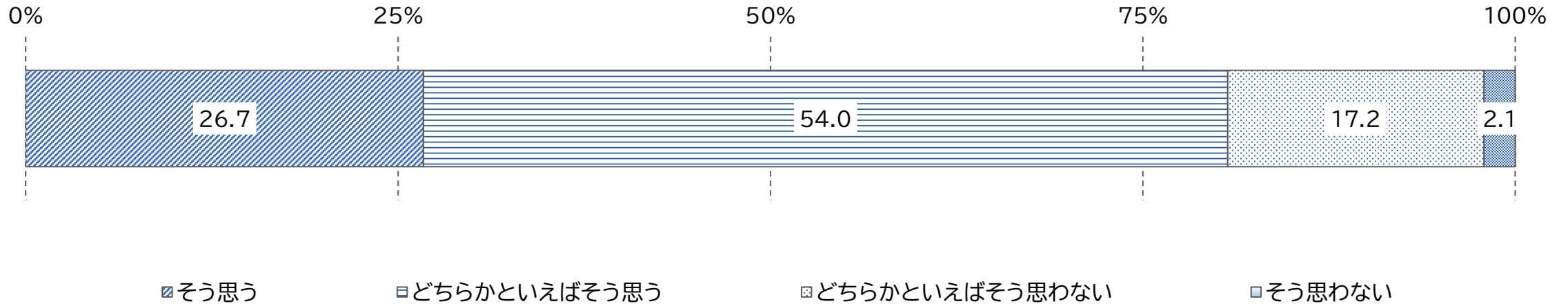
## Q22.課題に取り組むとき優先順位を決められる

Q22.何かの課題に取り組むとき、必要な手順について優先順位を決められる。(n=7,586)(単一選択式)



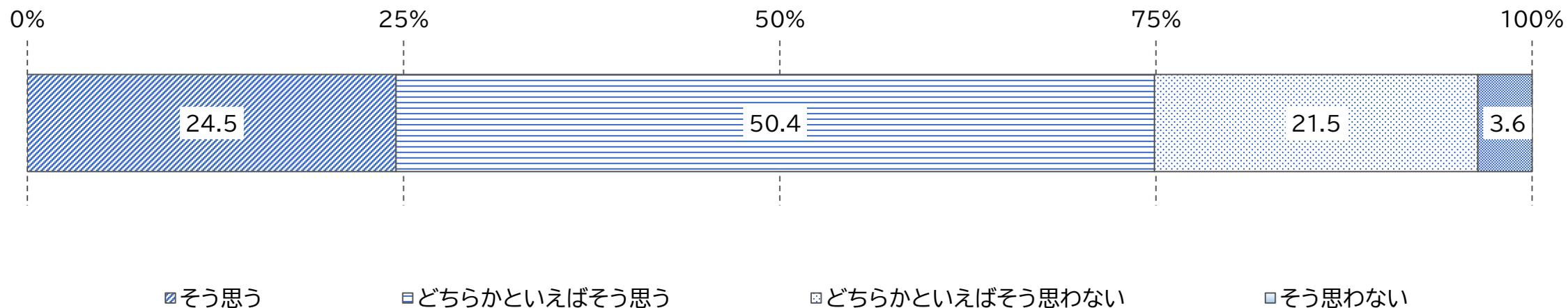
# Q23.課題の解決策の選択肢をいくつか挙げて検討することができる

Q23.何かの課題に取り組むとき、解決策の選択肢をいくつか挙げて検討することができる。(n=7,586)(単一選択式)



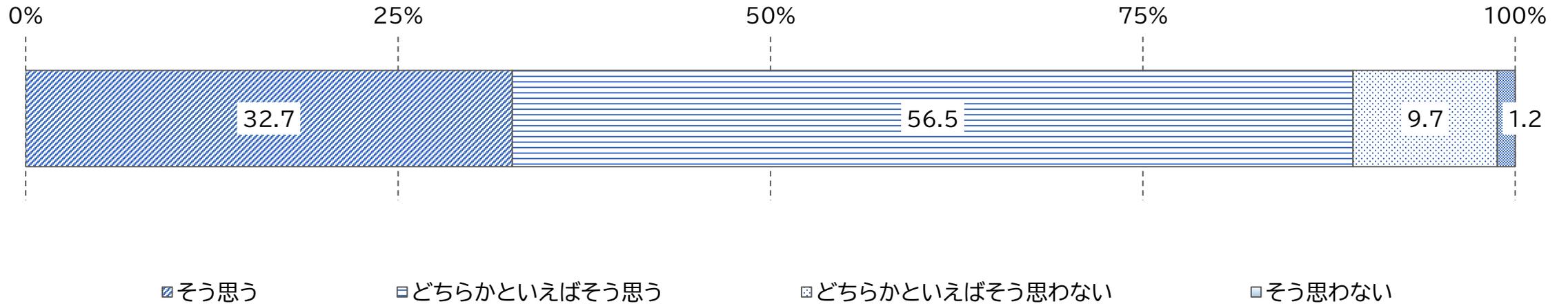
# Q24.話し相手に意見を分かりやすく伝えることができる

Q24.話し相手に対して、自分の意見を分かりやすく伝えることができる。(n=7,586)(単一選択式)



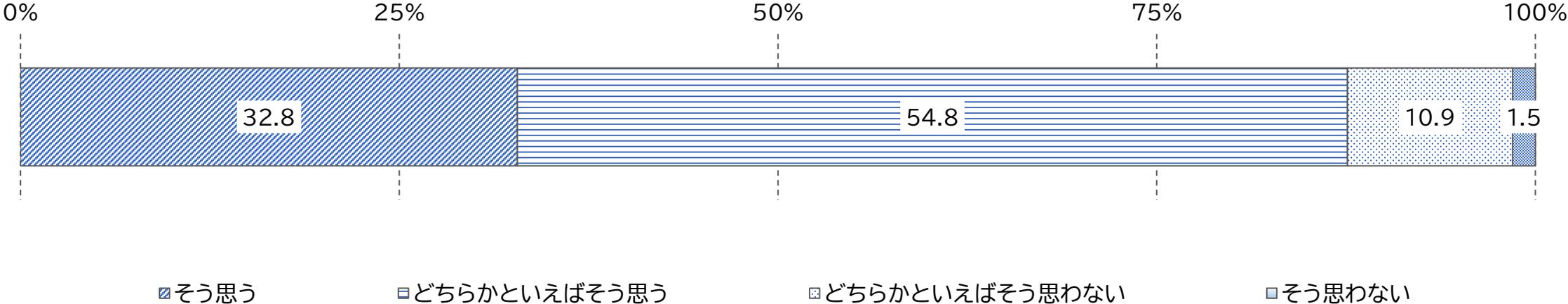
# Q25.話し相手の意見や主張を正確に聞き取ることができる

Q25.話し相手の意見や主張を正確に聞き取ることができる。(n=7,586)(単一選択式)



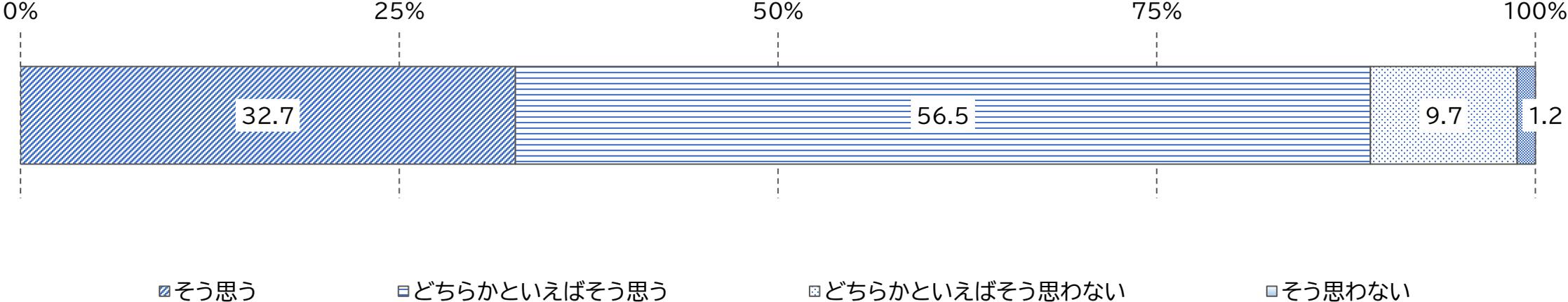
# Q26.相手の立場や意見を尊重することができる。

Q26.相手の立場や意見を尊重することができる。(n=7,586)(単一選択式)



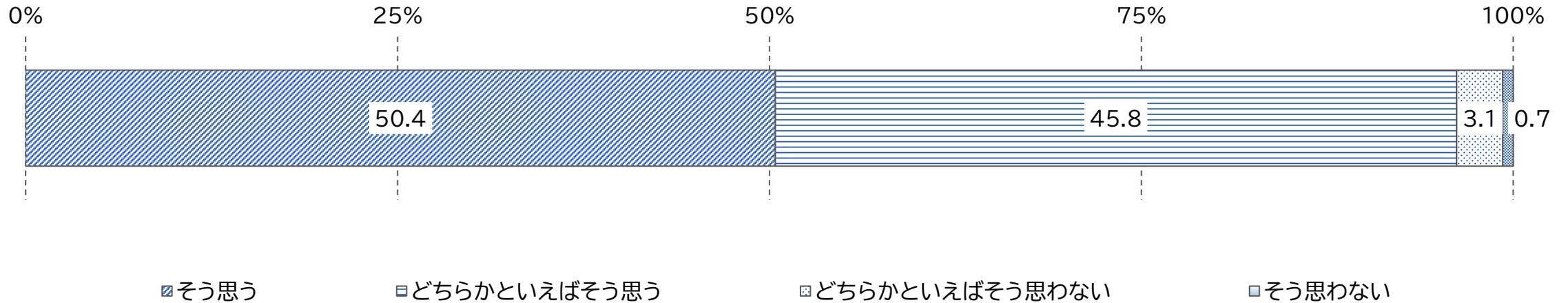
# Q27.グループで活動で自分の役割を理解できる

Q27.グループで活動するとき、何をすればよいか、自分の役割を理解できる。(n=7,586)(単一選択式)



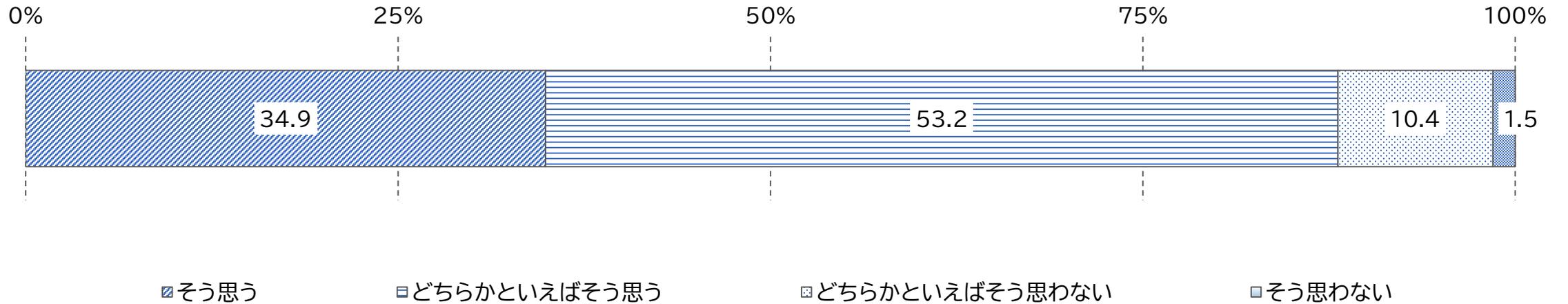
# Q28. 集団や社会生活の規則やルールを守ることができる

Q28. 集団や社会生活の規則やルールを守ることができる。(n=7,586)(単一選択式)



# Q29. 困難な問題に直面しても、諦めずに前向きに取り組もうとする

Q29. 困難な問題に直面しても、諦めずに前向きに取り組もうとすることができる。(n=7,586)(単一選択式)



# 相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		生徒用アンケート																											
		q3	q4	q5	q6	q7	q8	q9	q10	q11	q12	q13	q14	q15	q16	q17	q18	q19	q20	q21	q22	q23	q24	q25	q26	q27	q28	q29	
生徒用アンケート	生徒の学年	q3	1.00	0.03	0.00	0.19	0.07	0.08	0.05	0.01	0.01	0.04	0.09	0.03	0.05	0.12	0.09	0.10	0.09	0.08	0.10	0.09	0.12	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09
	産学連携の取組頻度(授業・実習)	q4	0.03	1.00	0.54	0.27	0.15	0.09	0.06	0.10	0.07	0.11	0.11	0.01	0.06	0.06	0.05	0.03	0.06	0.00	0.06	0.05	0.07	0.04	0.07	0.10	0.07	0.08	0.04
	産学連携の取組頻度(学校行事・イベント)	q5	0.00	0.54	1.00	0.36	0.24	0.10	0.12	0.12	0.09	0.12	0.15	0.05	0.09	0.10	0.08	0.08	0.10	0.06	0.11	0.08	0.10	0.08	0.09	0.10	0.11	0.08	0.07
	産学連携の経験 (課題研究やグループワーク)	q6	0.19	0.27	0.36	1.00	0.38	0.13	0.14	0.13	0.13	0.12	0.17	0.07	0.12	0.16	0.13	0.13	0.14	0.12	0.13	0.12	0.15	0.14	0.12	0.10	0.14	0.09	0.13
	産学連携の経験 (企業見学・インターンシップ等)	q7	0.07	0.15	0.24	0.38	1.00	0.15	0.08	0.13	0.12	0.20	0.17	0.10	0.12	0.09	0.09	0.08	0.10	0.07	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.11	0.10	0.12	0.13
	社会人基礎力以外の成果項目	q8	0.08	0.09	0.10	0.13	0.15	1.00	0.56	0.67	0.65	0.61	0.54	0.35	0.49	0.53	0.49	0.46	0.47	0.39	0.50	0.41	0.45	0.40	0.44	0.47	0.47	0.47	0.49
		q9	0.05	0.06	0.12	0.14	0.08	0.56	1.00	0.56	0.60	0.45	0.61	0.37	0.45	0.57	0.50	0.49	0.44	0.49	0.53	0.46	0.51	0.51	0.49	0.42	0.49	0.38	0.49
		q10	0.01	0.10	0.12	0.13	0.13	0.67	0.56	1.00	0.67	0.68	0.58	0.33	0.52	0.54	0.52	0.47	0.53	0.39	0.53	0.45	0.48	0.40	0.48	0.54	0.49	0.53	0.51
		q11	0.01	0.07	0.09	0.13	0.12	0.65	0.60	0.67	1.00	0.65	0.64	0.38	0.51	0.53	0.49	0.48	0.52	0.40	0.51	0.43	0.48	0.42	0.46	0.49	0.48	0.48	0.51
		q12	0.04	0.11	0.12	0.12	0.20	0.61	0.45	0.68	0.65	1.00	0.63	0.34	0.52	0.48	0.47	0.41	0.52	0.30	0.44	0.40	0.39	0.34	0.44	0.54	0.46	0.55	0.48
		q13	0.09	0.11	0.15	0.17	0.17	0.54	0.61	0.58	0.64	0.63	1.00	0.40	0.52	0.56	0.51	0.49	0.52	0.44	0.52	0.45	0.50	0.47	0.48	0.47	0.50	0.45	0.52
		q14	0.03	0.01	0.05	0.07	0.10	0.35	0.37	0.33	0.38	0.34	0.40	1.00	0.69	0.30	0.26	0.29	0.29	0.29	0.30	0.28	0.30	0.28	0.27	0.28	0.27	0.27	0.31
		q15	0.05	0.06	0.09	0.12	0.12	0.49	0.45	0.52	0.51	0.52	0.52	0.69	1.00	0.49	0.46	0.42	0.44	0.40	0.45	0.38	0.42	0.39	0.40	0.44	0.44	0.43	0.48
		q16	0.12	0.06	0.10	0.16	0.09	0.53	0.57	0.54	0.53	0.48	0.56	0.30	0.49	1.00	0.74	0.62	0.56	0.53	0.59	0.50	0.53	0.49	0.51	0.50	0.54	0.48	0.59
		q17	0.09	0.05	0.08	0.13	0.09	0.49	0.50	0.52	0.49	0.47	0.51	0.26	0.46	0.74	1.00	0.56	0.55	0.55	0.55	0.46	0.49	0.48	0.50	0.48	0.53	0.46	0.58
	q18	0.10	0.03	0.08	0.13	0.08	0.46	0.49	0.47	0.48	0.41	0.49	0.29	0.42	0.62	0.56	1.00	0.70	0.63	0.67	0.61	0.60	0.56	0.57	0.56	0.62	0.57	0.68	
	q19	0.09	0.06	0.10	0.14	0.10	0.47	0.44	0.53	0.52	0.52	0.52	0.29	0.44	0.56	0.55	0.70	1.00	0.57	0.65	0.56	0.56	0.55	0.58	0.61	0.64	0.62	0.64	
	q20	0.08	0.00	0.06	0.12	0.07	0.39	0.49	0.39	0.40	0.30	0.44	0.29	0.40	0.53	0.55	0.63	0.57	1.00	0.67	0.56	0.60	0.64	0.54	0.44	0.61	0.39	0.66	
	q21	0.10	0.06	0.11	0.13	0.08	0.50	0.53	0.53	0.51	0.44	0.52	0.30	0.45	0.59	0.55	0.67	0.65	0.67	1.00	0.70	0.73	0.65	0.64	0.59	0.69	0.55	0.68	
	q22	0.09	0.05	0.08	0.12	0.09	0.41	0.46	0.45	0.43	0.40	0.45	0.28	0.38	0.50	0.46	0.61	0.56	0.56	0.70	1.00	0.70	0.59	0.59	0.54	0.62	0.52	0.61	
	q23	0.12	0.07	0.10	0.15	0.09	0.45	0.51	0.48	0.48	0.39	0.50	0.30	0.42	0.53	0.49	0.60	0.56	0.60	0.73	0.70	1.00	0.65	0.60	0.55	0.64	0.48	0.62	
	q24	0.07	0.04	0.08	0.14	0.09	0.40	0.51	0.40	0.42	0.34	0.47	0.28	0.39	0.49	0.48	0.56	0.55	0.64	0.65	0.59	0.65	1.00	0.70	0.53	0.67	0.44	0.58	
	q25	0.07	0.07	0.09	0.12	0.09	0.44	0.49	0.48	0.46	0.44	0.48	0.27	0.40	0.51	0.50	0.57	0.58	0.54	0.64	0.59	0.60	0.70	1.00	0.70	0.66	0.59	0.62	
	q26	0.07	0.10	0.10	0.10	0.11	0.47	0.42	0.54	0.49	0.54	0.47	0.28	0.44	0.50	0.48	0.56	0.61	0.44	0.59	0.54	0.55	0.53	0.70	1.00	0.64	0.72	0.62	
	q27	0.08	0.07	0.11	0.14	0.10	0.47	0.49	0.49	0.48	0.46	0.50	0.27	0.44	0.54	0.53	0.62	0.64	0.61	0.69	0.62	0.64	0.67	0.66	0.64	1.00	0.60	0.67	
	q28	0.08	0.08	0.08	0.09	0.12	0.47	0.38	0.53	0.48	0.55	0.45	0.27	0.43	0.48	0.46	0.57	0.62	0.39	0.55	0.52	0.48	0.44	0.59	0.72	0.60	1.00	0.65	
	q29	0.09	0.04	0.07	0.13	0.13	0.49	0.49	0.51	0.51	0.48	0.52	0.31	0.48	0.59	0.58	0.68	0.64	0.66	0.68	0.61	0.62	0.58	0.62	0.62	0.67	0.65	1.00	

※いずれもポリコリック相関係数として算出。

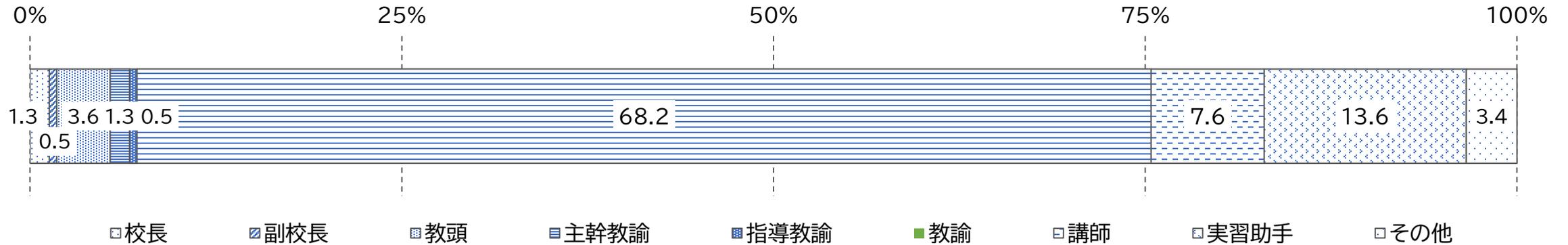
※黄色:成果に相当しうる項目

### 3.教員用アンケート

---

## Q2.回答者の職名

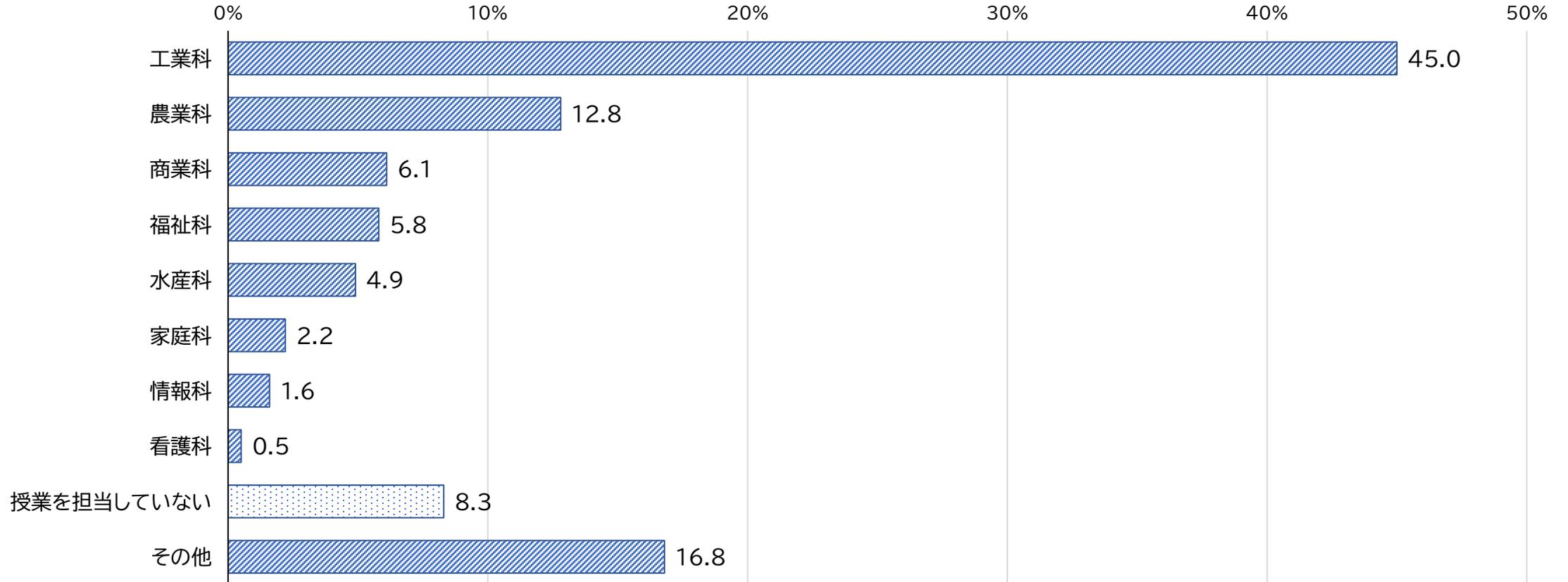
Q2.あなたの職名を教えてください。(n=553)(単一選択式)



「その他」の例: 養護教諭、学校司書 等

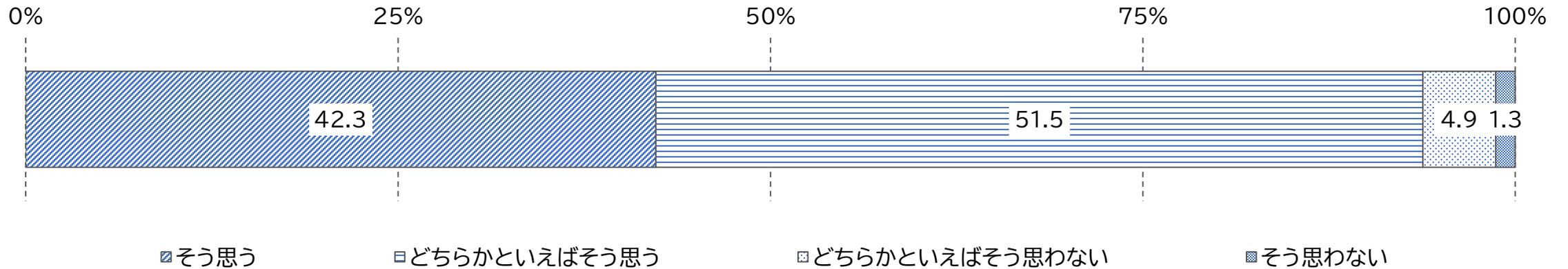
# Q3.授業を担当している学科

Q3.あなたが授業を担当している学科(大学科)を教えてください。(n=553)(複数選択式)



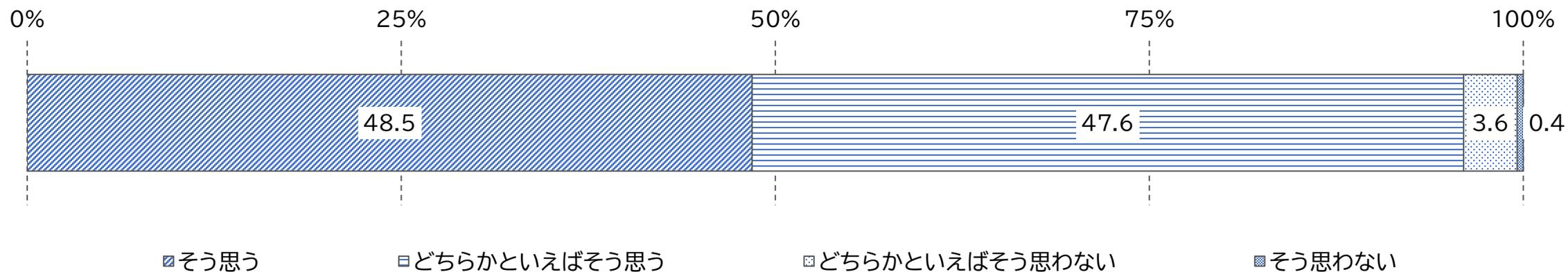
# Q4.学校が産学連携に取り組む必要性の理解

Q4.学校が産学連携に取り組む必要性を、あなたは十分に理解していますか。(n=553)(単一選択式)



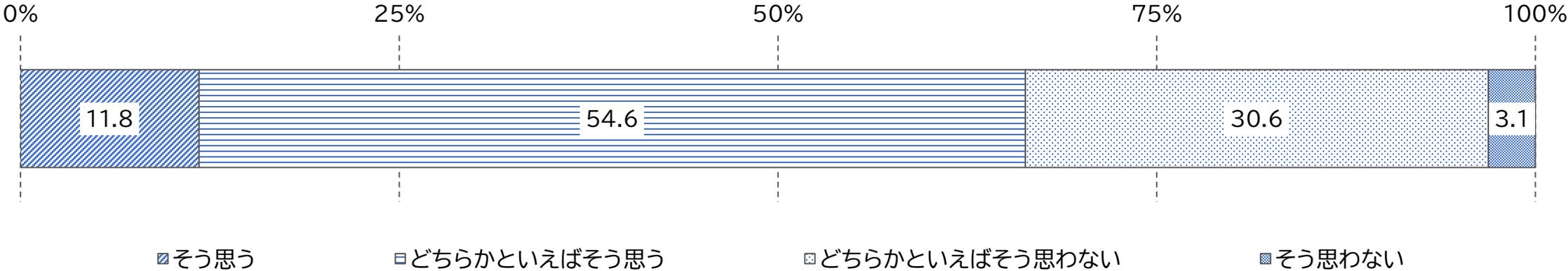
## Q5.産学連携の取組と学校目標の整合性

Q5.産学連携の取組が、学校の目標に合っていると思いますか。(n=553)(単一選択式)



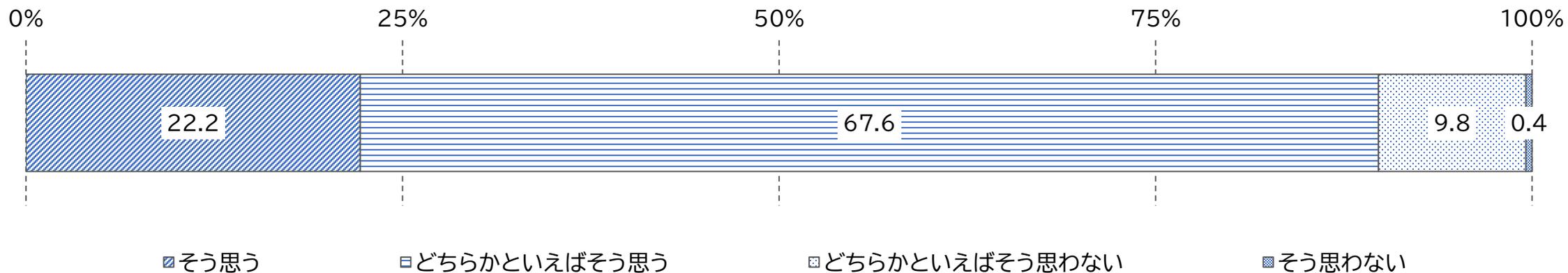
# Q6.生徒は、課題に対して粘り強く考えることができる

Q6.生徒は、課題に対して粘り強く考えることができる。(n=553)(単一選択式)



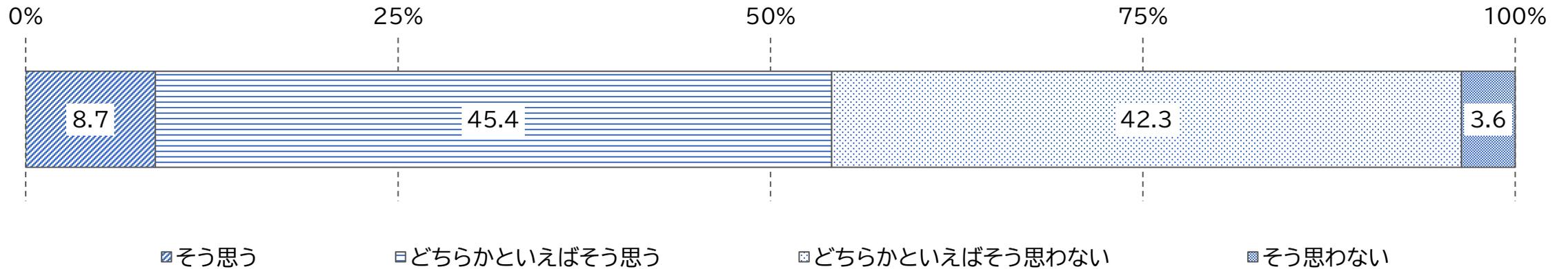
# Q7.生徒は、課題に対して他者と協力することができる

Q7.生徒は、課題に対して他者と協力することができる。(n=553)(単一選択式)



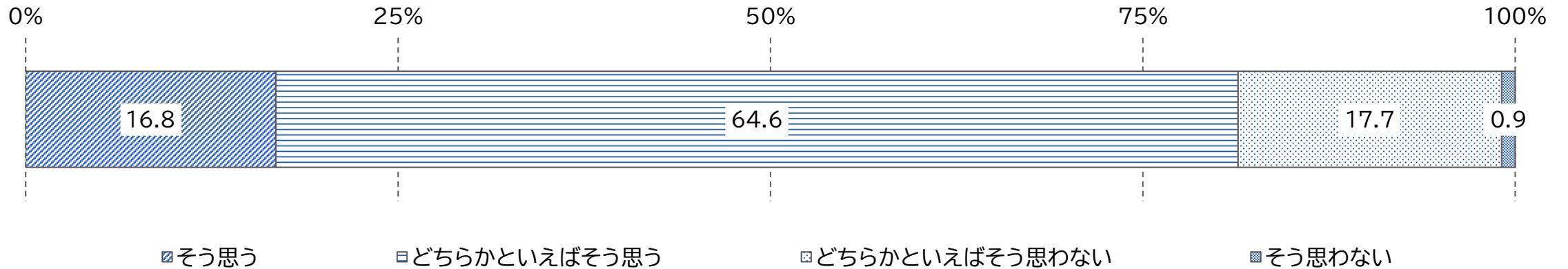
# Q8.生徒は、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができる

Q8.生徒は、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができる。(n=553)(単一選択式)



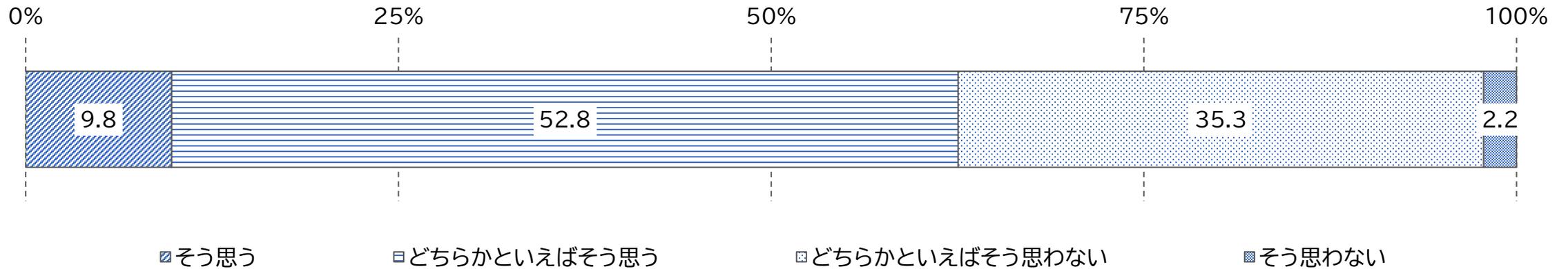
# Q9.生徒は、授業で学んでいる知識や技術に興味を持っている。

Q9.生徒は、授業で学んでいる知識や技術に興味を持っている。(n=553)(単一選択式)



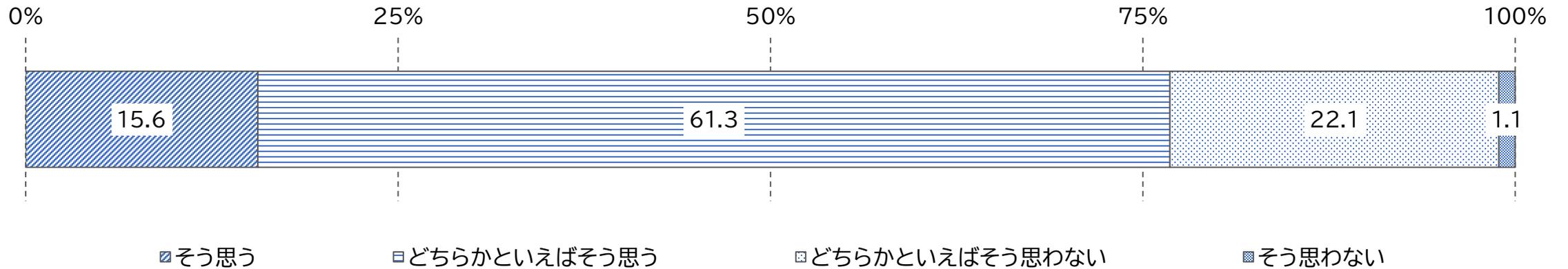
# Q10.生徒は仕事や社会で使われている知識や技術を理解している

Q10.生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解している。(n=553)(単一選択式)



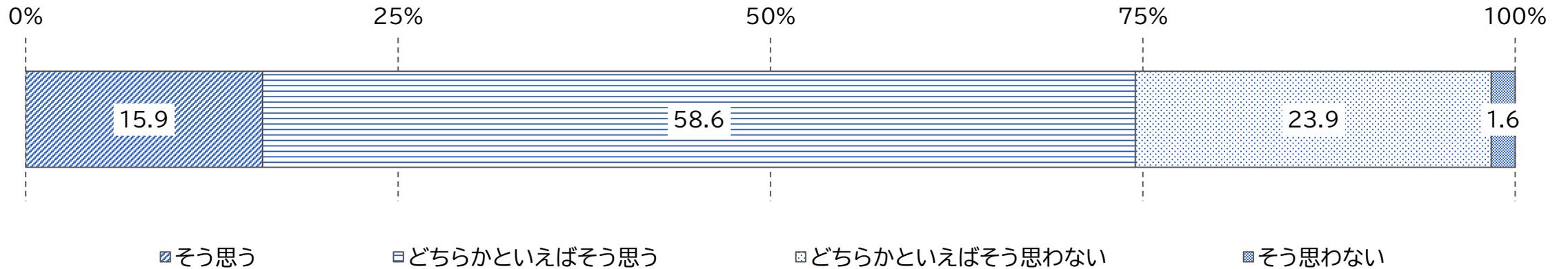
# Q11.生徒は仕事や社会の中の知識や技術を役立てたいと思っている

Q11.生徒は、普段の生活の中で、仕事や社会で使われている知識や技術を役立てたいと思っている。(n=553)(単一選択式)



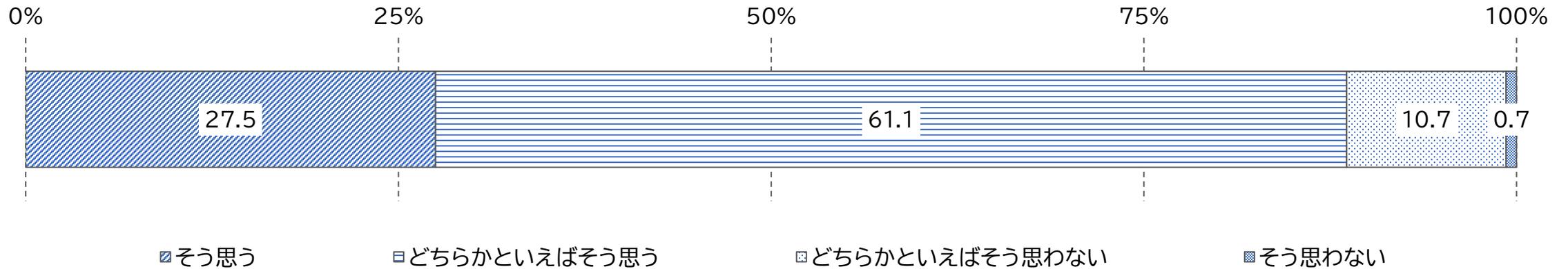
# Q12.生徒は仕事や社会の知識や技術を学ぶことで授業の大切さを理解

Q12.生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業の大切さを理解している。(n=553)(単一選択式)



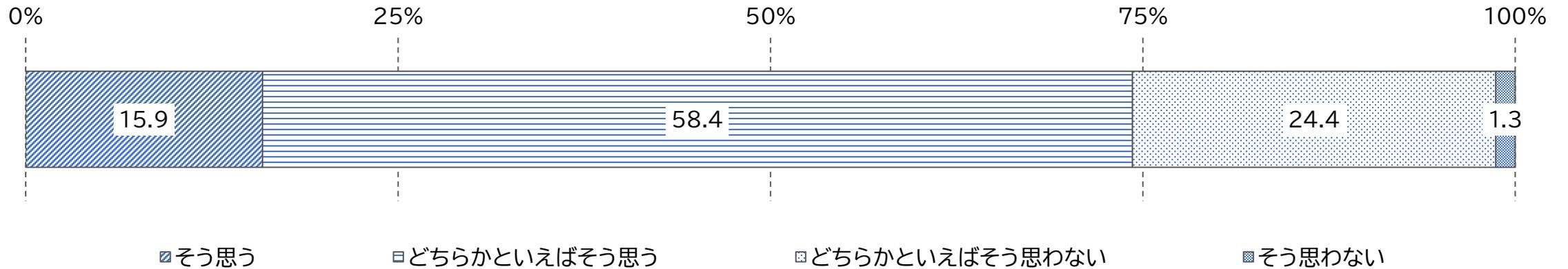
# Q13.生徒は企業や地域の人からの学びが進路に役立つと思っている

Q13.生徒は、企業や地域の人から学ぶことが、将来の進路を考えるのに役立つと思っている。(n=553)(単一選択式)



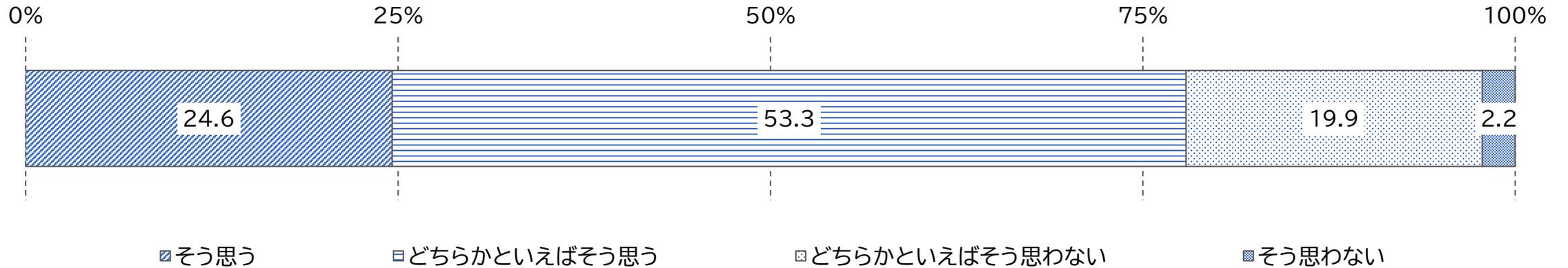
# Q14.生徒は地域企業や産業について進路判断に十分な情報を得ている

Q14.生徒は、地域の企業や産業について、進路を考えるための十分な情報を得ている。(n=553)(単一選択式)



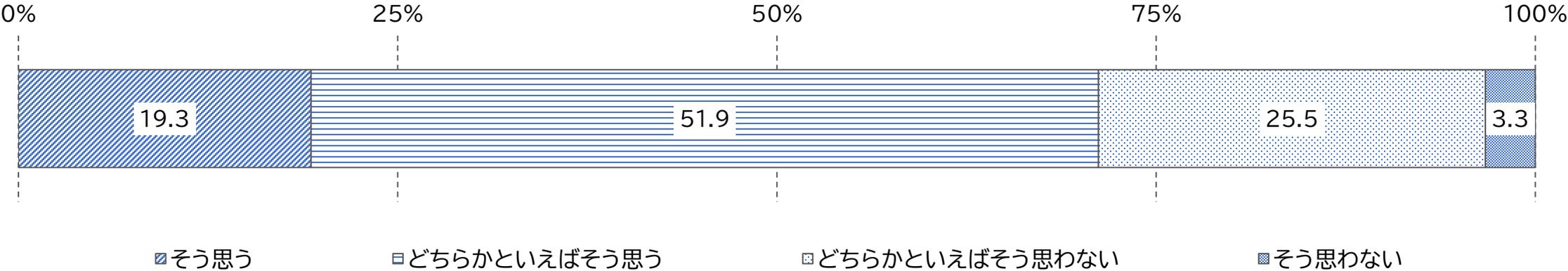
# Q15.生徒は地元の企業への就職について前向きに考えている

Q15.生徒は、地元の企業への就職(進学する場合は卒業後に)について前向きに考えている。(n=553)(単一選択式)



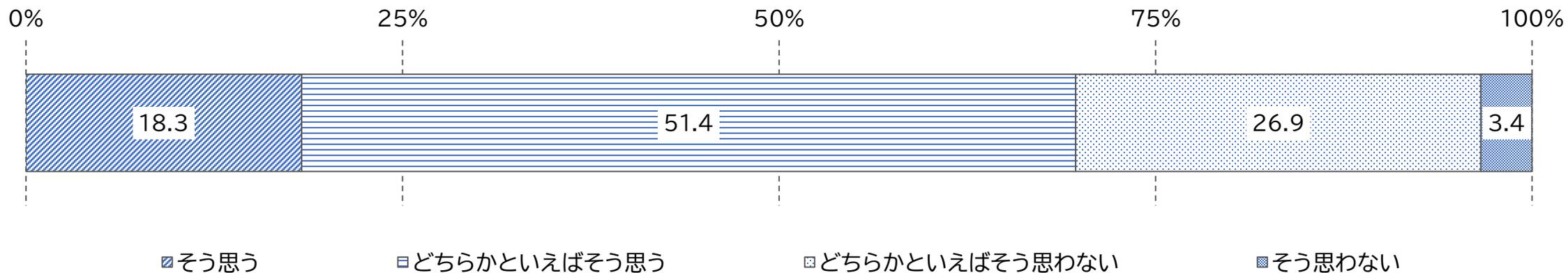
# Q16.生徒は、地元への貢献意識が高い傾向にある

Q16.生徒は、地元への貢献意識が高い傾向にある。(n=553)(単一選択式)



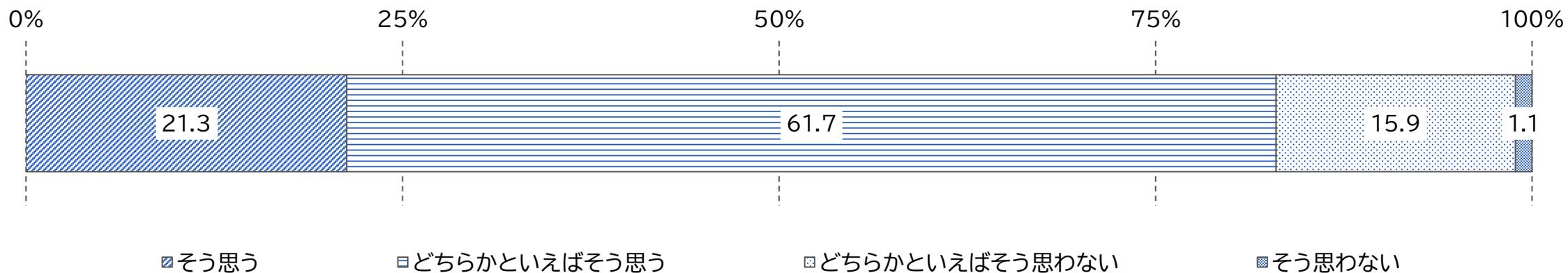
# Q17.生徒には、地域の課題に直接触れる機会がある

Q17.生徒には、地域の課題に直接触れる機会がある。(n=553)(単一選択式)



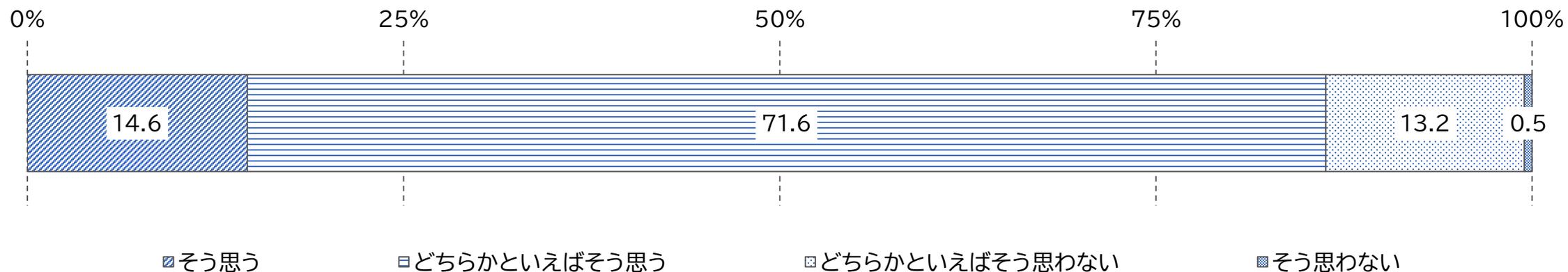
# Q18.地域の産業や企業について理解している

Q18.地域の産業や企業について理解している。(n=553)(単一選択式)



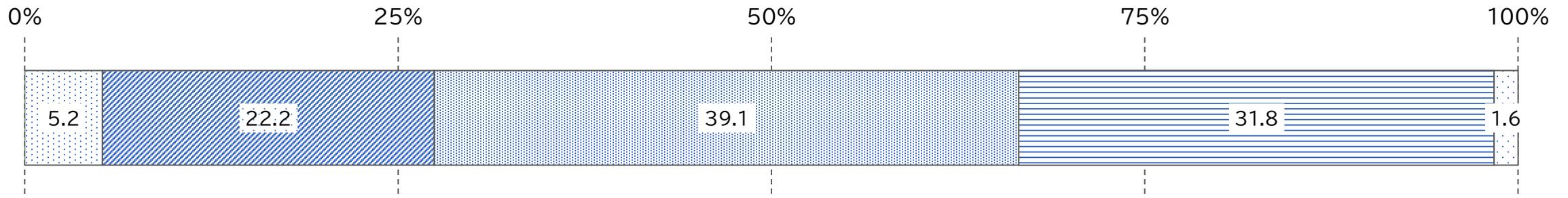
# Q19.生徒の関心に合った学習の機会を提供できている

Q19.生徒の関心に合った学習の機会を提供できている。(n=553)(単一選択式)



## Q20. マイスター・ハイスクール事業への関わり方

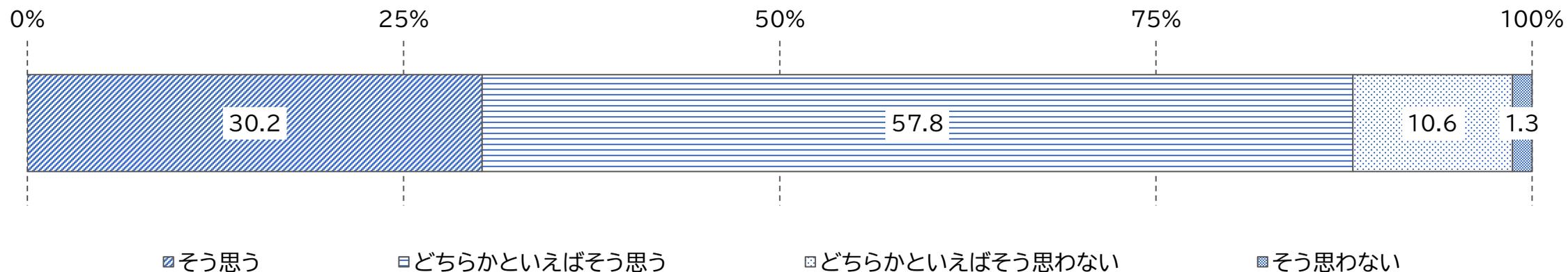
Q20. 今年度、マイスター・ハイスクール事業にどのように関わっていますか？  
あなたの関わり方について教えてください。(n=553)(単一選択式)



- 管理職として、マイスター・ハイスクール事業に関わっている。
- 担当者として、マイスター・ハイスクール事業に関わっている。
- 担当者ではないが、授業やイベント等の実施を通じて、マイスター・ハイスクール事業に関わっている。
- 担当者ではなく、マイスター・ハイスクール事業に関わっていない。
- その他

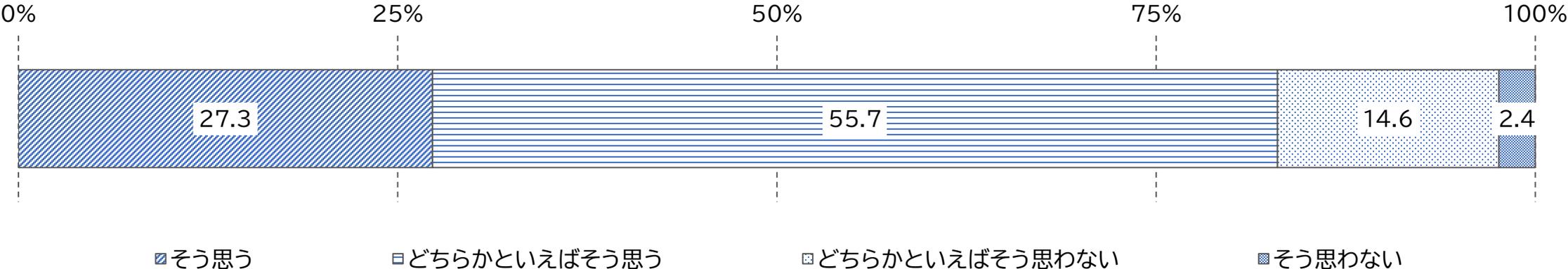
# Q21.産学連携が目指す生徒像を再考するきっかけになった

Q21.産業界や地域社会との連携が、学校として目指す生徒像を再考するきっかけになった。(n=377)(単一選択式)



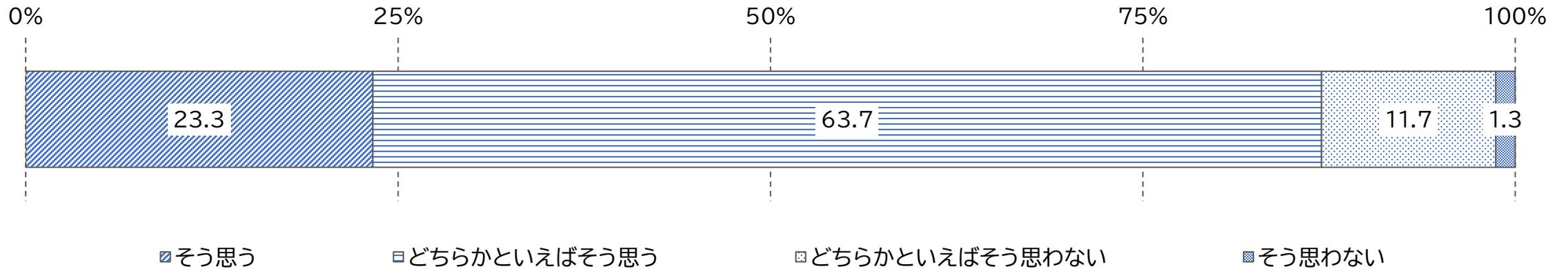
# Q22.産学連携により、自身の専門性や指導力が高まった

Q22.産業界や地域社会との連携により、自身の専門性や指導力が高まった。(n=377)(単一選択式)



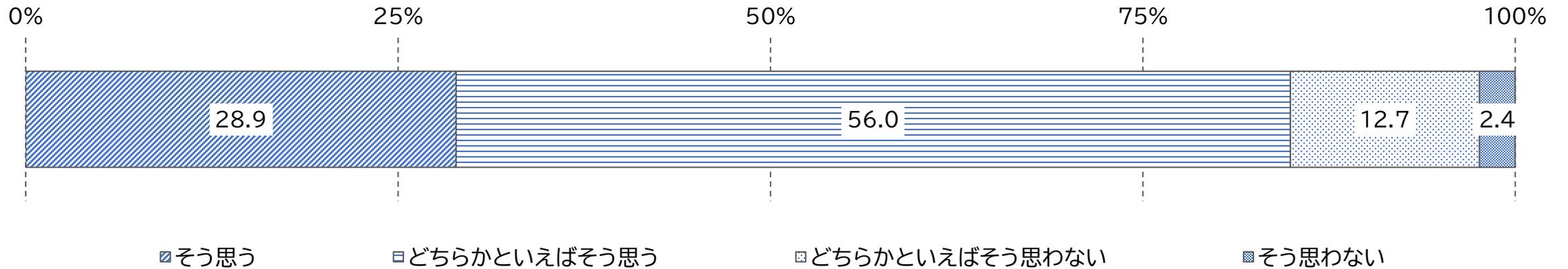
# Q23.産学連携で地域の産業や職業の進路指導上の理解が深まった

Q23.産業界や地域社会との連携により、地域を支える産業や職業について、進路指導を行うに十分な理解が深まった。(n=377)(単一選択式)



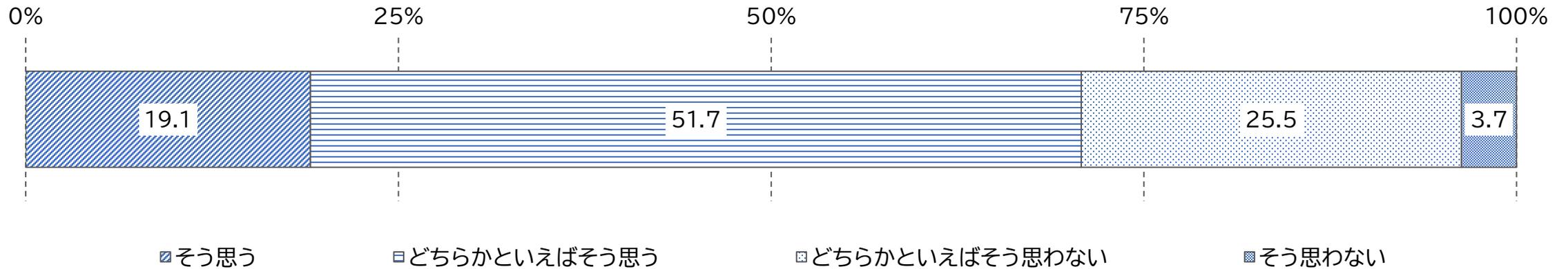
# Q24.産学連携で授業の指導方法やカリキュラム改善の必要性を感じた

Q24.産業界や地域社会との連携により、授業の指導方法やカリキュラムを改善する必要性を感じた。(n=377)(単一選択式)



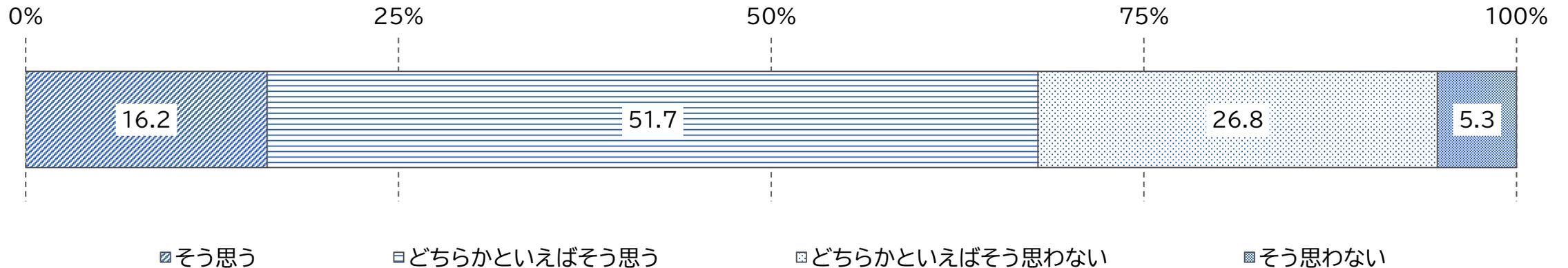
# Q25.生徒に必要な資質や能力を産業界等と対話するようになった

Q25.生徒に必要な資質や能力について、産業界や地域社会と対話しながら決定するようになった。(n=377)(単一選択式)



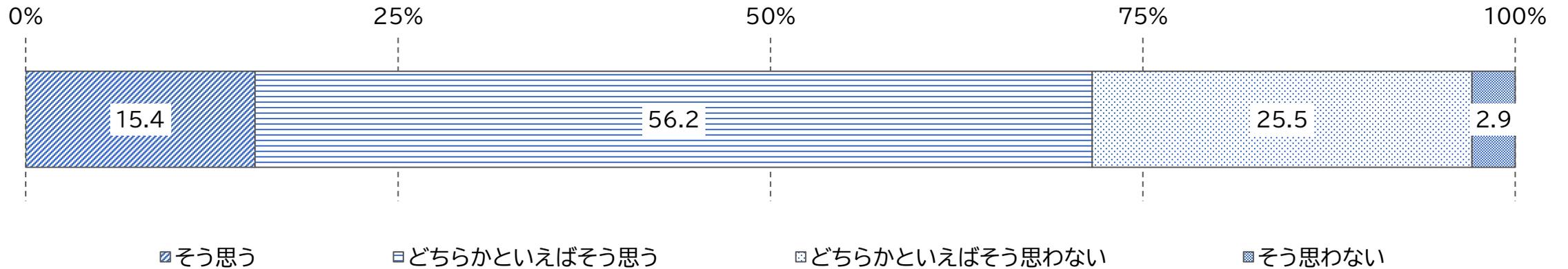
## Q26.産業界等と連携して、授業や単元の計画を検討するようになった

Q26.産業界や地域社会と連携して、授業や単元の計画を検討するようになった。(n=377)(単一選択式)



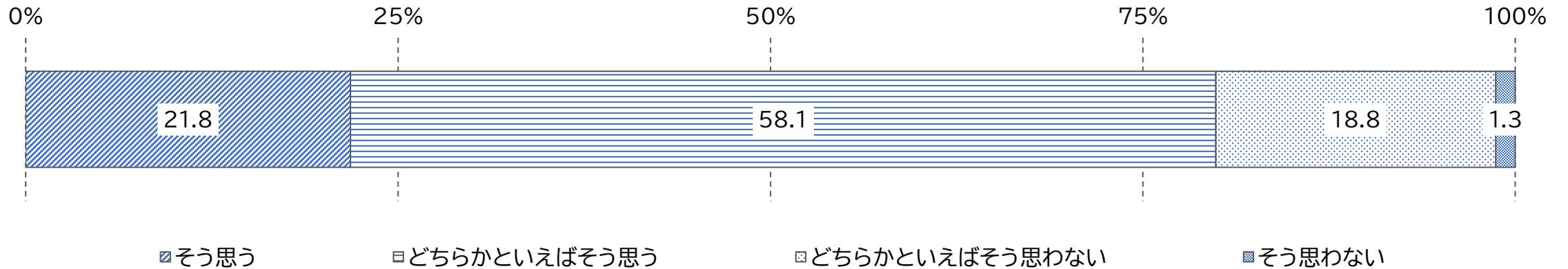
## Q27.産業界等と協働した学びの評価を共有し改善に取り組んだ

Q27.産業界や地域社会と協働して取り組んだ学びの評価を共有し、それを基に改善に取り組んだ。(n=377)(単一選択式)



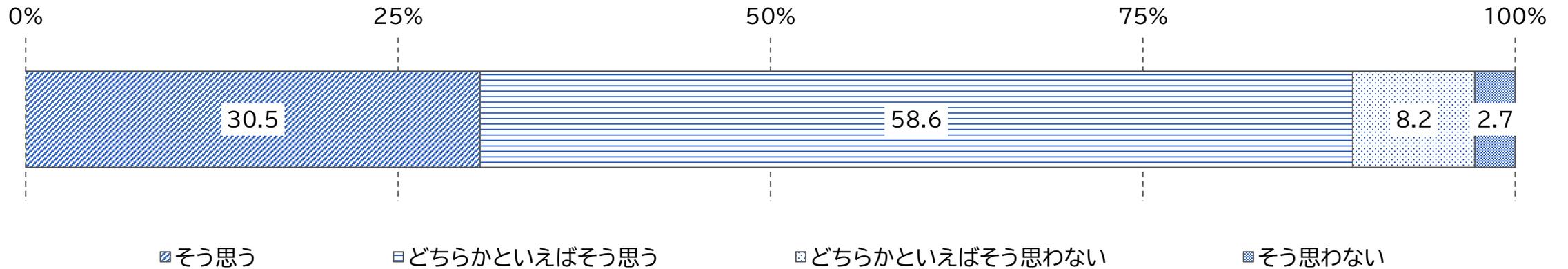
# Q28.産業界等との連携により創造的で効率的な教育活動が展開された

Q28.産業界や地域社会との連携により、創造的で効率的な教育活動が展開された。(n=377)(単一選択式)



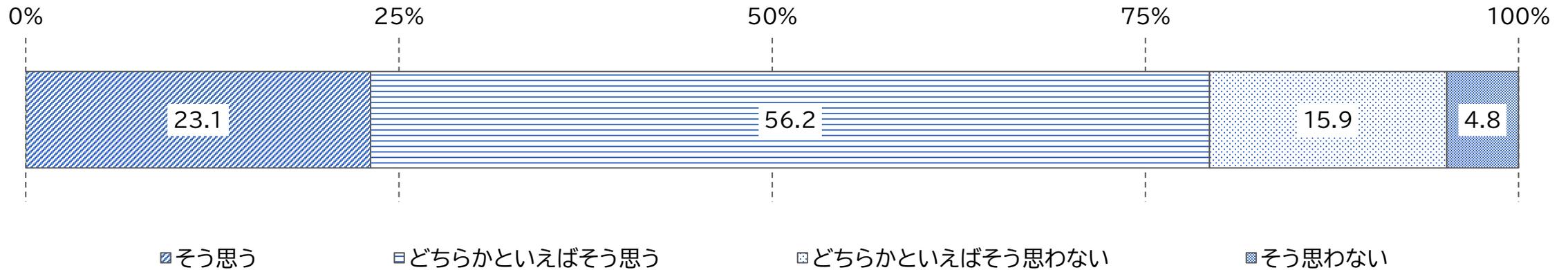
# Q29.産業界等との連携が学校の魅力向上や教育の活性化につながった

Q29.産業界や地域社会との連携が、学校の魅力向上や教育活動の活性化につながった。(n=377)(単一選択式)



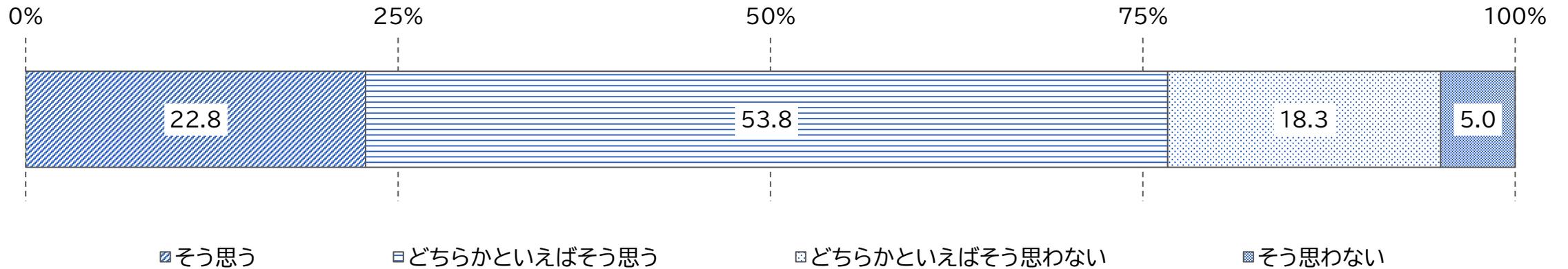
# Q30.学校内で組織化が図られたことで産学連携に前向きに取り組めた

Q30.学校内で組織化が図られたことにより、産業界や地域社会との連携に前向きに取り組めた。(n=377)(単一選択式)



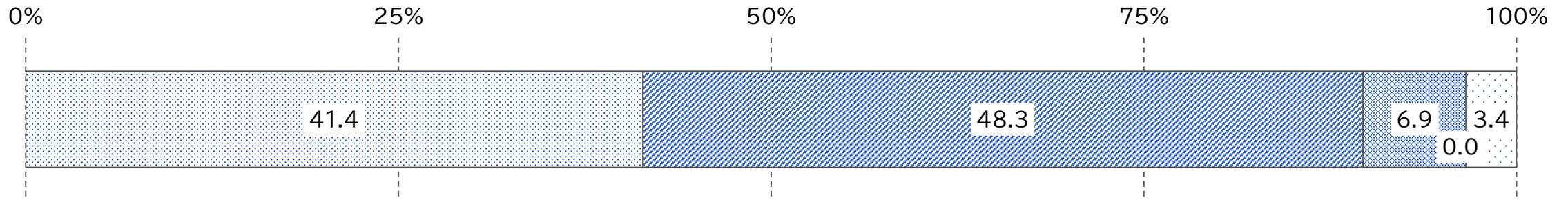
# Q31.相談できる専門家がいることで産学連携がしやすくなった

Q31.相談できる学校外の関係機関やコーディネーターがいることで、産業界や地域社会と連携しやすくなった。(n=377)(単一選択式)



## Q32.管理職として自由に活動できる環境を整えることを心がけた

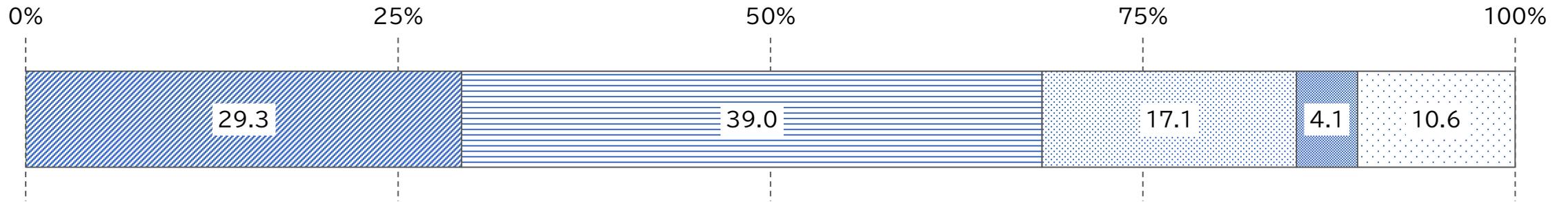
Q32.管理職として、産学連携において、担当者が産業界に自由に意見を述べたり、活動したりできる環境を整えることを心がけた。(n=29)(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 管理職としてマイスターハイスクール事業に関わっていない

# Q33.事業担当者として自由に活動できた

Q33.事業担当者として、産学連携において、産業界側の担当者に対して自由に意見を述べたり、活動したりできた。(n=123)(単一選択式)



■ そう思う ▣ どちらかといえばそう思う ▤ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 事業担当者としてマイスターハイスクール事業に関わっていない

# 相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		教員用アンケート																													
		q4	q5	q6	q7	q8	q9	q10	q11	q12	q13	q14	q15	q16	q17	q18	q19	q21	q22	q23	q24	q25	q26	q27	q28	q29	q30	q31	q32	q33	
教員用アンケート	産学連携の必要性の理解	q4	1.00	0.73	0.28	0.36	0.31	0.43	0.31	0.33	0.36	0.45	0.35	0.19	0.26	0.36	0.63	0.45	0.51	0.46	0.51	0.47	0.42	0.37	0.36	0.45	0.55	0.44	0.34	0.56	0.53
	学校目標との整合性	q5	0.73	1.00	0.33	0.40	0.38	0.42	0.31	0.31	0.41	0.49	0.31	0.26	0.33	0.38	0.41	0.39	0.62	0.45	0.55	0.38	0.40	0.33	0.34	0.47	0.64	0.47	0.38	0.39	0.51
	生徒の資質能力の向上	q6	0.28	0.33	1.00	0.70	0.71	0.63	0.65	0.51	0.65	0.47	0.49	0.32	0.45	0.47	0.29	0.40	0.39	0.34	0.44	0.22	0.43	0.41	0.45	0.46	0.45	0.45	0.35	0.33	0.09
		q7	0.36	0.40	0.70	1.00	0.65	0.58	0.59	0.52	0.62	0.58	0.51	0.34	0.46	0.49	0.27	0.41	0.50	0.41	0.48	0.27	0.36	0.31	0.43	0.49	0.51	0.49	0.36	0.40	0.21
		q8	0.31	0.38	0.71	0.65	1.00	0.56	0.66	0.55	0.62	0.46	0.56	0.31	0.46	0.55	0.28	0.33	0.44	0.35	0.41	0.29	0.46	0.42	0.52	0.51	0.51	0.49	0.35	0.49	0.24
		q9	0.43	0.42	0.63	0.58	0.56	1.00	0.66	0.61	0.67	0.55	0.41	0.27	0.37	0.45	0.30	0.43	0.43	0.39	0.45	0.33	0.37	0.33	0.38	0.52	0.54	0.46	0.33	0.28	0.32
		q10	0.31	0.31	0.65	0.59	0.66	0.66	1.00	0.71	0.69	0.55	0.58	0.35	0.51	0.52	0.31	0.44	0.44	0.40	0.49	0.28	0.43	0.41	0.50	0.52	0.52	0.54	0.36	0.16	0.12
		q11	0.33	0.31	0.51	0.52	0.55	0.61	0.71	1.00	0.69	0.61	0.54	0.35	0.47	0.45	0.23	0.38	0.45	0.44	0.46	0.26	0.44	0.33	0.42	0.50	0.52	0.45	0.32	0.25	0.00
		q12	0.36	0.41	0.65	0.62	0.62	0.67	0.69	0.69	1.00	0.64	0.51	0.37	0.48	0.51	0.30	0.45	0.52	0.50	0.54	0.35	0.49	0.38	0.52	0.56	0.60	0.47	0.38	0.40	0.17
		q13	0.45	0.49	0.47	0.58	0.46	0.55	0.55	0.61	0.64	1.00	0.60	0.37	0.50	0.47	0.36	0.40	0.53	0.52	0.59	0.40	0.52	0.34	0.47	0.54	0.59	0.52	0.41	0.47	0.25
		q14	0.35	0.31	0.49	0.51	0.56	0.41	0.58	0.54	0.51	0.60	1.00	0.40	0.52	0.53	0.37	0.41	0.41	0.42	0.47	0.23	0.45	0.38	0.50	0.51	0.46	0.49	0.39	0.45	0.16
		q15	0.19	0.26	0.32	0.34	0.31	0.27	0.35	0.35	0.37	0.37	0.40	1.00	0.63	0.40	0.20	0.23	0.44	0.41	0.42	0.25	0.35	0.23	0.30	0.33	0.40	0.39	0.36	0.28	-
	q16	0.26	0.33	0.45	0.46	0.46	0.37	0.51	0.47	0.48	0.50	0.52	0.63	1.00	0.56	0.26	0.35	0.49	0.41	0.47	0.24	0.44	0.32	0.39	0.42	0.43	0.50	0.34	0.08	0.07	
	q17	0.36	0.38	0.47	0.49	0.55	0.45	0.52	0.45	0.51	0.47	0.53	0.40	0.56	1.00	0.34	0.38	0.52	0.44	0.46	0.34	0.40	0.36	0.45	0.55	0.54	0.50	0.33	0.44	0.00	
	地域産業・企業への理解	q18	0.63	0.41	0.29	0.27	0.28	0.30	0.31	0.23	0.30	0.36	0.37	0.20	0.26	0.34	1.00	0.61	0.40	0.50	0.55	0.45	0.43	0.44	0.46	0.44	0.53	0.46	0.33	0.41	0.41
	生徒の関心に合った学習機会の提供	q19	0.45	0.39	0.40	0.41	0.33	0.43	0.44	0.38	0.45	0.40	0.41	0.23	0.35	0.38	0.61	1.00	0.47	0.52	0.56	0.37	0.47	0.46	0.53	0.52	0.57	0.45	0.38	0.32	0.33
	教員の指導力向上	q21	0.51	0.62	0.39	0.50	0.44	0.43	0.44	0.45	0.52	0.53	0.41	0.44	0.49	0.52	0.40	0.47	1.00	0.62	0.65	0.58	0.64	0.58	0.58	0.64	0.75	0.70	0.62	0.62	0.37
		q22	0.46	0.45	0.34	0.41	0.35	0.39	0.40	0.44	0.50	0.52	0.42	0.41	0.41	0.44	0.50	0.52	0.62	1.00	0.72	0.63	0.70	0.62	0.64	0.62	0.64	0.63	0.49	0.37	0.50
		q23	0.51	0.55	0.44	0.48	0.41	0.45	0.49	0.46	0.54	0.59	0.47	0.42	0.47	0.46	0.55	0.56	0.65	0.72	1.00	0.65	0.70	0.64	0.65	0.63	0.69	0.65	0.60	0.46	0.45
		q24	0.47	0.38	0.22	0.27	0.29	0.33	0.28	0.26	0.35	0.40	0.23	0.25	0.24	0.34	0.45	0.37	0.58	0.63	0.65	1.00	0.67	0.67	0.59	0.54	0.56	0.56	0.52	0.65	0.46
q25		0.42	0.40	0.43	0.36	0.46	0.37	0.43	0.44	0.49	0.52	0.45	0.35	0.44	0.40	0.43	0.47	0.64	0.70	0.70	0.67	1.00	0.76	0.71	0.63	0.60	0.68	0.61	0.57	0.49	
q26		0.37	0.33	0.41	0.31	0.42	0.33	0.41	0.33	0.38	0.34	0.38	0.23	0.32	0.36	0.44	0.46	0.58	0.62	0.64	0.67	0.76	1.00	0.76	0.66	0.59	0.63	0.62	0.53	0.51	
q27		0.36	0.34	0.45	0.43	0.52	0.38	0.50	0.42	0.52	0.47	0.50	0.30	0.39	0.45	0.46	0.53	0.58	0.64	0.65	0.59	0.71	0.76	1.00	0.72	0.67	0.71	0.59	0.39	0.51	
q28		0.45	0.47	0.46	0.49	0.51	0.52	0.52	0.50	0.56	0.54	0.51	0.33	0.42	0.55	0.44	0.52	0.64	0.62	0.63	0.54	0.63	0.66	0.72	1.00	0.80	0.68	0.55	0.52	0.49	
q29		0.55	0.64	0.45	0.51	0.51	0.54	0.52	0.52	0.60	0.59	0.46	0.40	0.43	0.54	0.53	0.57	0.75	0.64	0.69	0.56	0.60	0.59	0.67	0.80	1.00	0.74	0.62	0.65	0.46	
校内体制の改善		q30	0.44	0.47	0.45	0.49	0.49	0.46	0.54	0.45	0.47	0.52	0.49	0.39	0.50	0.50	0.46	0.45	0.70	0.63	0.65	0.56	0.68	0.63	0.71	0.68	0.74	1.00	0.73	0.57	0.45
	q31	0.34	0.38	0.35	0.36	0.35	0.33	0.36	0.32	0.38	0.41	0.39	0.36	0.34	0.33	0.33	0.38	0.62	0.49	0.60	0.52	0.61	0.62	0.59	0.55	0.62	0.73	1.00	0.55	0.47	
教員の心理的安全性の確保	q32	0.56	0.39	0.33	0.40	0.49	0.28	0.16	0.25	0.40	0.47	0.45	0.28	0.08	0.44	0.41	0.32	0.62	0.37	0.46	0.65	0.57	0.53	0.39	0.52	0.65	0.57	0.55	1.00	NA	
事業担当者による教員の心理的安全性の確保	q33	0.53	0.51	0.09	0.21	0.24	0.32	0.12	0.00	0.17	0.25	0.16	0.01	0.07	0.00	0.41	0.33	0.37	0.50	0.45	0.46	0.49	0.51	0.51	0.49	0.46	0.45	0.47	NA	1.00	

※いずれもポリコリック相関係数として算出。

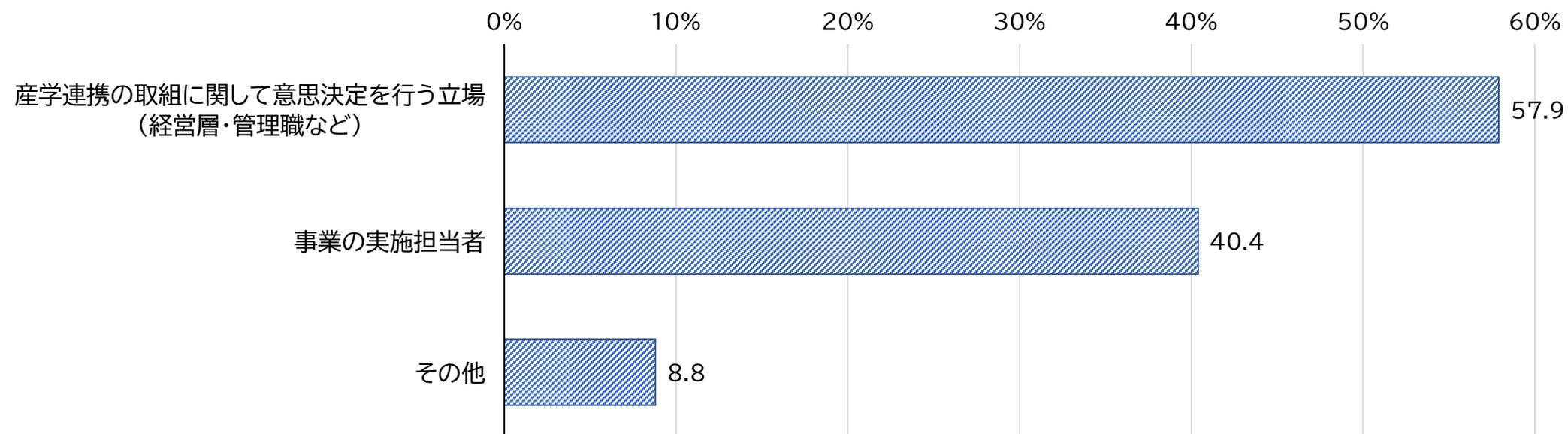
※黄色:成果に相当する項目

## 5.産業界用アンケート

---

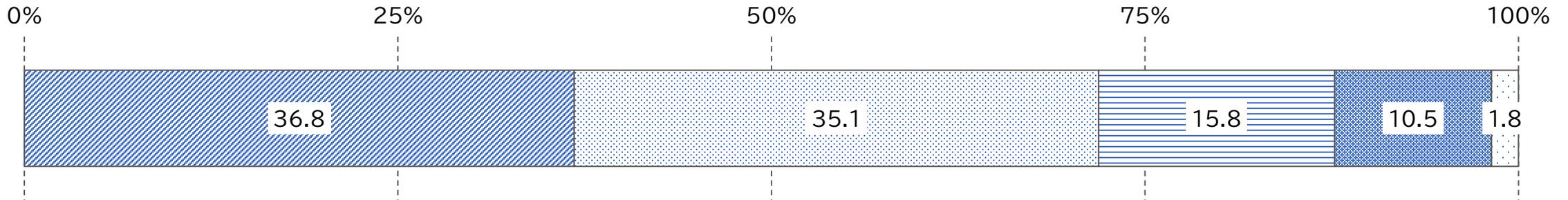
## Q2.回答者の職務

Q2.このアンケートに回答している方の職務を教えてください。当てはまるものを選択してください。(n=57)(複数選択式)



## Q4.産学連携に関わり始めた時期

Q4.貴団体では、いつから産学連携の取組を実施していますか？(n=57)(単一選択式)



■ 2022年度以降に実施(1~2年前から)

■ 2018年度~2021年度に実施(3~5年前から)

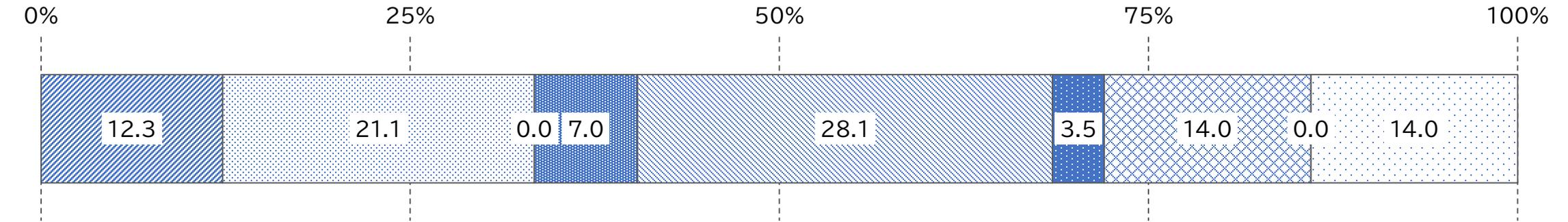
■ 2017年度以前に実施(6年以上前から継続して実施)

■ いつからか不明

□ その他

# Q5.産学連携に取り組む最も大きな理由

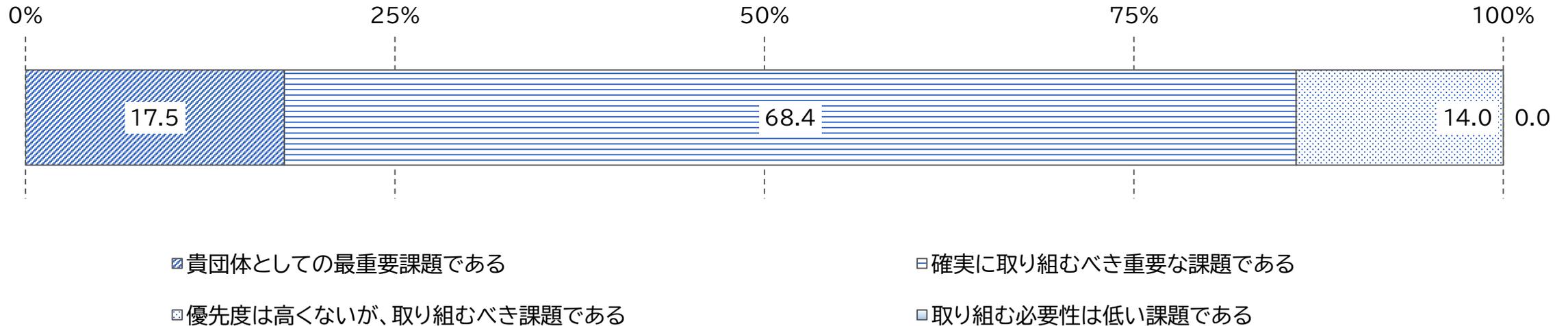
Q5.貴団体が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。(n=57)(単一選択式)



- 新規採用人材を確保するため
- 社員のスキルアップや研修の一環として
- 社会的貢献やCSR(企業の社会的責任)活動として
- 学校からの依頼に応じたため
- その他
- 生徒に、産業界等のニーズに即したスキルや知識を獲得してもらうため
- 貴団体の地域における認知度を向上させるため
- 学校との共同プロジェクト等を通じて、新しい技術や製品、サービスの開発を促進するため
- まだ具体的な目的は明確にできていない

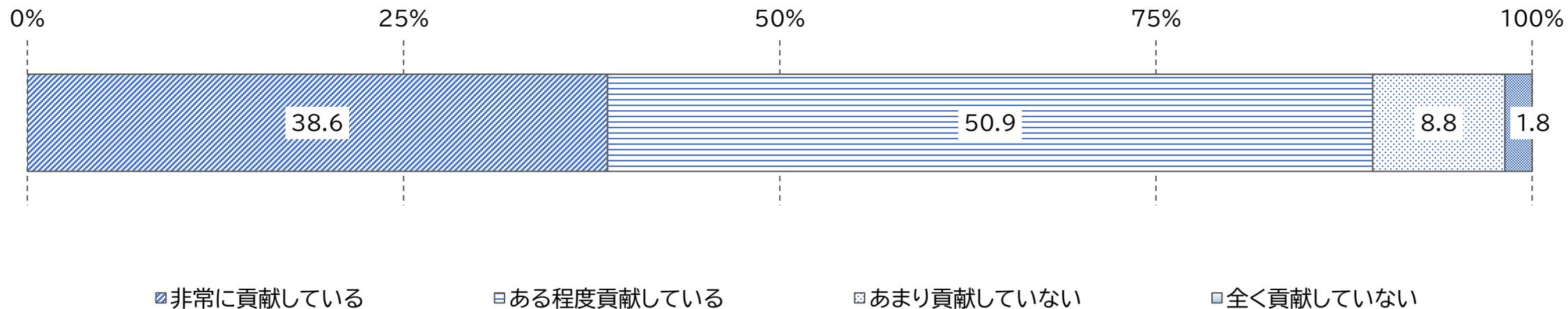
## Q6.産学連携に取り組む最も大きな理由の重要度

Q6.前の質問で挙げた目的について、どのくらい重要だと考えていますか。(n=57)(単一選択式)



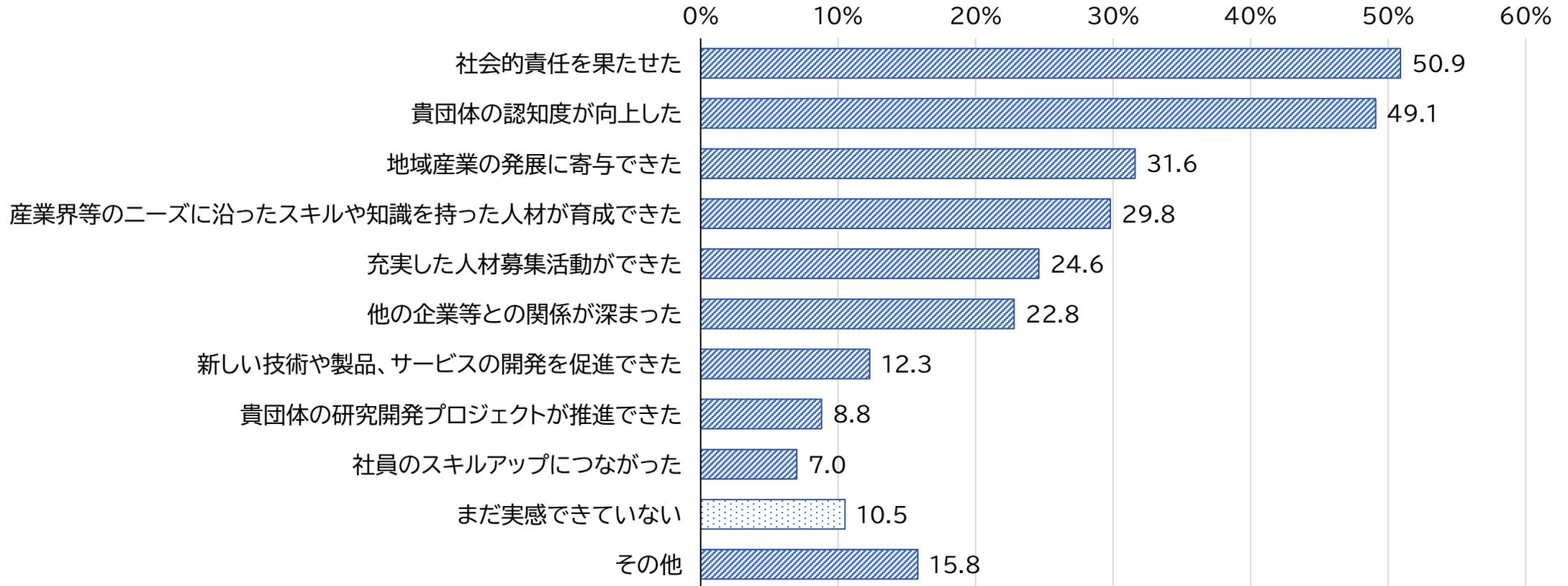
# Q7.産学連携の団体の目標やビジョンへの貢献度

Q7.産学連携の活動が、貴団体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？(n=57)(単一選択式)



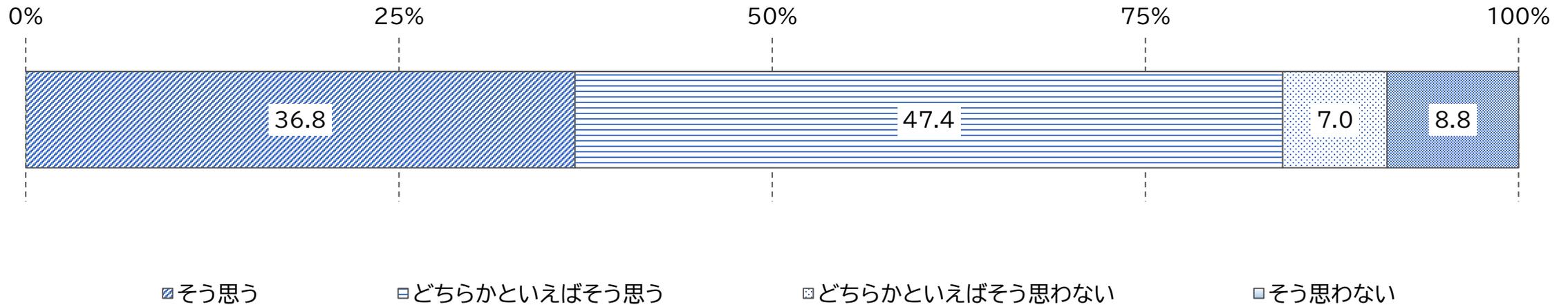
# Q8.産学連携について実感しているメリット

Q8.産学連携の取組を通じて、貴団体として実感しているメリットを教えてください。(n=57)(複数選択式)



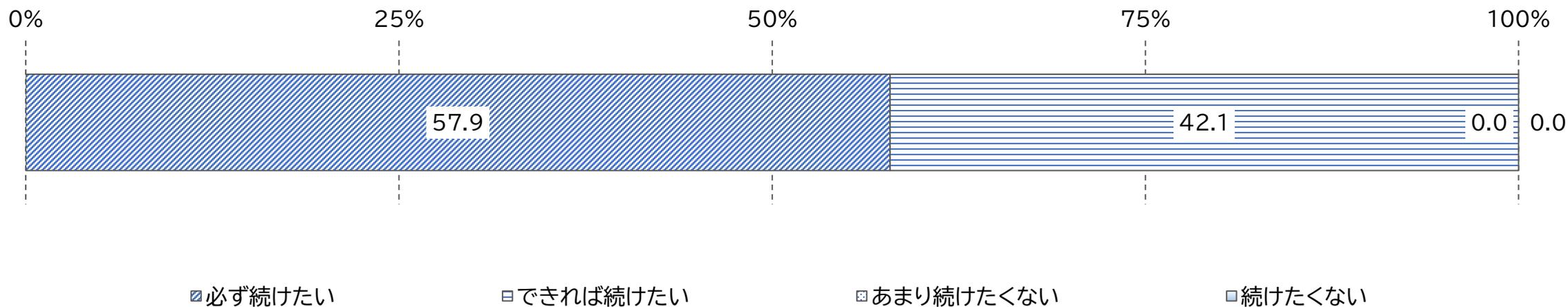
# Q9. 産学連携に取り組むことで採用活動がやりやすくなったか

Q9. 学校が産学連携に取り組むようになったことで、学校に対する採用活動がやりやすくなったと思いますか。(n=57)(単一選択式)



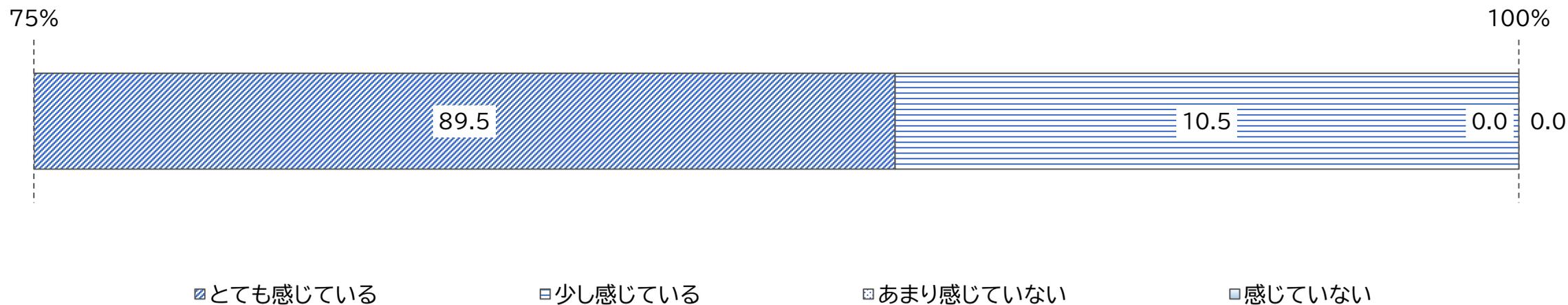
# Q10.産学連携の取組の継続意向

Q.10今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。(n=57)(単一選択式)



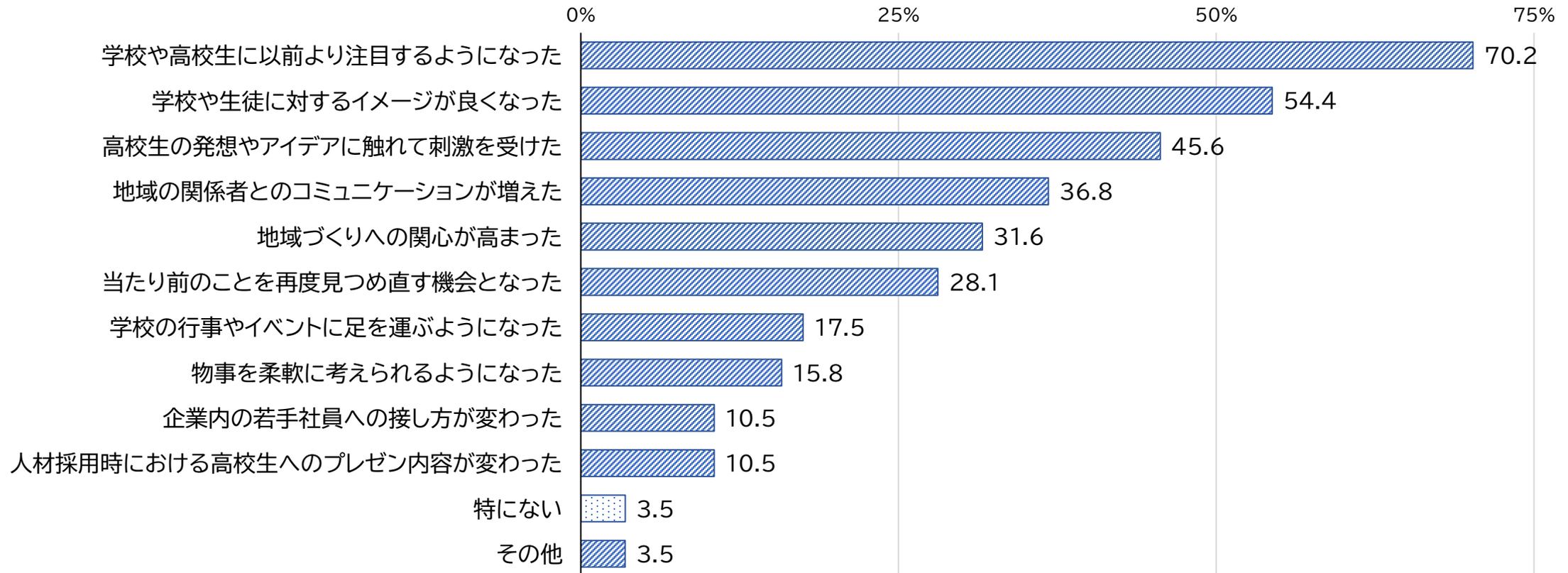
# Q11. 産学連携の意義や必要性

Q.11.あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。(n=57)(単一選択式)



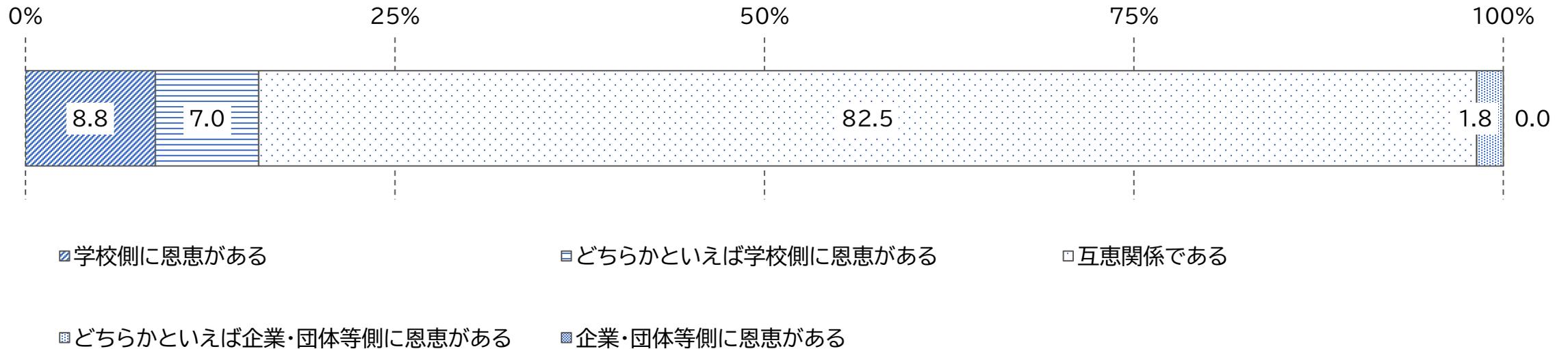
## Q12.学校教育に関わることによる担当者の意識や行動の変化

Q12.学校教育に関わったことによって、担当者の意識や行動になにか変化はありましたか。(n=57)(複数選択式)



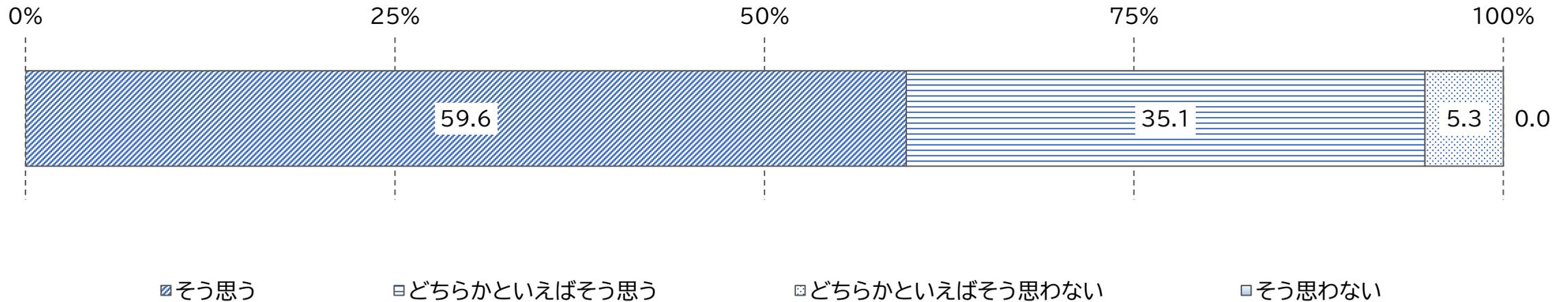
# Q13. 互恵関係の達成度

Q13.貴団体は、連携している学校と、互いに利益を得られる関係(互恵関係)にあると思いますか？ (n=57)(単一選択式)



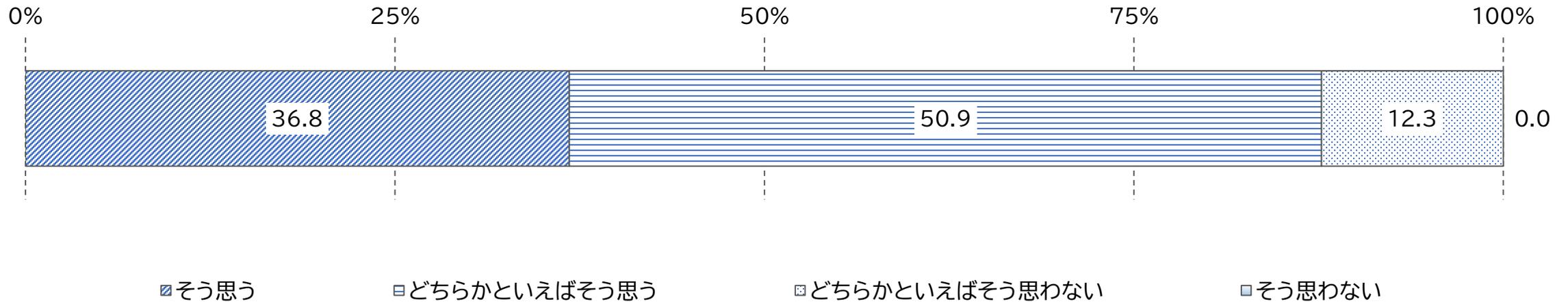
# Q14.連携している学校の産学連携の目的を十分に理解している

Q14.連携している学校の産学連携の目的を十分に理解している (n=57)(単一選択式)



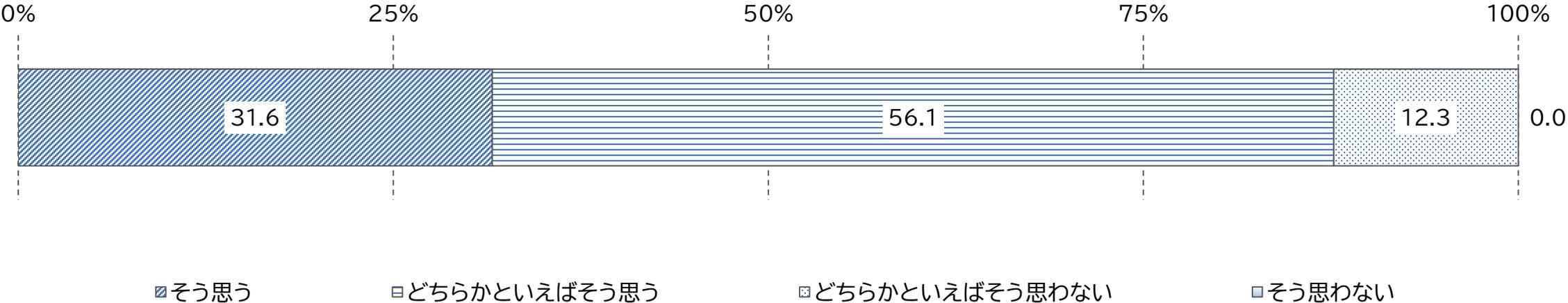
# Q15.学校と連携してどのような取組ができるか十分把握できている

Q15.学校と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている(n=57)(単一選択式)



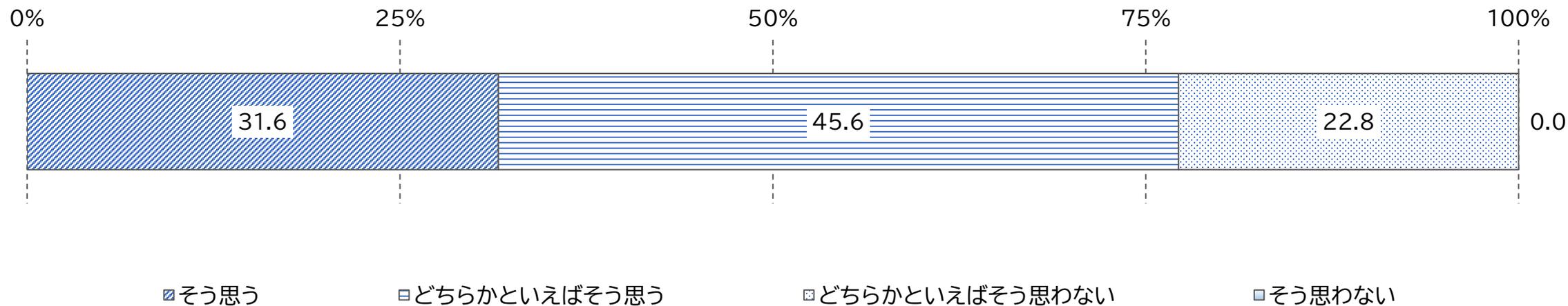
# Q16.産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている

Q16.貴団体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている (n=57)(単一選択式)



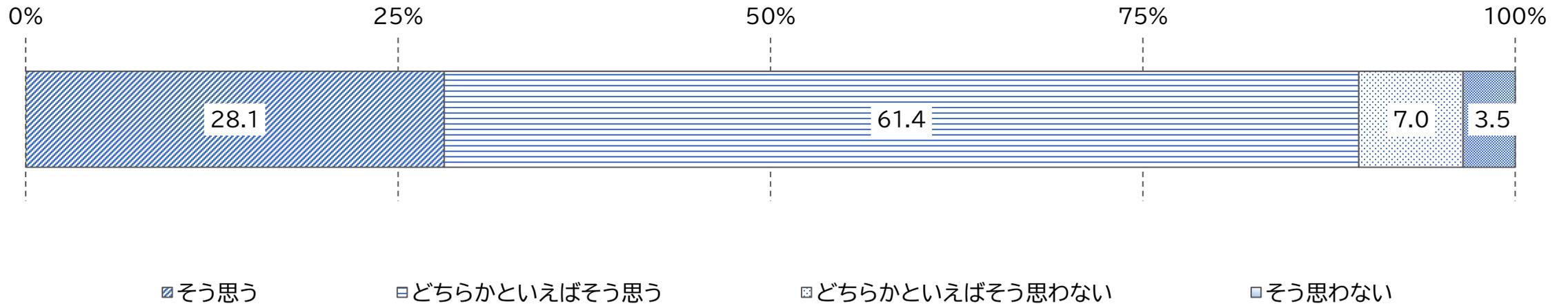
# Q17.産学連携の取組内容を学校に対して積極的に提案している

Q17.産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。(n=57)(単一選択式)



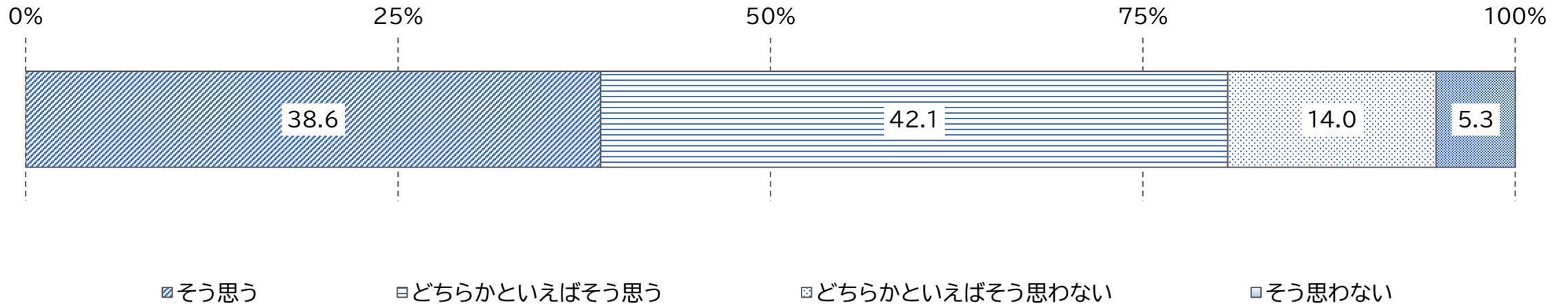
# Q18.取組は、学校と企業・団体の課題を踏まえた内容になっている

Q18.現在の取組は、学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた内容になっている。(n=57)(単一選択式)



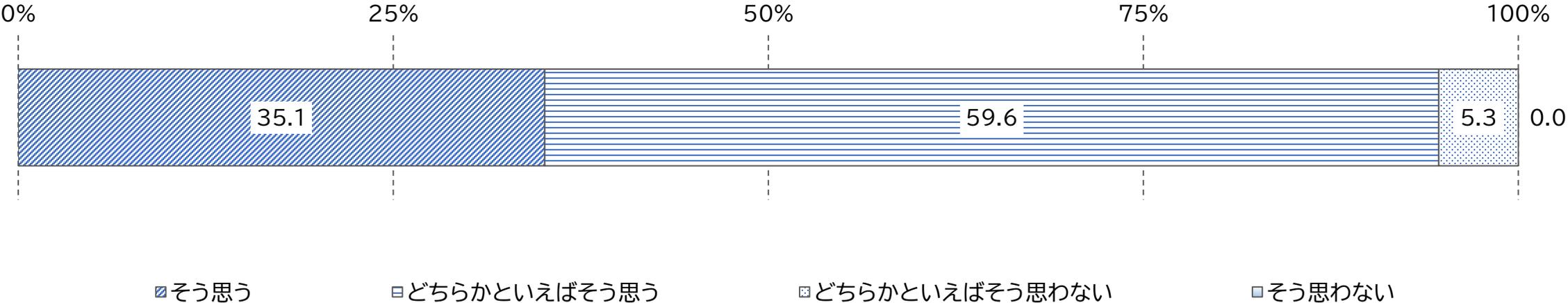
# Q19.学校・企業・団体の共通のビジョンを協議する場があった

Q19.学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。(n=57)(単一選択式)



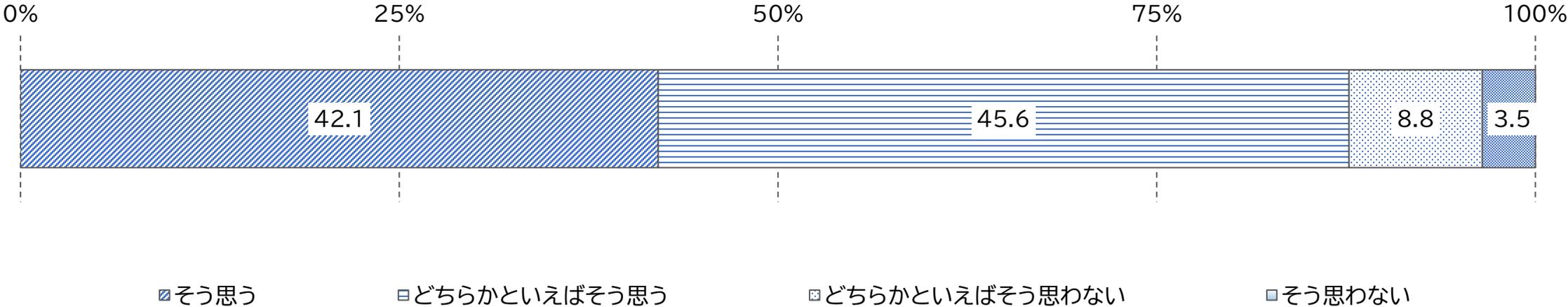
# Q20.産学連携の中で団体が担う役割は適切である

Q20.産学連携の取組を進める中で、貴団体が担う役割は適切だと思う。(n=57)(単一選択式)



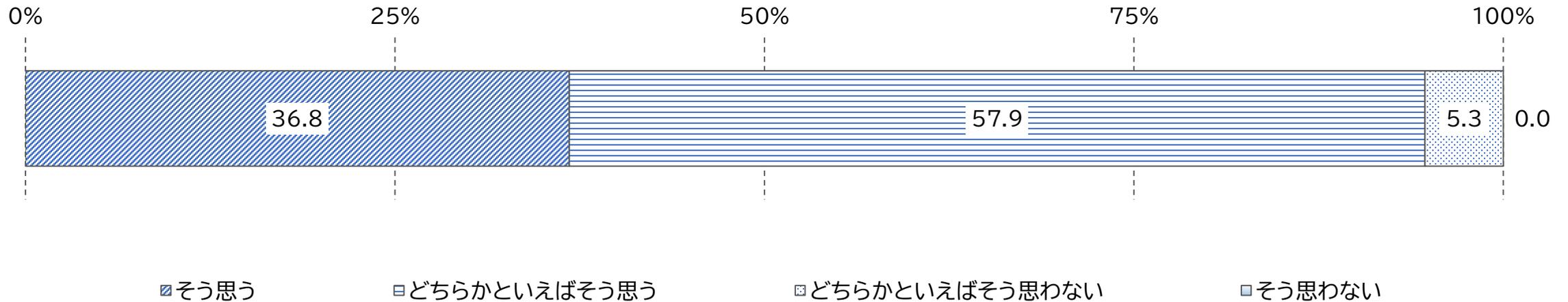
# Q21.団体の担当者が変更になっても産学連携を継続できる

Q21.貴団体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(n=57)(単一選択式)



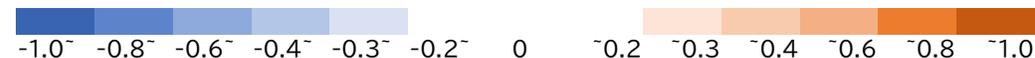
## Q22.学校側の担当者が変更になっても産学連携を継続できる

Q22.学校側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(n=57)(単一選択式)



# 相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		産業界用アンケート																
		q4	q6	q7	q9	q10	q11	q13	q14	q15	q16	q17	q18	q19	q20	q21	q22	
産業界用アンケート	産学連携歴	q4	1.00	0.49	0.33	0.22	0.41	0.34	0.22	0.35	0.13	0.29	0.18	0.30	0.07	0.33	0.20	0.24
	産学連携目的の重要性	q6	0.49	1.00	0.46	0.11	0.56	0.46	0.19	0.38	0.38	0.38	0.37	0.23	0.37	0.34	0.37	0.49
	産学連携による企業・団体目標やビジョンへの貢献度	q7	0.33	0.46	1.00	0.37	0.66	0.63	0.36	0.46	0.58	0.31	0.36	0.39	0.46	0.42	0.37	0.29
	採用活動のしやすさ	q9	0.22	0.11	0.37	1.00	0.44	0.51	0.55	0.33	0.31	0.37	0.19	0.48	0.36	0.45	0.19	0.17
	産学連携の継続意欲	q10	0.41	0.56	0.66	0.44	1.00	0.59	0.09	0.60	0.73	0.64	0.57	0.46	0.38	0.50	0.27	0.27
	産学連携意義・必要性の認識	q11	0.34	0.46	0.63	0.51	0.59	1.00	0.50	0.65	0.64	0.62	0.51	0.50	0.50	0.58	0.38	0.32
	互惠関係の成立	q13	0.22	0.19	0.36	0.55	0.09	0.50	1.00	0.21	0.05	0.21	0.21	0.54	0.53	0.38	0.32	0.15
	産業界による、学校側の産学連携目的の理解	q14	0.35	0.38	0.46	0.33	0.60	0.65	0.21	1.00	0.64	0.58	0.54	0.48	0.45	0.66	0.47	0.51
	連携で実現する取組の把握	q15	0.13	0.38	0.58	0.31	0.73	0.64	0.05	0.64	1.00	0.66	0.65	0.47	0.44	0.59	0.24	0.38
	学校による、産業界の産学連携目的の理解度	q16	0.29	0.38	0.31	0.37	0.64	0.62	0.21	0.58	0.66	1.00	0.60	0.59	0.53	0.69	0.37	0.48
	学校への積極提案	q17	0.18	0.37	0.36	0.19	0.57	0.51	0.21	0.54	0.65	0.60	1.00	0.38	0.50	0.51	0.12	0.31
	双方の課題を踏まえた取組の実現	q18	0.30	0.23	0.39	0.48	0.46	0.50	0.54	0.48	0.47	0.59	0.38	1.00	0.64	0.57	0.27	0.24
	双方の課題を踏まえたビジョン協議	q19	0.07	0.37	0.46	0.36	0.38	0.50	0.53	0.45	0.44	0.53	0.50	0.64	1.00	0.65	0.38	0.42
	適切な役割分担	q20	0.33	0.34	0.42	0.45	0.50	0.58	0.38	0.66	0.59	0.69	0.51	0.57	0.65	1.00	0.49	0.56
	継続性(企業・団体側)	q21	0.20	0.37	0.37	0.19	0.27	0.38	0.32	0.47	0.24	0.37	0.12	0.27	0.38	0.49	1.00	0.58
継続性(学校側)	q22	0.24	0.49	0.29	0.17	0.27	0.32	0.15	0.51	0.38	0.48	0.31	0.24	0.42	0.56	0.58	1.00	

※いずれもポリコリック相関係数として算出。

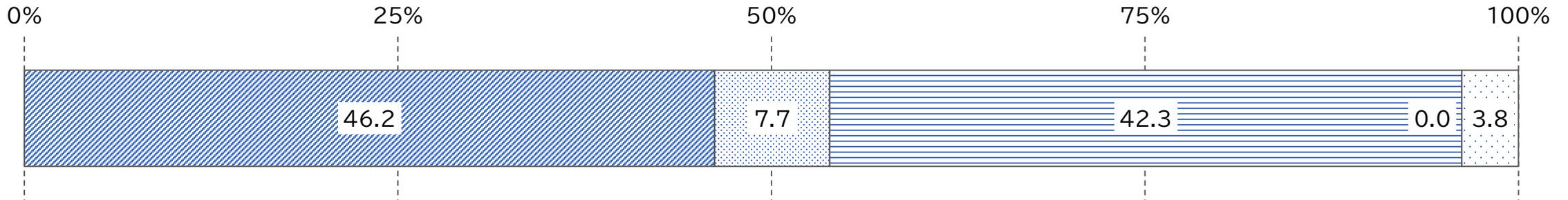
※黄色:成果に相当する項目

## 4.自治体用アンケート

---

## Q4.産学連携に関わり始めた時期

Q4.貴自治体は、対象の学校と企業などが連携して行う教育活動(産学連携)に、いつから関わっていますか。(n=26)(単一選択式)



▣ 2022年度以降に実施(1~2年前から)

▣ 2018年度~2021年度に実施(3~5年前から)

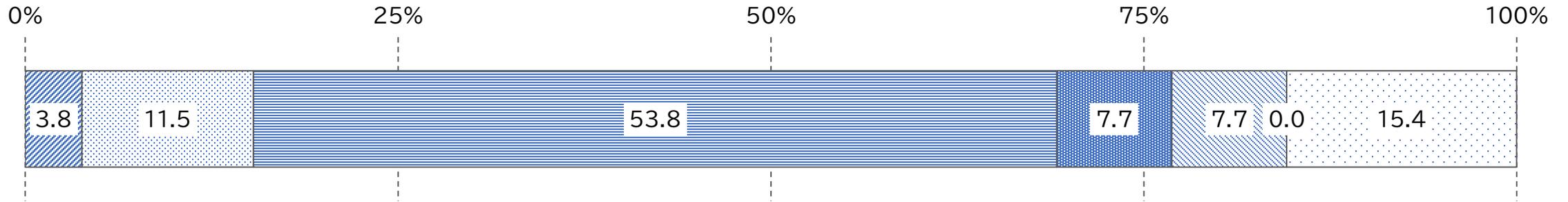
▣ 2017年度以前に実施(6年以上前から継続して実施)

▣ いつからか不明

▣ その他

# Q5.産学連携に取り組む最も大きな理由

Q5.貴自治体が産学連携に取り組む最も大きな理由を1つ選択してください。(n=26)(単一選択式)



□ 学校を存続させるため

■ 産業界が求める人材を育成するため

▣ 地域の社会問題(少子高齢化、人口減少など)の解決に寄与するため

□ その他

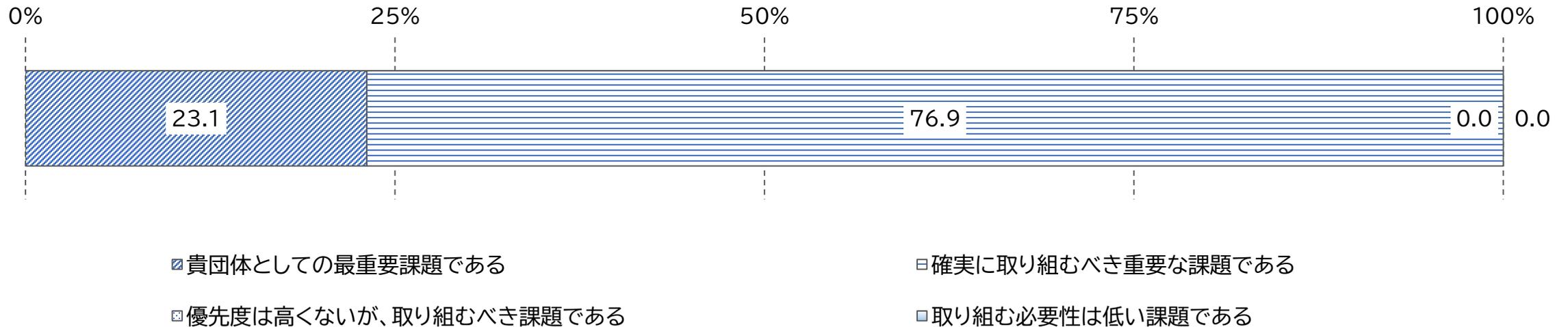
▣ 地域産業の活性化のため

■ 若者の地元定着を促進するため

■ 目的はまだ明確にできていない

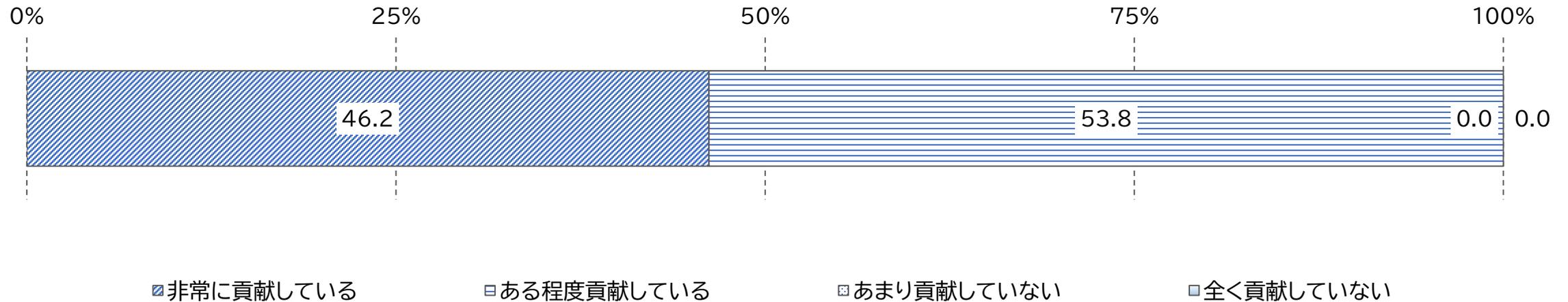
## Q6.産学連携に取り組む最も大きな理由の重要度

Q6.前の質問で挙げた目的について、どのくらい重要だと考えていますか。(n=26)(単一選択式)



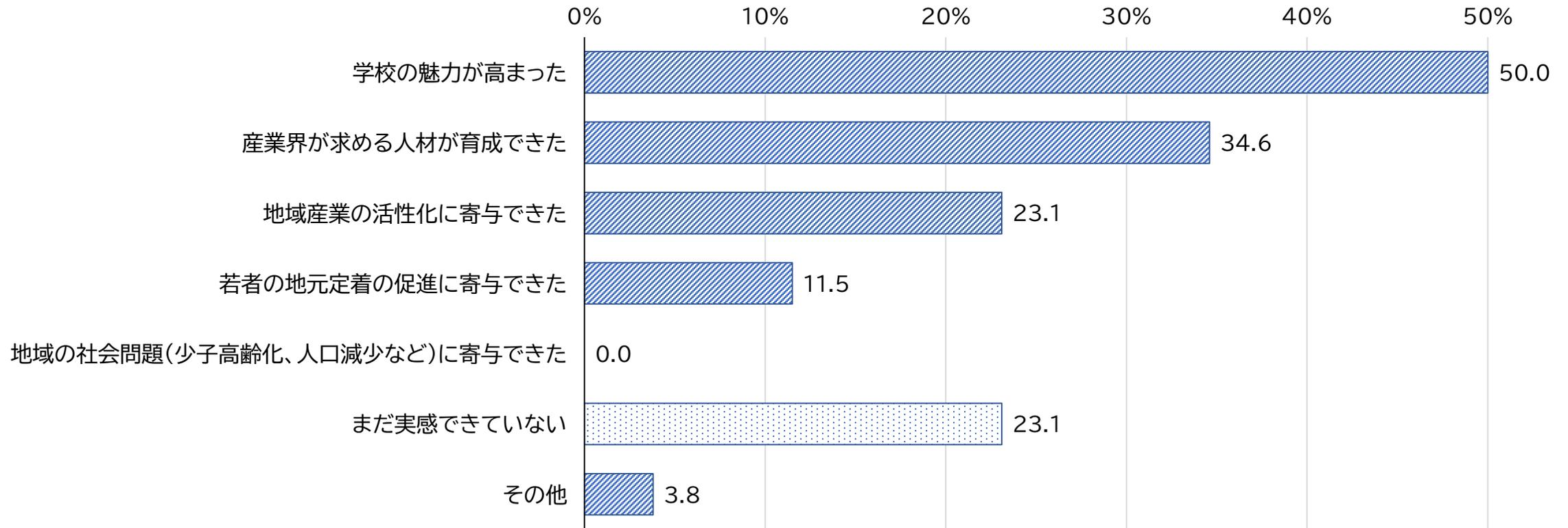
# Q7.産学連携の自治体の目標やビジョンへの貢献度

Q7.産学連携の活動が、貴自治体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？(n=26)(単一選択式)



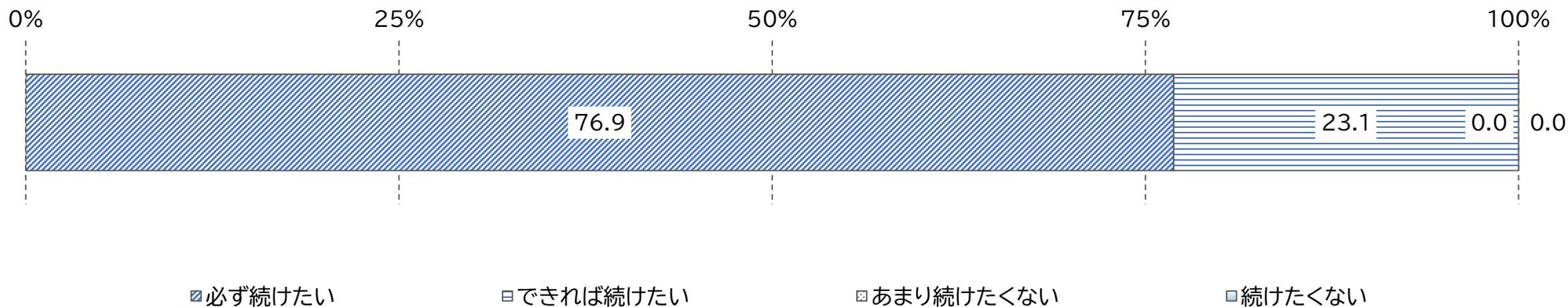
# Q8.産学連携について実感しているメリット

Q8.産学連携の取組を通じて、貴自治体として実感しているメリットを教えてください。(n=26)(複数選択式)



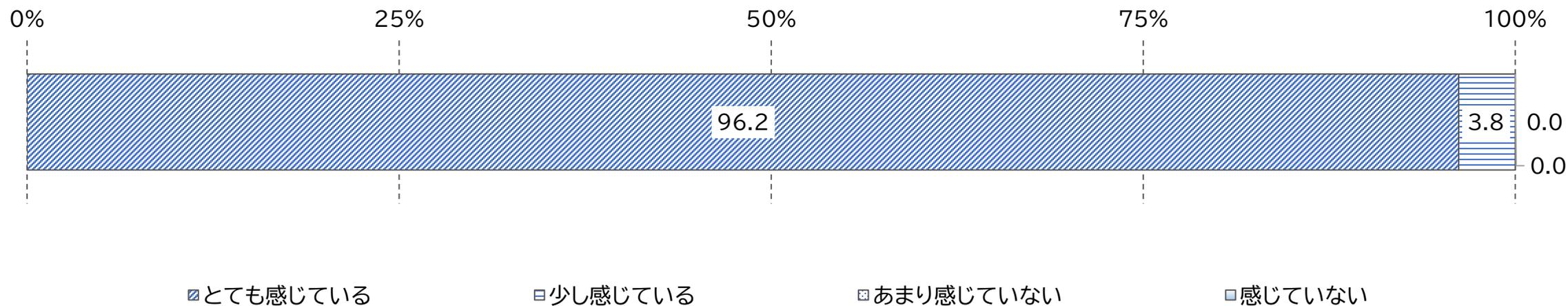
## Q9. 産学連携の取組の継続意向

Q9. 今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。(n=26)(単一選択式)



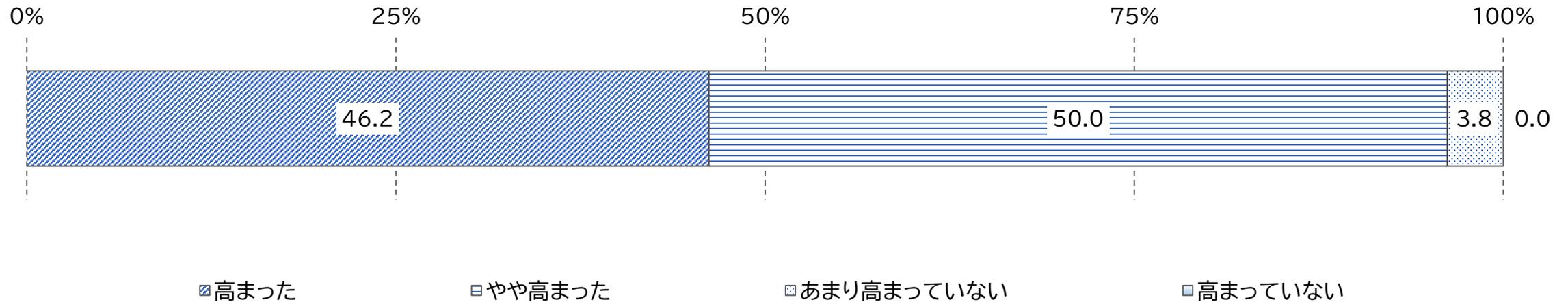
# Q10. 産学連携の意義や必要性

Q10.あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。(n=26)(単一選択式)



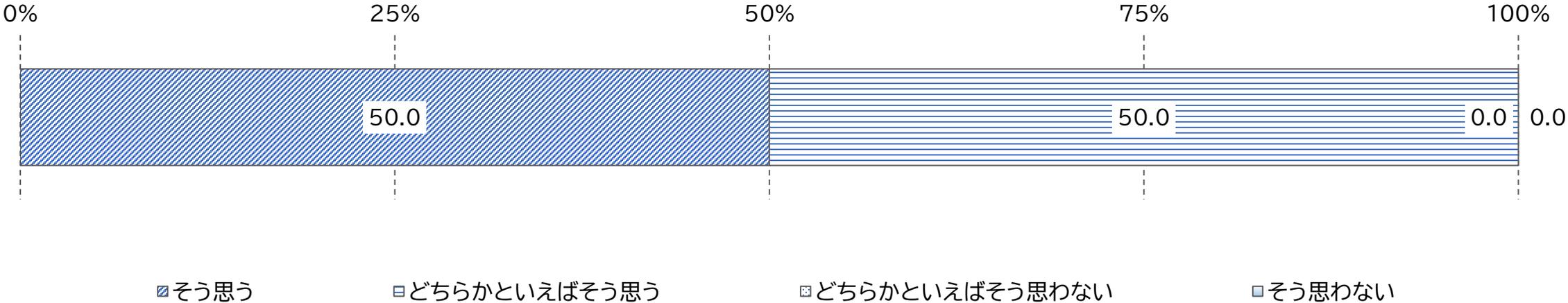
# Q11. 首長や議会等における産学連携への理解の高まり

Q11. 学校の産学連携を支援した結果、貴自治体の首長や議会等において、産学連携への理解は高まりましたか。(n=26)(単一選択式)



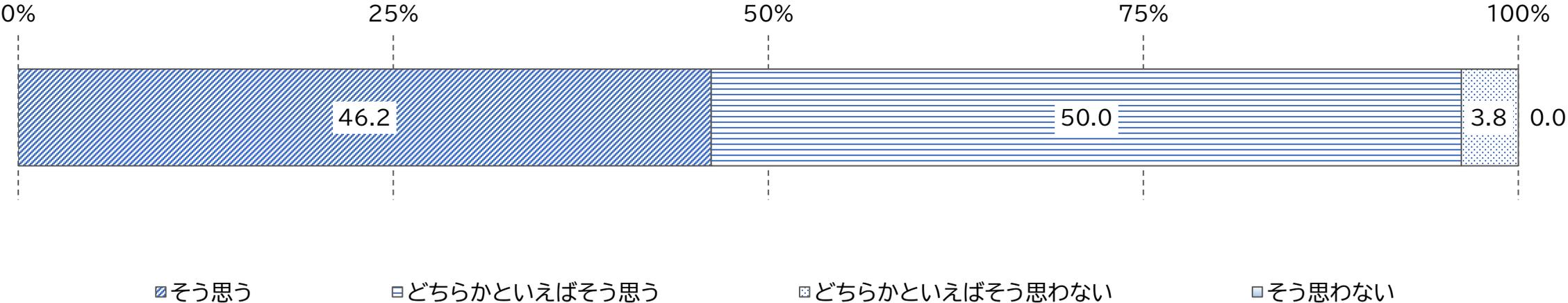
# Q12.産学連携の目的が学校に十分伝わっている

Q12.貴自治体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている(n=26)(単一選択式)



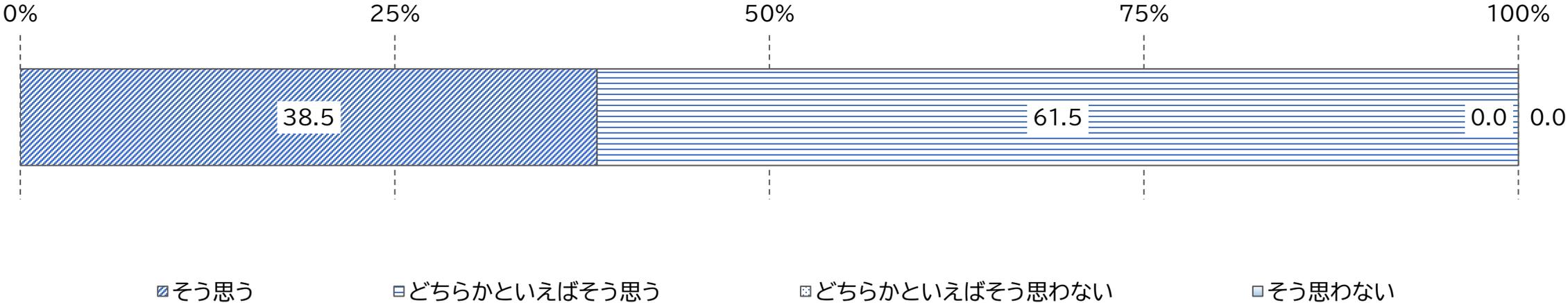
# Q13.学校としての産学連携の目的の理解

Q13.学校としての産学連携の目的を十分に理解している(n=26)(単一選択式)



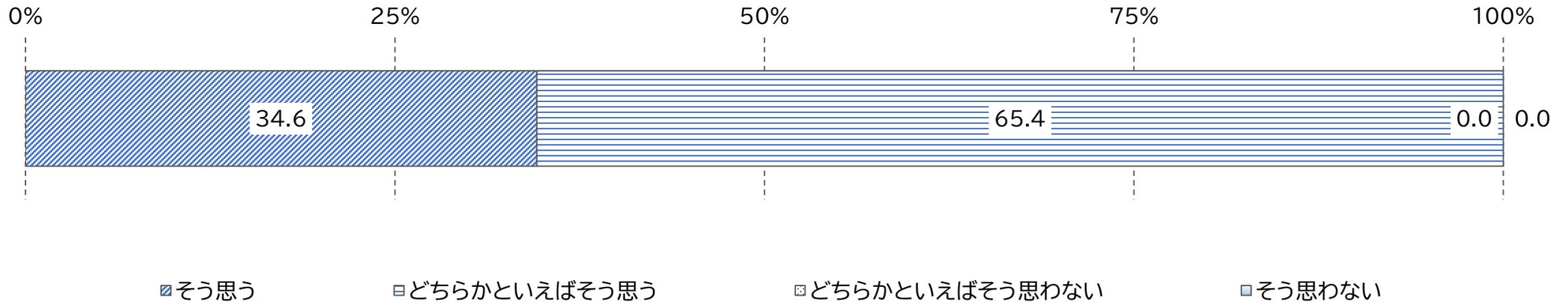
# Q14.産業界としての産学連携の目的の理解

Q14.産業界としての産学連携の目的を十分に理解している (n=26)(単一選択式)



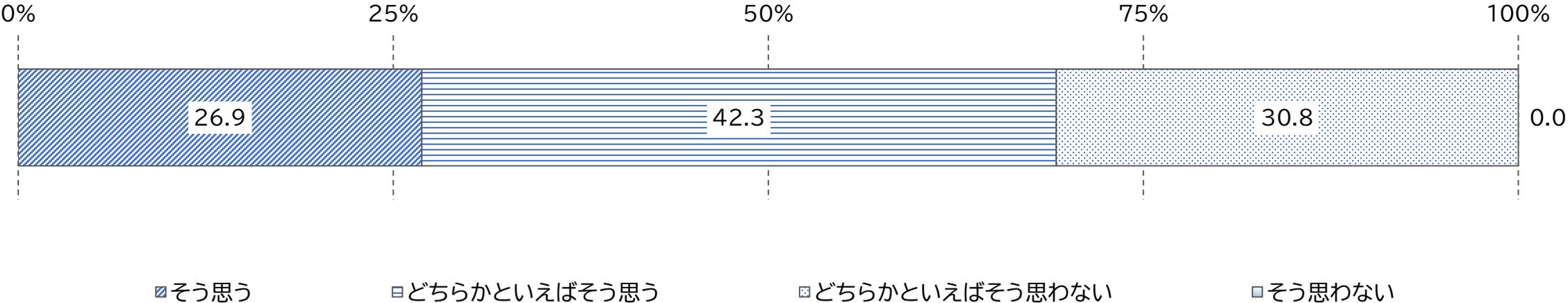
# Q15.産学連携でどのような取り組みができるかの理解

Q15.学校と産業界が連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている(n=26)(単一選択式)



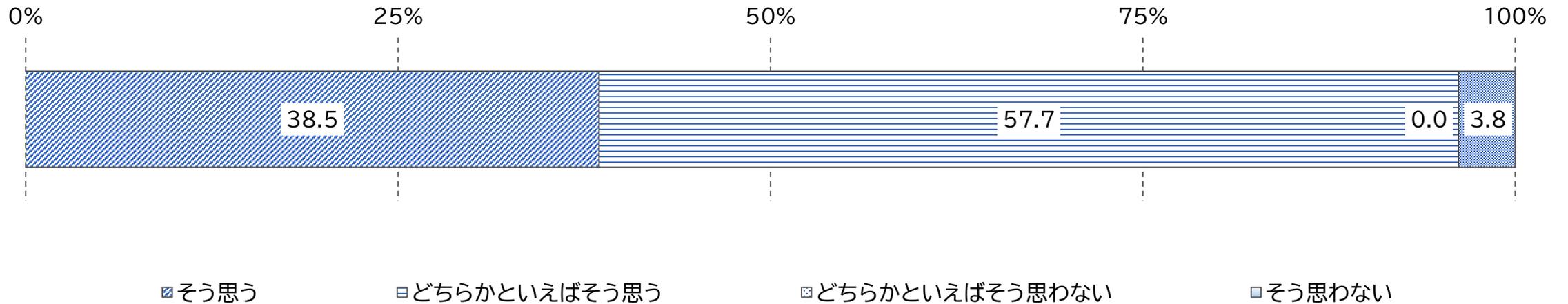
# Q16.産学連携の取組内容について学校に積極的に提案している

Q16.産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。(n=26)(単一選択式)



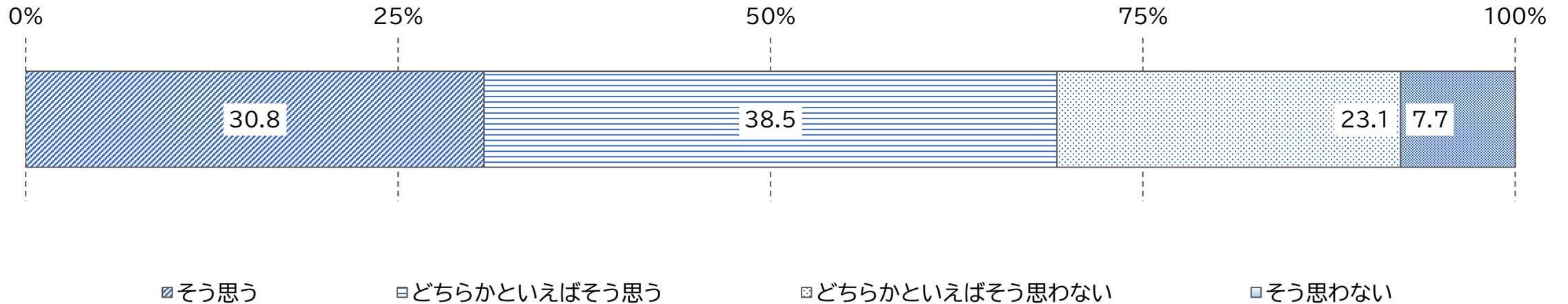
# Q17.取組は、学校・産業界・自治体の課題を踏まえた内容になっている

Q17.現在の取組は、学校・産業界・自治体、それぞれの課題を踏まえた内容になっている。(n=26)(単一選択式)



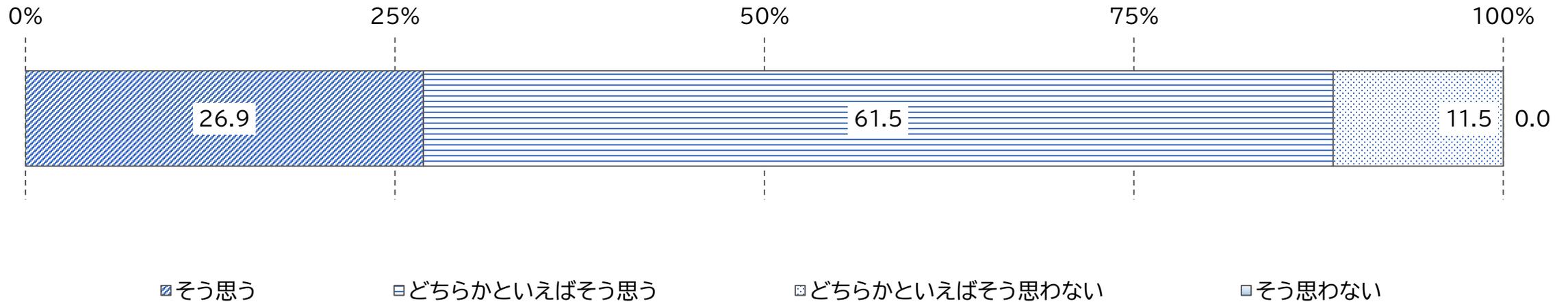
# Q18.学校・産業界・自治体の共通のビジョンを協議する場の有無

Q18.学校と産業界、自治体の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。(n=26)(単一選択式)



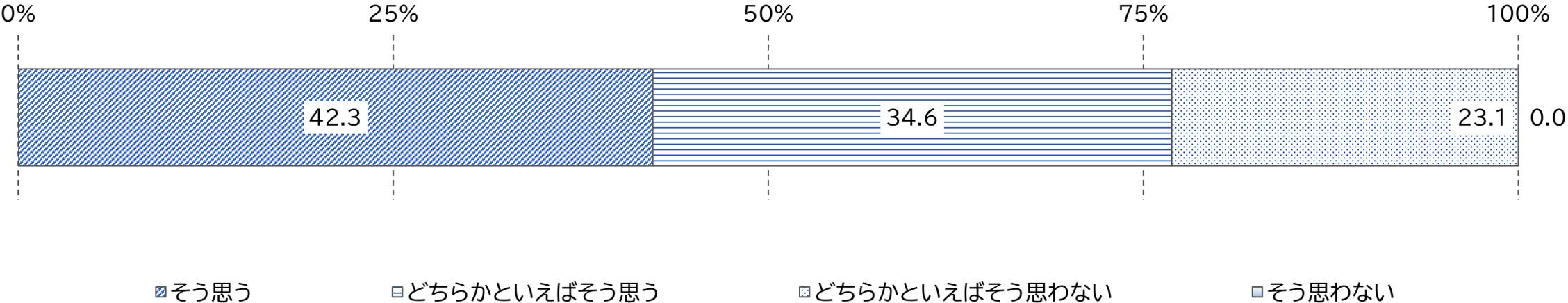
# Q19.産学連携の中で自治体が担う役割は適切である

Q19.産学連携の取組を進める中で、貴自治体が担う役割は適切だと思う。(n=26)(単一選択式)



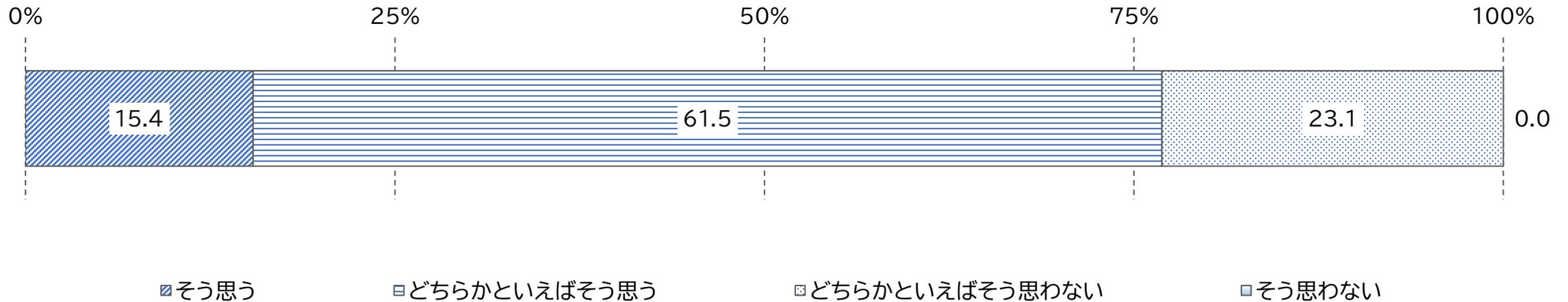
# Q20.自治体の担当者が変更になっても産学連携を継続できる

Q20.貴自治体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(n=26)(単一選択式)



# Q21. 学校や産業界側担当者が変更となっても産学連携を継続できる

Q21.学校や産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(n=26)(単一選択式)



# 相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		自治体用アンケート																
		q4	q6	q7	q9	q10	q11	q12	q13	q14	q15	q16	q17	q18	q19	q20	q21	
自治体用アンケート	産学連携歴	q4	1.00	-0.37	-0.05	0.24	0.16	0.34	0.06	0.22	0.21	0.28	-0.14	0.00	0.18	-0.08	0.44	0.36
	産学連携目的の重要性	q6	-0.37	1.00	0.09	0.12	-0.10	0.00	0.01	-0.09	-0.35	0.26	0.48	0.09	0.07	0.33	0.33	-0.11
	産学連携の自治体目標・ビジョンへの貢献度	q7	-0.05	0.09	1.00	0.54	0.17	0.46	0.22	0.45	0.35	0.63	0.07	0.45	0.43	0.21	0.34	0.00
	産学連携の継続意欲	q9	0.24	0.12	0.54	1.00	0.50	0.46	0.55	0.47	0.37	0.55	0.32	0.38	0.29	0.23	0.39	0.14
	産学連携意義・必要性の認識	q10	0.16	-0.10	0.17	0.50	1.00	0.37	0.24	0.36	0.11	0.06	0.17	0.31	0.27	0.12	0.30	0.13
	議会等からの理解	q11	0.34	0.00	0.46	0.46	0.37	1.00	0.37	0.53	0.26	0.60	0.37	0.47	0.56	0.41	0.45	0.16
	学校による、自治体の産学連携目的の理解度	q12	0.06	0.01	0.22	0.55	0.24	0.37	1.00	0.64	0.26	0.17	0.46	0.39	0.11	0.17	0.21	0.48
	自治体による、学校側の産学連携目的の理解	q13	0.22	-0.09	0.45	0.47	0.36	0.53	0.64	1.00	0.54	0.46	0.24	0.61	0.45	0.37	0.48	0.43
	自治体による、産業界側の産学連携目的の理解	q14	0.21	-0.35	0.35	0.37	0.11	0.26	0.26	0.54	1.00	0.59	0.32	0.52	0.52	0.51	0.46	0.57
	連携で実現する取組の把握	q15	0.28	0.26	0.63	0.55	0.06	0.60	0.17	0.46	0.59	1.00	0.45	0.57	0.66	0.67	0.69	0.38
	学校への積極提案	q16	-0.14	0.48	0.07	0.32	0.17	0.37	0.46	0.24	0.32	0.45	1.00	0.46	0.38	0.61	0.55	0.46
	三者の課題を踏まえた取組の実現	q17	0.00	0.09	0.45	0.38	0.31	0.47	0.39	0.61	0.52	0.57	0.46	1.00	0.53	0.56	0.43	0.37
	三者の課題を踏まえたビジョン協議	q18	0.18	0.07	0.43	0.29	0.27	0.56	0.11	0.45	0.52	0.66	0.38	0.53	1.00	0.40	0.52	0.16
	適切な役割分担	q19	-0.08	0.33	0.21	0.23	0.12	0.41	0.17	0.37	0.51	0.67	0.61	0.56	0.40	1.00	0.54	0.49
	継続性(自治体側)	q20	0.44	0.33	0.34	0.39	0.30	0.45	0.21	0.48	0.46	0.69	0.55	0.43	0.52	0.54	1.00	0.59
継続性(学校・産業界側)	q21	0.36	-0.11	0.00	0.14	0.13	0.16	0.48	0.43	0.57	0.38	0.46	0.37	0.16	0.49	0.59	1.00	

※いずれもポリコリック相関係数として算出。

※黄色:成果に相当しうる項目